



学力観の 転換を

尚美学園短期大学教授
深谷昌志

記憶力による淘汰

この号では学力を問題にしようとしている。学力とは何だろうかという疑問は筆者の個人的な感慨から出発している。

長年、大学入試に立ち会ってきた。といっても、問題を解こうという気持ちがするのは国語と英語くらいで、数学や理科は見てもさっぱりわからないし、社会科も設問を眺めている程度で、正解は見当もつかない。解こうと思う英語や国語にしても、実際に受験したらよくて10点くらいで、合格などはまったくおぼつかないレベルであろう。

そうした体験を重ねるうちに、こうした学力は本当に必要なかと思うようになった。もちろん、大学入試の場合、高等教育に対する選抜試験なので、ある程度まで獲得している知識の量を試すことも必要なのかもしれない。

しかし、筆者は知識を売り物にしている大

学教員なのに、それでも問題をまったく解けない。ということは、入試の学力は職業生活を送るのにそれほど必要でなく、入学というハードルを越えるために詰め込んだ知識の塊なのであろうか。

そうした形で選抜が行われると、記憶力に恵まれた者が一流といわれる大学に入学して、社会のリーダーとして育っていくことになる。こうした状況のもとでは記憶力の優劣が人生を決めるといっても間違いであるまい。

それでは、研究者として生きていくのに記憶力はどれだけ必要なことなのか。記憶力に恵まれていれば、研究者の書名や著者名、そして内容をメモを見ないできちんと語れるので、いかにも学者らしくて格好がいい。

しかし現在なら、フロッピーにデータをファイルしておき、ノート型パソコンを持って歩けば、個人の記憶よりはるかに多くの量の知識を正確に提示できる。

正直に言って、この10年来、研究面で情報を記憶することの必要性はまったく薄れて

きた。その代わり、克明にメモをとり、さまざまなデータを系統的にファイルする技術はより求められるようになった。しかも、情報を処理する技法がどんどん進歩していく。筆者の使っているパソコンのソフトも一太郎の3版から7版へ、そしてワード95から97へと変わり、それに応じてファイルの仕方も変化してきた。

伝統的な学力観

これまで筆者の研究者としての体験を書き綴ってきたが、記憶の必要性が薄れてきたのは他の人の場合も同じであろう。

考えてみると、庶民レベルでとらえるなら、学校という制度は、日本の場合、江戸末期の寺子屋にルーツを持つ。「以呂波」や「名尽」「国尽」、「商売往来」などの知識を獲得できれば、その知識は一生役立つので、将来の生き方に応じて、必要とされる知識を獲得して、世の中に出て行けばよかった。

明治以降の小学校にしても、文明開花の世の中でこれだけは必要になると思われる知識の伝達を使命としていた。当然のことながら、情報化社会が到来する以前なので、家庭にはテレビやラジオはむろん、新聞や雑誌もないのが普通だった。

したがって、情報を獲得するためには学校へ通い、それを記憶することを通して知識を獲得する必要があった。換言するなら、その当時の社会で、学校は唯一の情報伝達場で、その学校でより多くの知識をより正確に記憶できる者が社会で活躍できる人材となった。

そして、学校制度が整備されるにしたがって、学校段階に応じて伝達する知識や技術が異なる形で定着するようになる。例えば、初等教育では基礎的で基本的な知識を習得させる。そうした土台の上に、幅の広い教養や職

業的な技術を伝達するのが中等教育となる。そして、高等教育で高度の専門的な知識を与えるという分化である。

ここで、歴史的に教育の変化をあとづける余裕はないが、学校の成立した時代と異なり、現在はどこでも情報を入手できる。テレビで伝達する情報量は学校の授業以上だし、ラジオや新聞、雑誌など、情報はどこでも豊富に獲得できる。知識の受容のためだけなら、学校に通う必要は薄れている。

もちろん、現代になるほど、おとなになるために必要とされる知識の量が増加し、それらを学校を通して獲得させるのが困難になる。それに加え、せっかく知識を獲得しても、知識の有効性は失われる。社会科を例にするなら、20年前の知識の中で現在になると、ソ連はすでに存在していないし、日本の政治体制も大きく変わった。エイズやジェンダー、環境汚染、バブル崩壊なども、ここ10年の間で問題になったテーマであろう。

知識の陳腐化が進むというのは、知識の有効期限が短縮することを意味しよう。そうなると、学校で知識を覚えることの意味が低下してくる。

こうみえてくると、学校を支えている条件が大きく変わってしまったのに気づく。知識を獲得する形の学習は伝統的な学力観で、これから必要とされる学力は情報を取捨選択し、自分なりの考え方をまとめていく学習のスタイルであろう。「憶える」から「解く」への転換である。子どもの学習をめぐる状況が変化しているのに、学校の学習は変化に対応できず、古い体質を残している。それだけに新しい学習の形を探索して、定着させることが望まれよう。そうだとするなら、子どもたちは知識の獲得に自信が持てなくても、そんなに気にかけなくてもいい。もっと自信を持つように励ましたいと思う。

〔調査レポート〕

憶える学力・解く学力

- 勉強がむずかしい -

尚美学園短期大学教授 深谷昌志
世田谷区立東玉川小学校教頭 土橋 稔
戸板女子短期大学助教授 井上 健
埼玉県立松山高等学校教諭 三枝恵子
杉並区立桃井第二小学校教諭 鶴巻景子

『モノグラフ・小学生ナウ』Vol.18 - 1

調査レポート

憶える学力・解く学力 勉強がむずかしい

要 約

調査概要

1. 調査主題 憶える学力・解く学力
2. 調査視点 子どもにとって望まれる学力とは何か。親たちは現在、子どもたちが学んでいる学習をどのように評価しているか、子どもたちはどの程度理解しているか。そして教科レベルで考えたとき、必要な学習とはどのようなものか、不要な部分は何かなど、子どもたちに必要な「学力」を洗い直す目的で調査を試みた。
3. 調査項目 親調査 = 国語・算数・社会・理科・図工・音楽・体育・家庭科の8教科の学習内容の難しさ・必要性、学校行事の必要性、評価・通知表への思い、学習以外で親が学校へ期待すること、家庭でのしつけ、子どもの成長発達、など。
子ども調査 = 親と同じ各教科の学習内容の理解と難しさ、教科の好き嫌い、得意・不得意など。
4. 調査時期 親調査 = 1997年10月
子ども調査 = 1998年2月
5. 調査対象 東京、千葉、埼玉の公立小学校6年生の保護者、子ども
6. 調査方法 学校通しの質問紙調査
7. サンプル数 親調査 = 1,210名
子ども調査 = 213名 (男子109名、女子104名) 子ども調査 = 220名 (男子117名、女子103名)

1. 子どもたちが一番好きな教科は、「体育」43%、次いで、「算数」「音楽」「図工」。逆に、人気がないのは「社会」で、「一番好き」はわずかに3%。一番難しい教科は、「算数」「社会」。性別では、男子は「音楽」「国語」「家庭科」、女子は「算数」「社会」を難しいと感じている。そして、成績がよいと一番うれしい教科は、「算数」(表12・13・14)。

2. 将来一番役に立つ教科は「家庭科」で、女子の約8割、男子も半数以上が「とても役に立つ」と答えている(表15)。



3. 親からみた学習の必要性の高い教科は、「国語」80%、次いで「算数」65%、「道徳」55%である。親たちは、社会生活を営むために不可欠な「読み、書き、計算」、続いて「人としての生き方」や「心の問題」を扱う教科を重視している。子ども調査では「家庭科」が将来役に立つ教科のトップであった。しかし「家庭科」は、親調査では女子をもつ親の場合のみ、ようやく5位で登場するにすぎない(表16)。



6. 小学校で行う最も必要だと考える行事は「卒業式」で、8割が「とても必要」と答えている。次いで、「修学旅行」「運動会」「社会見学」「遠足」といった定番の行事が上位を占める(図3)。

4. 通知表の評価の仕方については、「とてもよい」は4%と少ないが、「わりとよい」が44%、「少しよい」の36%を合わせると、肯定的に受け止める親が8割を超える(表17)。

7. 教科別難易度

1) 国語

漢字について、「厳しい」「蒸発」が「とても+わりと難しい」と感じる親は2割前後、その他の漢字についてはほとんどの親があまり難しくないと考えている。

子どもたちの正答率をみると、「疑う」「創作」が正しく書けるのは4割、「厳しい」「推せん」「革」がほぼ5割と書けない子も多い。国語全体で、親と子が一番難しいと考える内容は「宮沢賢治などの文学作品が読める」、次いで「自分の意見や考えをはっきり話せる」である。また、「自分の意見や考えを作文に書ける」は親は難しいと考えるが、子どもはそれほど難しいと感じていない(表19・20・21)。

5. 担任の通知表の評価の仕方について、「担任の先生が子どものことをよくわかって評価している」が、「少し」まで合わせると82%、「テストの結果だけでなく、子どもの態度や関心も評価するので子どもの励みになる」79%、「子どもの学力や能力が正しく評価されている」77%と好意的にみている親と、「通知表を見ても、子どもの実力がよくわからない」「先生によって子どもの見方が違うので、客観的な評価をしてもらえない」と批判的な親が約7割と、親の意識にかなりのギャップがある(図1)。

2) 算数

「算数の問題の解き方をみんなの前で説明できる」が、親も子も最も難しい内容である。具体的な問題では、親が一番難しいと考えるのは「小数・分数の混合計算」で、子どもたちの正答率も59%とそれほどよくはない。

子どもの正答率が一番低かったのは、「比の値を求める」問題、次いで「割合」「速さと時間・距離」「比例反比例の2量の関係を求める」の問題となる。逆に、簡単な内容は「線対称な図形の残りを書く」といった問題の形の見えやすいもので、親の難易度も低く、子どもの正答率も高い(表22・23)。



3) 社会

「鎌倉幕府成立の年号」を暗記する問題が難しいと感じる親は28%だが、子どもの正答率は49%と、親と子の難しさの認識にズレがある。「憲法第九条が言える」「国民主権、基本的人権の意味を理解する」は、「難しさ」の1位、2位。小学校で学ぶ必要がないと考える親も1割前後いる。子どももこれらの学習内容は理解できない子が多く、親が考える難しさと子どもの実態がほぼ一致する(表25・26・27)。

4) 理科

全体的には、自分たちの生活と身近な場面を扱う「生物とその環境」にはあまり難しさを感じていないが、「地球と宇宙」の項目は難しいと思っている。一番難しいのが「堆積岩と火成岩の違いが見分けられる」で「とても+わりと難しい」と答えた親は39%、「ぜんぜん+あまりよくできない」と答える子どもも34%。

理科全体では、「とてもよく+わりとできる」意識をもつ子どもの割合が高い。リトマス紙を使ったり、観察したりする体験が、子どもたちのよくできるという意識を高めていると考えられる(表28)。

5) 音楽

親たちが一番難しいと考えるのは「自分で簡単な曲が作れる」で50%、子どもたちも38%ができないと思っている。「楽譜の記号を理解して歌が歌える」(親28% < 子34%)、「ビゼーなどの曲を鑑賞する」(親27% < 子48%)と、親が考える以上に子どもたちは難しいと思っている(表29)。

6) 図工

子どもたちの「難しさ」と親の難易度がかかなり違うのが図工の特徴である。子どもは彫刻刀を使ったり立体などを作る工作関係に、自信を高くもっている。

一方、親が簡単だと思っている「静物画や風景画」などの写生は、子どもにとっては難しい学習である(表30・31)。



7) 家庭科

親が一番難しいと考えるのは「通信販売やカードの使い方を知る」で「とても」と「わりと」を合わせると30%。子どもも32%が「ぜんぜん+あまりよく知らない」と答えている。そして、親の26%が小学校で学習する必要がないと思っている。

「簡単なエプロンやカバーを作る」「ボタンつけやほころびを直す」など裁縫技術に関しては2割弱の親が難しいと感じ、子どもも同様である。しかし全体的にみると、できる割合が高く、子どもたちが自信をもって学習している様子がわかる(表32)。

8) 体育

一番難しいのが「鉄棒」、続いて「跳び箱」。「水泳」は「とてもよくできる」という子が8割もあり、「わりとできる」を含めると9割に達する。保健の領域では、「少し難しい」までを含めて「男女の体の違い」を難しいと感じている親が約4割、子どもたちもほとんど同様。「けがや病気」については、親が28%に対して、子どもたちは41%と親が思っているほど子どもたちは理解できていない(表33)。

8. 子どもの性別と学習内容の難しさでは、ほとんど差がみられない。しかし教科の必要性では「理科」「図工」「体育」は男子に、「家庭科」は女子にと考える親が多く、性差がみられる（表34・表35）。

9. 塾との関係では、塾に行っていない子の親は、社会科の「沖縄や広島、長崎の被害と戦争の終結を理解する」「憲法第九条が言える」「国民主権、基本的人権の意味を理解する」を難しいと感じる割合が高い。また、算数の「小数・分数の混合計算」「比例や反比例に伴って変わる2量の関係」でも塾に行っている子と行っていない子の親で難しさに差がみられる。これらの内容は、子どもも正答率が低く、理解しにくい。「図工」や「体育」「家庭科」の教科では、両群の難しさの意識に差はみられない。教科の必要性をみると、「国語」「算数」「社会」「理科」の4教科では両群に差はみられないが、「図工」「音楽」「家庭科」「道徳」などで子どもを塾に行かせない親の方が必要と考える割合が高い（表34・表35）。

10. 中学受験希望の有無では、「社会」と「算数」に差が顕著である。特に社会科の「日本の県名を全て知る」「鎌倉幕府を開いた年」などの暗記学習や、「織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の天下統一」「沖縄や広島、長崎の被害と戦争終結」などのものの見方や考え方、「憲法第九条」「国民主権、基本的人権の意味」「内閣、国会、裁判所の役割」などは、受験をしない子どもたちにとってはかなり難しい学習となっていることがわかる。算数でも受験しない子どもの親は「式の計算、比の値、 x を求める式」で発展問題、複雑な問題になると難しいと感じる。また、「割合」「速さと時間・距離の関係」「比例反比例の2量の関係」など、道筋を考え答えを求める問題も両群で難しさの差は大きい（表34・表35・表36）。



11. 子どもの成績との関連では、親たちは子どもの成績が悪いと、ものの考え方や見方、知識・理解の学習内容が難しくなり、「体育」「家庭科」など技能や情緒的内容については成績とは関係ないと感じている。成績のよい子どもの親の方が、「国語」や「算数」はもちろん、「音楽」「図工」などの情緒的な教科も学校で学ぶ必要があると感じている（表37・38）。

12. 親の学歴との関係では、社会科の「国際理解」「環境問題」、理科の「気体の性質」「人体の構造の理解」「魚の解剖」「堆積岩と火成岩の違い」、図工の「コンピュータグラフィックス」、音楽の「楽譜の記号を理解して歌が歌える」「自分で簡単な曲が作れる」で差が顕著である。

教科の必要性では、大学卒業の親は「国語」「算数」「社会」「理科」は当然だが、「図工」「音楽」も必要であるとし、高校卒業の親たちは「音楽」「図工」などの情緒面を養う教科をあまり必要と考えておらず、学校に期待するのは「道徳」で8割（表39・40）。

13. 子どもの中学受験希望の有無、成績、親の学歴によって、親たちが子どもの学習内容に対して感じる「難しさ」では差が顕著にみられる。しかし、親たちの学校への期待や親が心がけている子どもへのしつけ、子どもの成長発達や子どもの生活の様子には、学習内容の難しさや必要性ほど差がみられない。



はじめに

新しい学力観では、生涯学習体系の中で子どもたちの自ら学ぶ意欲が重視された。そして、その意欲を支える基礎的基本的な知識や技能の伝達の重要性も強調された。

情報化社会が進行する中で、子どもたちに知識を教えることがどれほどの意味をもつのだろうか。子どもたちが手に入れた知識がまったく意味をもたなくなってしまう場合も多い。変換のボタン1つで漢字が表れてくる。漢字は読むことさえできれば、書くことはワープロがやってくれる。電卓があるのに、面倒くさいわり算やかけ算の筆算がなぜ必要なのか。子どもたちにとって必要な基礎基本とは何なのか。

2002年からの学校週5日制の完全実施に

向けて、学習指導要領の改訂が進められている。授業時数の減少に伴う教科内容の削減は急務であり、教育課程審議会など、指導者サイドでは激論が続いている。しかし、学習の当事者である子どもたちや親の意見はまったく聞かれていない。

本調査では、各教科の学習内容について子どもたちがどの程度理解しているのか、どの程度自信をもって取り組んでいるのかをたずねた。また、親たちが今の学習内容についてどのような評価をしているかもたずねてみた。そして、学力を教科レベルで考えたとき、不必要な部分はないのか、学力の洗い直しのきっかけにしようとも考えている。

1

調査概要と対象



本調査は、各教科の学習内容を具体的に示し、親たちにそれらの学習の難易度と、小学校で学ぶ必要があるのかをたずね、親たちが子どもたちにどのような学力を必要と考え、学校教育に何を期待しているのかを分析することを試みた。さらに、子ども調査と対比し親が考える難易度と子どもたちの難しさの意識を比較分析し、子どもたちに望まれる「新しい学力観」を探ることを目的とした。

それだけに、各教科の学習内容の項目の妥当性について慎重に検討を重ねた。まず、小学校の先生たちから、子どもたちが各教科の学習をどのくらい理解しているか、3割くらいの子どもの理解でやむを得ないという見方もあるのか、子どもたちが繰り返し間違いやすい内容とはどんな学習なのか、などのヒアリングを重ねた。

次に、小学校6年生の学習内容を学習指導要領、教科書、テスト問題など広範囲に検討を行い、学習内容を大きく「知識・技能」「ものの見方・考え方」「教科の目標・ねらい」

の3つの領域に分け、難易度も配慮し、様々な観点から内容を抽出して項目を作成した。例えば、漢字の書き取りについて12個の漢字をあげているが、ほぼ全員が理解しているだろう漢字として「机」「干す」「穴」などを逆に、5割くらいしか理解できないだろう漢字として「蒸発」「創作」「推せん」などをあげた。算数では式の計算を整数・分数・小数が含まれた4問、比の値、逆数を求める内容を各2問など難易度にも配慮した。

子ども調査は、親調査と同様の内容を2つの調査票に作成した。まず、調査1として、国語・算数・社会・理科の4教科で問題を構成し、テスト形式にして100点に配点し、各項目の正答率を数値で示した。得点の結果は表18(P.31)に示した。調査2はアンケート形式で、学習内容について「よくできるか」「知っているか」など、知識や理解について自信があるかどうかの意識をたずねた(調査票については巻末の資料を参照)。

調査時期は、親調査は1997年10月に、子

ども調査は6年生の学習がほぼ修了する1998年2月に実施した。

では、調査対象の概要をみてみよう。表1によれば、回答してくれたのは「母親」90%、「父親」9%、「その他」1%である。表2はこのアンケート用紙を持ち帰った小学校6年生の性別である。そして、子どものきょうだい関係を示したのが表3である。

表4は、親たちが考える子どもの成績を示

した。子どもの成績が「上」17%、「中の上」28%を合わせると45%。親たちのほぼ半数は、子どもの成績はほぼ上位にランクすると考えている。表5は子どもの学校の勉強の理解度である。「ほとんどわかる」と答えた親は30%、「3分の2くらいわかる」が38%。約7割の親たちが子どもは学校の勉強をほぼ理解していると考えている。「ほとんどわからない」と思っている親は1%にも満たない。

表1 調査対象

(%)

1. 母親	89.9
2. 父親	9.3
3. その他	0.8

表2 子どもの性別

(%)

男子	51.3
女子	48.7

表3 子どものきょうだい関係

(%)

1. 一番上の子	33.1
2. 上または下の子がいる	32.4
3. 一番下の子	25.8
4. 一人っ子	8.7

表4 子どもの成績

(%)

上	中の上	中	中の下	下
16.6	28.3	41.8	9.9	3.4
44.9				

表6は、子どもが通っている学校への満足度である。「とても満足している」10%、「わりと」を合わせると、6割を超える親たちが学校への満足感をもっている。

次に、義務教育修了後の進路希望についてみると、表7によれば、58%が「4年制大学」を希望し、「短大」「専門・専修学校」希望は21%、「高校まで」は1割にも満たない。「その他」と答えた親も13%いる。では、小

学校卒業後の進路はどのように考えているのか。表8は中学受験希望をたずねてみた。21%の親たちが子どもに中学受験を希望している。

子どもが塾に行っている割合は47%とほぼ半数(表9)。

表10・11は、親たちの学歴(卒業時の年齢から推定した)と職業を示した。

表5 子どもが学校の勉強をどのくらい理解しているか

(%)

ほとんどわかる	3分の2くらいわかる	半分くらいわかる	3分の1くらいわかる	ほとんどわからない
29.6	38.1	25.5	5.9	0.9

表6 子どもが通っている学校に満足しているか

(%)

とても満足している	わりと満足している	少し満足している	あまり満足していない	ぜんぜん満足していない
10.4	53.2	22.1	11.6	2.7
63.6				

表7 子どもの将来の希望

(%)

1. 4年制大学まで	57.6
2. 短大まで	9.9
3. 専門・専修学校まで	11.1
4. 高校まで	8.0
5. 中学まで	0.5
6. その他	12.9

表8 子どもの中学受験の希望

(%)

希望している	20.6
希望していない	79.4

表9 子どもが塾に行っているか

(%)

行っている	47.4
行っていない	52.6

表10 調査対象の学歴

(%)

中学卒業	高校まで	短大・専門・ 専修学校	4年制大学・ それ以上
2.2	37.8	31.4	28.6

*学歴は、学校を出た年齢が「15歳」を中学卒業、「18歳くらい」を高校まで、「20歳くらい」を短大・専門・専修学校、「22歳またはそれ以上」を4年制大学・それ以上とした。(以下同)

表11 調査対象の職業

(%)

フルタイムの仕事	パートタイムの仕事	自営業	自由業	専業主婦など特に 仕事をしていない	その他
19.4	28.5	8.5	2.4	37.1	4.1

2

親たちの学力観を考える視点



子どもたちは毎日、学校で勉強し、少しずつ学力を身につけ成長している。それは紛れもない事実である。しかし、その「学力」の中身については学校や教師の側から論じられるばかりで、親や子どもの視点で語られることはこれまであまりにも少なかったように思われる。そこで今回のモノグラフは、親たちの学力観をテーマに掲げた。3章以下では、

子どもたちが小学校（6年生）で実際に学習している内容について、親たちがどのように考えているのかを細かく分析しているが、本章ではその前段階として、教科や通知表あるいは学校行事など、学習活動にかかわるいくつかの断面から親たちの思いを整理し、「学力観」のアウトラインを描いてみたい。

将来、役に立つ教科は)))

「学力」というものをどのように考え、どう定義するかは難しい。だが、子どもや親の立場からすれば、「教科の難易度」や「将来の生活への必要性」といった視点から始めるのが、最も身近でわかりやすいだろう。

表12は、子どもたちに今習っている8教科の中で「一番好きな教科」をたずねた結果である。最も人気があるのは「体育」(43%

が「一番好きな教科」に選んでいる)で、次いで、「算数」「音楽」「図工」(いずれも10%強)が上位にくる。逆に、人気がないのは「社会」で、「一番好き」はわずかに3%であった。また、教科の好みには男女差があり、男子は「体育」が圧倒的に多いが、女子は「体育」「音楽」「図工」「家庭科」「国語」などに「一番好きな教科」が分散する傾

向がみられる。

次の表13は、子どもたちが「一番難しい」と感じている教科である。同様に8教科より1つを選んでもらったが、「算数」と「社会」に苦手意識をもつ子どもが最も多かった（それぞれ30％）。複雑な計算問題や年号の暗記に手こずった苦い思い出は誰にでもあるものだが、今の子どもたちもそうなのだろうか。子どもたちが感じている「難しさ」の中身については、次章で詳しく分析したい。

また、性差をみると、男子には「音楽」「国語」「家庭科」を、女子には「算数」や「社会」を難しいと感じる子どもが多いことがわかる。もちろん、このような教科に対する好みや苦手意識には個人差があるだろう。ただ、こうしたデータからは、小学生の段階で早くも、「男子向き」「女子向き」といった感覚が芽生えているようにも感じられる。親や教師たちのジェンダー・バイアス（性差による偏見）が陰を落としていないか、気にな

表12 一番好きな教科（子どもへの質問）
男子は体育、算数・女子は体育、音楽

(%)

	全 体	男 子	女 子
1. 体育	42.7	60.9	24.1
2. 算数	12.3	18.7	5.8
3. 音楽	11.8	0.9	23.1
4. 図工	10.0	5.6	14.4
5. 国語	7.6	3.7	11.5
6. 理科	6.6	6.5	6.7
7. 家庭科	6.2	0.0	12.5
8. 社会	2.8	3.7	1.9

* 8教科より1つ選択

表13 一番難しい教科（子どもへの質問）
算数と社会が苦手

(%)

	全 体	男 子	女 子
1. 算数	29.7	22.9	36.9
2. 社会	29.7	22.0	37.9
3. 理科	9.9	8.3	11.7
4. 音楽	9.9	16.5	2.9
5. 国語	7.1	11.0	2.9
6. 家庭科	6.6	10.1	2.9
7. 図工	5.2	8.3	1.9
8. 体育	1.9	0.9	2.9

* 8教科より1つ選択

るところだ。

続いて、表14の「成績がよいと一番うれしい教科」をみてみよう。1位は「算数」で、半数近くの子どもたちによって選ばれている。表13でみたように、「算数」を苦手とする子どもは多かったが、教科の性質上、正解・不正解がはっきりとしており、努力の積み重ねが正答率にわりあいストレートに反映する。それだけに、がんばっていい点がとれたときには、大きな達成感が得られるのだら

う。続いて2位は「国語」、3位は「社会」で、最下位（8位）が「家庭科」であった。なお、「成績がよいと一番うれしい教科」には性別による大きな違いはみられなかった。

さて、子どもたちはこれらの教科を毎日、勉強しているのであるが、そうした勉強が将来、どのくらい役に立つと考えているのだろうか。そこで、先の8教科に「道徳」と「特別活動」を加えて、「とても役に立つ」から「ぜんぜん役に立たない」までの4段階で回

表14 成績がよいと一番うれしい教科（子どもへの質問）
算数ができると、うれしい

(%)

	全 体	男 子	女 子
1. 算数	46.5	43.1	50.0
2. 国語	15.6	19.6	11.5
3. 社会	12.3	11.2	13.5
4. 体育	9.5	8.4	10.6
5. 理科	5.7	5.6	5.8
6. 音楽	5.7	7.5	3.8
7. 図工	3.3	3.7	2.9
8. 家庭科	1.4	0.9	1.9

* 8教科より1つ選択

答してもらった。その結果を「とても役に立つ」の数値で整理したのが表15である。

国算理社といった、いわゆる主要科目が上位にくるのではないかと予想していたが、意外なことに1位は「家庭科」であった。「家庭科」は女子の約8割が、また、男子も半数以上が「とても役に立つ」と答えており、子どもたちはこの教科で学ぶ内容が将来の生活に密接に結びついていると理解している。

私たちは「学力」というと、とかく「算数」や「国語」を思い浮かべがちである。おそらく子どもたちも、「算数」や「国語」の重要性はわかっているに違いない。しかし、「入試」などから離れ、「生きていくこと」を視

点に据えれば別のとらえ方があることをこのデータは教えてくれるような気がする。

さて、ここまでは子どもたちからみた教科のイメージであった。では、親たちは教科の学習について、どんな見方をしているのだろうか。

そこで、この10科目に対して、親の目からその必要性を判断してもらったのが表16である。尺度は、「とても必要」から「ぜんぜん必要でない」の5段階を用いたが、ここでは強い期待を示す「とても必要」の数値に着目した。その結果、1位は「国語」80%、2位が「算数」65%、そして3位は「道徳」55%であった。親たちは、社会生活を営む

表15 次の勉強は、将来、どれくらい役に立つと思うか（子どもへの質問）
子どもは家庭科、算数、国語が役に立つと思っている

(%)

	全 体	男 子	女 子
1. 家庭科	64.4	53.4	77.0
2. 算数	61.6	62.1	61.0
3. 国語	50.4	51.7	49.0
4. 社会	47.0	54.8	38.0
5. 体育	43.1	56.0	28.0
6. 特別活動	37.2	43.2	30.2
7. 道徳	31.6	34.5	28.3
8. 理科	21.5	27.0	15.2
9. 音楽	18.1	16.4	20.0
10. 図工	17.1	16.4	18.0

「とても役に立つ」の割合。ただし、「とても役に立つ」「わりと役に立つ」「あまり役に立たない」「ぜんぜん役に立たない」の4段階で回答したもの

ために不可欠な「読み、書き、計算」、続いて「人としての生き方」や「心の問題」を扱う教科を重視している。反対に「図工」「音楽」については、それほど必要とは思っていない。加えて、こうした教科への思いは、自分の子どもが男子であっても女子であっても、ほとんど変わらないようである。

他方、表15と表16を比べると、親と子の教科観にズレがあることに気がつく。子ども調査において、将来の有用度・ナンバーワンであった「家庭科」は、親調査では、女子をもつ親の場合に、ようやく5位で登場するにすぎない。教科の内容は親が習った頃と現在ではかなり変化しているだろうが、それ以上

に実際の家庭生活に対する様々な経験の差が、「家庭科」という教科のイメージを決定しているように思われる。また、親たちからは「国語」や「算数」に次いで重要視されていた「道徳」も、子どもたちからすれば、それほど役には立ちそうもない(7位)。けれども、「図工」「音楽」「理科」の数値が低い点は親子で一致している。「将来、何の役に立つか」という短絡的な実用主義だけで教科を論じることはできないが、子どもや親の考える「学力」を検討する視点の1つになるのではないだろうか。

表16 次の授業は、どのくらい必要だと思うか(親への質問)
親は国語、算数、道徳が必要だと思っている

(%)

	全 体	男子の親	女子の親
1. 国語	80.4	82.0	78.9
2. 算数	65.4	68.2	62.3
3. 道徳	54.6	56.1	53.5
4. 社会	51.1	54.6	47.5
5. 体育	47.5	53.9	41.0
6. 特別活動	45.5	49.1	41.7
7. 家庭科	39.4	34.8	44.3
8. 理科	39.5	43.3	35.4
9. 音楽	31.0	30.0	32.0
10. 図工	30.2	31.3	28.8

「とても必要」の割合。ただし、「とても必要」「わりと必要」「少し必要」「あまり必要でない」「ぜんぜん必要でない」の5段階で回答したもの

通知表への思い)))

さて、「学力」について考える上で避けて通れない問題の1つに「評価」がある。そこで次に、「評価」の象徴ともいえる「通知表」について、親たちがどのような思いを抱いているかをみてみよう。

周知のように近年では、「通知表」自体も大きく様変わりをした。平成3年の「指導要録」改訂に伴って、子どもたちの学習への関心や意欲などを大切にする「観点別の到達度評価」の様式に改められたからである。つまり「算数」ならば、例えば「数量や図形に興味をもち、進んで問題を解決しようとする」という「評価の観点」に対して、「よくでき

る」「できる」「がんばろう」のどこかに がつけられるというような方法だ。

では、こうした評価の仕方について、親たちはどう感じているのだろうか。表17は、通知表の「評価の仕方」についての思いをストレートにたずねたものである。「とてもよい」は4%と少ないが、「わりとよい」が44%であり、「少しよい」の36%を合わせると、肯定的に受けとめる親が8割を超えた。

ただ、これだけではどの辺がよいと思っているのかわからないので、親たちの通知表への思いをもう少し詳しくたずねてみた。

表17 通知表の評価の仕方について

(%)

とてもよい	わりとよい	少しよい	あまりよくない	ぜんぜんよくない
3.8	44.0	35.7	14.8	1.7
47.8 賛成群			16.5 反対群	

その結果、図1に示したように最も肯定度が高かったのは、「担任の先生が子どものことをよくわかって評価している」で、「少し」まで合わせると82%の親たちが「そう思う」と答えている。次いで、「テストの結果だけでなく、子どもの態度や関心も評価するので子どもの励みになる」79%、「子どもの学力や能力が正しく評価されている」77%が高く、こうした回答からは「観点別の到達度評価」が順調に実施され、親たちにも相応の理解が得られていることがうかがわれる。

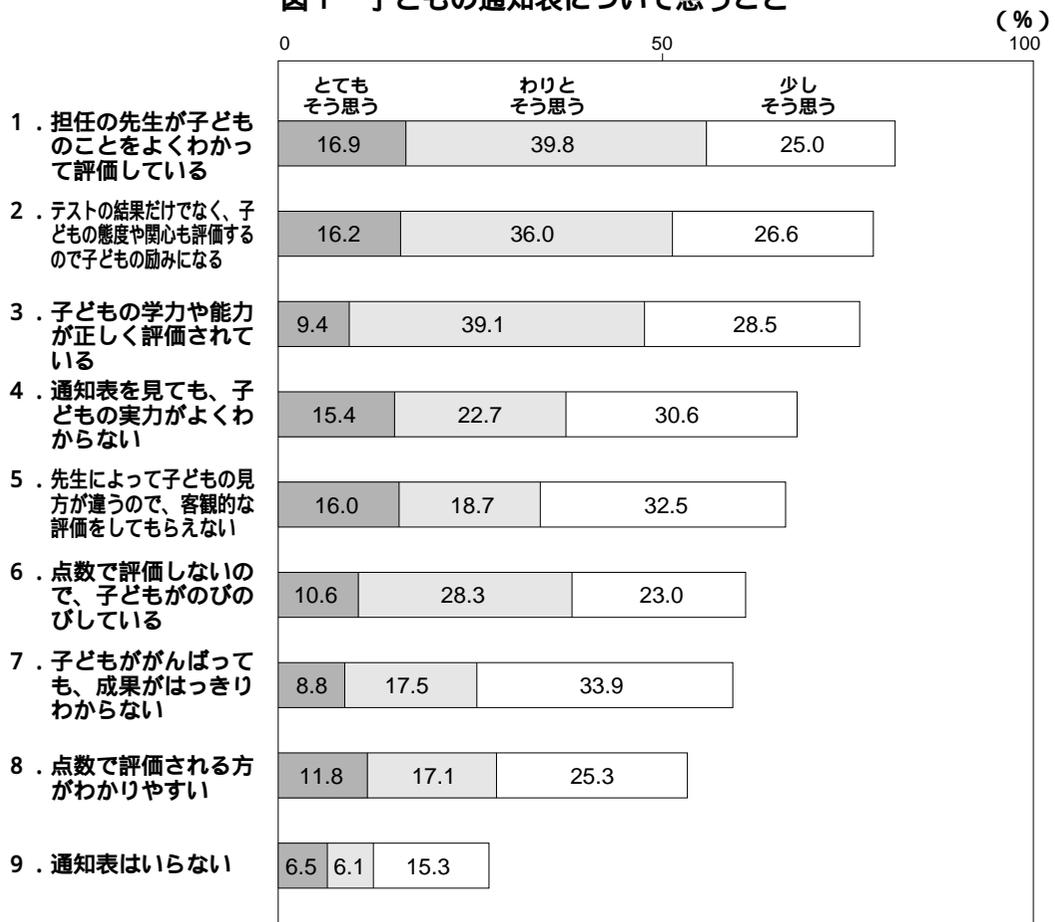
けれどもその一方で、「通知表を見て、子どもの実力がよくわからない」「先生によって子どもの見方が違うので、客観的な評価をしてもらえない

をしてもらえない」についても7割弱の親が「そう思う」としており、改めて「評価」というものの難しさを感じる。新しい評価の仕方に賛成し、納得している親とそうでない親とでは、かなりのギャップがあるかもしれない。

そこで先の表17をもとに、「通知表の評価法」について「とてもよい」「わりとよい」と答えた48%を「賛成群」とし、また「あまりよくない」「ぜんぜんよくない」と答えた17%を「反対群」として抽出し、比較してみた。すると、やはり図2にみるような対照的な結果が明らかになった。

特に、「担任の先生が子どものことをよく

図1 子どもの通知表について思うこと



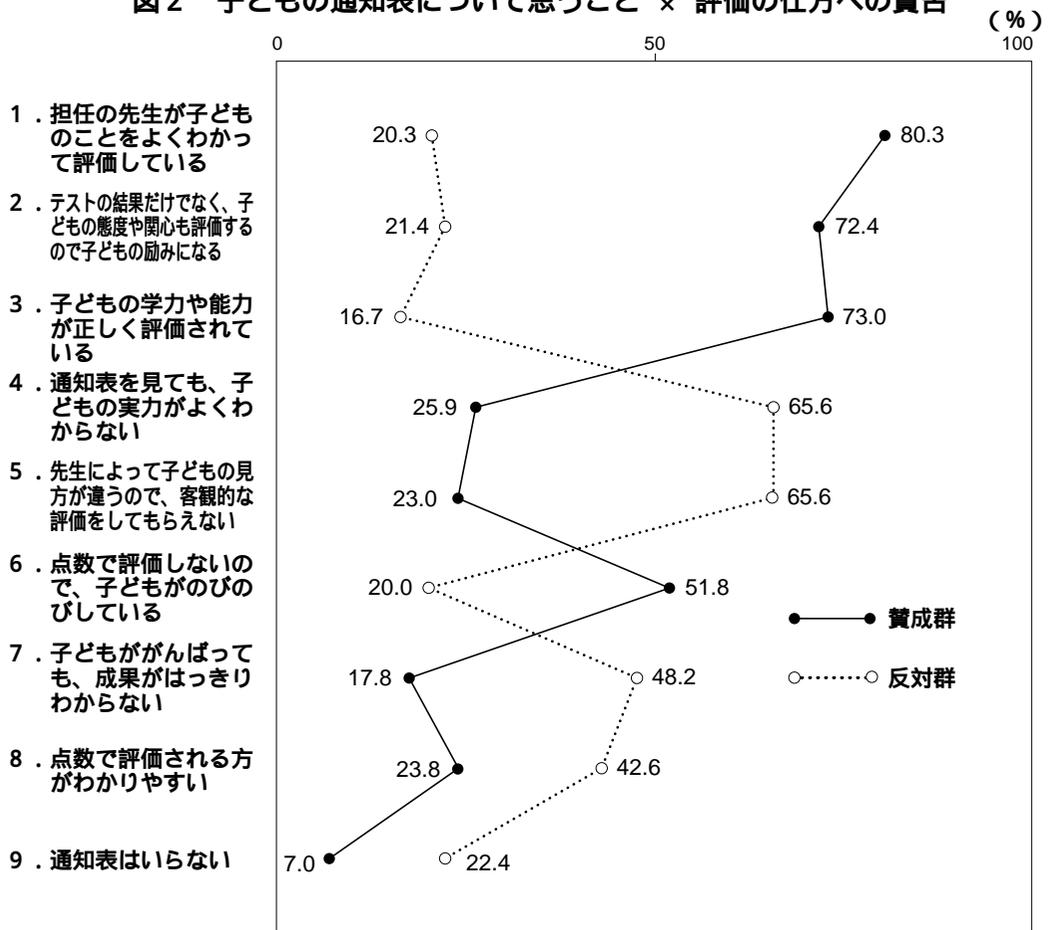
わかって評価している」「テストの結果だけでなく、子どもの態度や関心も評価するので子どもの励みになる」「子どもの学力や能力が正しく評価されている」などの「観点別の到達度評価」の根幹にかかわるような点について、「賛成群」は70～80%もの高い支持率をみせているが、「反対群」では約20%にとどまり、その差は約50%にも達する。

ペーパーテストで測定可能な知識だけでなく、学習への関心や意欲までも育てることをねらった「新しい評価」であっても、「子どもの実力がよくわからないし、客観性にも疑問がある。子どもががんばっても、成果がはっきりわからないので、点数で評価される方

がわかりやすい」という思いを拭いきれない親たちがいることを忘れてはならない。

評価の仕方をどんなに改善したとしても、それが学校から親に一方的に「通知」されるものであったとしたら、子どもの成長へのステップとして生かすことは難しい。時には、家庭からこんな「学力」をつけてほしい、この「評価」は納得できないなどと注文をつけたいこともあるはずだ。通知表をもっと工夫して、学校と家庭をつなぐ「交流簿」のような使い方はできないだろうか。そのためにも「学力」をどのようなものとして考えるのか、親と教師、それに子どもも交えて、共通理解を深めていくことが必要だろう。

図2 子どもの通知表について思うこと × 評価の仕方への賛否



「とても」+「わりと」そう思う割合

教科外の学習として求めること)))

子どもたちは、教科の勉強だけをしているわけではない。学校は子どもたちにとって、家庭と並んで長い時間を過ごす生活空間であり、先生や友だちとのふれあいから教科書では学べない、たくさんのことを吸収している。そうしたふれあいの大事な契機となるのが様々な行事や活動であるが、親たちはそれをどのようにとらえているのであろうか。

図3は、多くの小学校で実際に行われている行事や活動を掲げて、親たちにどのくらい必要と思うかをたずねたものである。親たちに最も必要だと考えられている行事は、やはり「卒業式」で、小学校生活を締めくくる「なくてはならぬもの」という認識（8割が「とても必要」）である。続いて上位には、「修学旅行」「運動会」「社会見学」「遠足」といった定番の行事があがる。親たち自身も子ども時代に楽しい思い出を作ったのであろう、5割から6割が「とても必要」と答えている。それに比べると、「学芸会」「音楽会」「水泳大会」「マラソン大会」などについては、強く必要視する声は2割程度にまで減少し、「必要でない（あまり+ぜんぜん）」が同じくらいか、あるいは上回るという結果となった。特に、「家庭訪問」は「必要でない」が4割にも達している。仕事や各種の活動に活躍する母親が増えたことも一因だろうが、学校に対する意識の変化も感じられる。

学校に何を求めるかは、現状にどの程度満足しているかにもよるだろう。そこで、「行事や活動に対する思い」と「学校への満足度」をクロスさせてみた（ここでは、「子どもが通っている学校に満足しているか」（P.15表6）という質問に対して、「とても満足している」と答えた10%を「満足度高群」、「あまり+ぜんぜん満足していない」と答えた14%を「満足度低群」として抽出し、比較

するという方法をとった）。

その結果が図4であるが、そこには有意な差がみられる。すなわち、「満足度高群」では、「卒業式」から「保護者会」までの項目で半数以上の親が「とても必要」としているのに対して、「満足度低群」では、わずかに「修学旅行」までである。特に、「運動会」「大掃除」「学芸会」などは、両者の意識に30%以上の差がある。

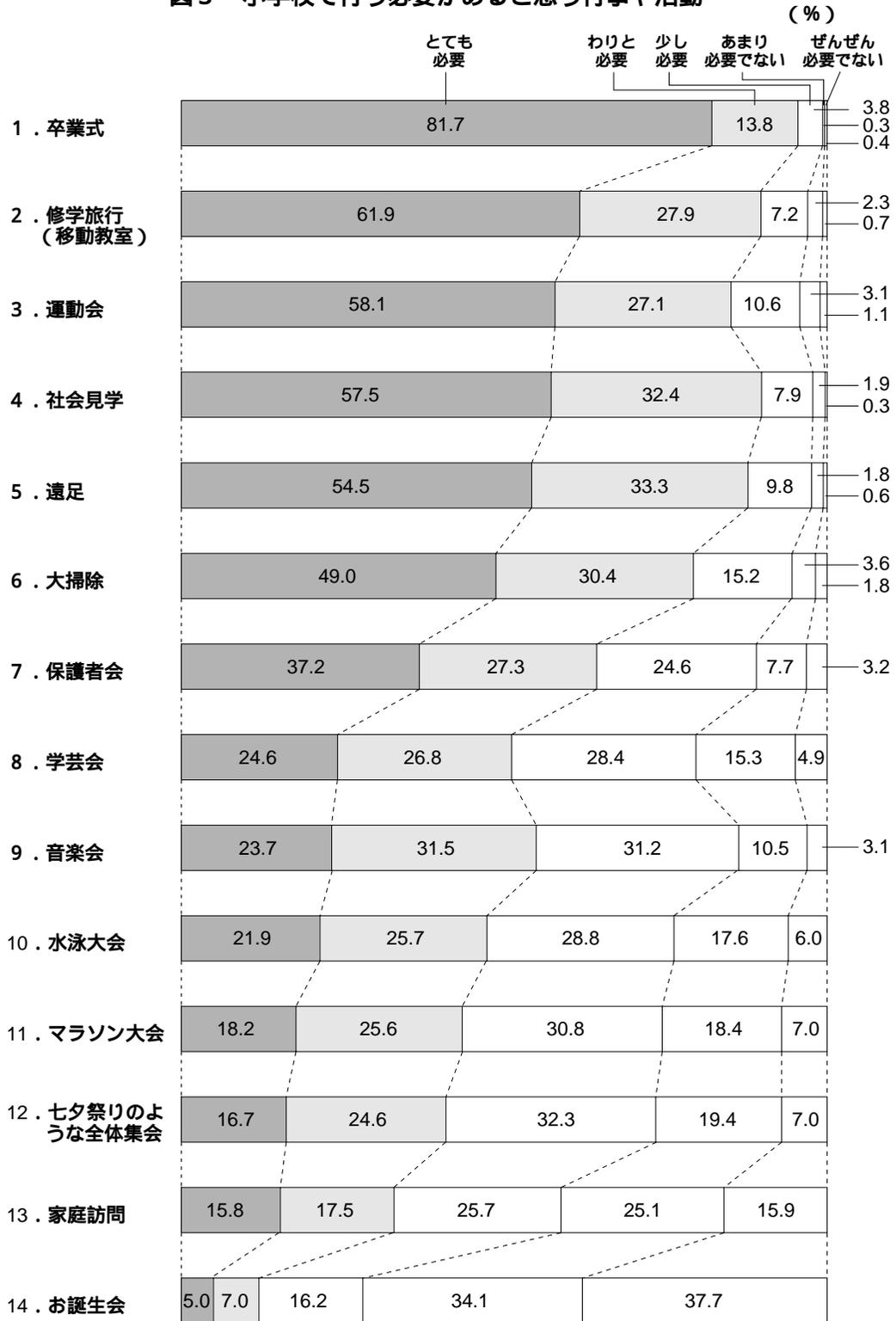
学校にとっても満足している親たちは、行事や活動をより活発にしてほしいと望み、現状に不満がある親たちは、何か別のことに力を入れてほしいと願っているような印象を受ける。

そこで、親たちが学校に何を望んでいるのかを探るために、生活指導にかかわることや英語、パソコンといった新しい内容を提示して、「小学校の学習として子どもたちに教える必要があると思うか」をたずねたのが図5である。

高い数値が示されたのは、「あいさつ」「善悪の判断」「思いやりやささしさ」「友だちと仲よく遊べること」「基本的な生活習慣」など「人として生きていくための基礎」となることがらであり、8割から9割の親たちが「とても必要」としている。これらは家庭でのしつけに重なるものでもあるが、学校教育への期待もかなり強いことがわかる。

続いて、環境問題への関心の高まりを反映してか、「地球の環境について考えること」や「動植物の世話ができること」があがり、6割が「とても必要」と答えている。それに対して、9番目以降に示されたような新しい内容、すなわち、「英語で簡単なあいさつ」「パソコンの使い方」「車椅子や手話の使い方」などを「とても必要」と感じる親は1割から2割と少ない。

図3 小学校で行う必要があると思う行事や活動



21世紀を担う子どもたちであるから、英会話やパソコン、それに手話などができれば、それに越したことはない。けれども、小学校の段階ではそうしたことを学ぶ前に、人としての生き方の基礎をしっかりと身につけてほしいというのが、多くの親たちの願いのようである。

最後に図6は親たちに「小学校で教えてほしいと思うこと」をたずね、「学校への満足度」でクロスしたデータである。図から明らかのように、「ノートがきちんと使えるよう

にする」「友だちと仲よく遊べるようにする」「きちんとした言葉遣いができるようにする」「きれいな字が書けるようにする」など「学び方の基礎」を教えてほしいという点では、子どもが通う学校に満足しているか、それとも不満があるかにかかわらず、親たちの学校への期待はやはり強い。このことは親たちの「学力観」を考える出発点として、再確認しておこう。

次章からは、より具体的な内容に即して、親たちの目からみた「学力」を分析していく。

図4 小学校で行う必要があると思う行事や活動 × 学校への満足度

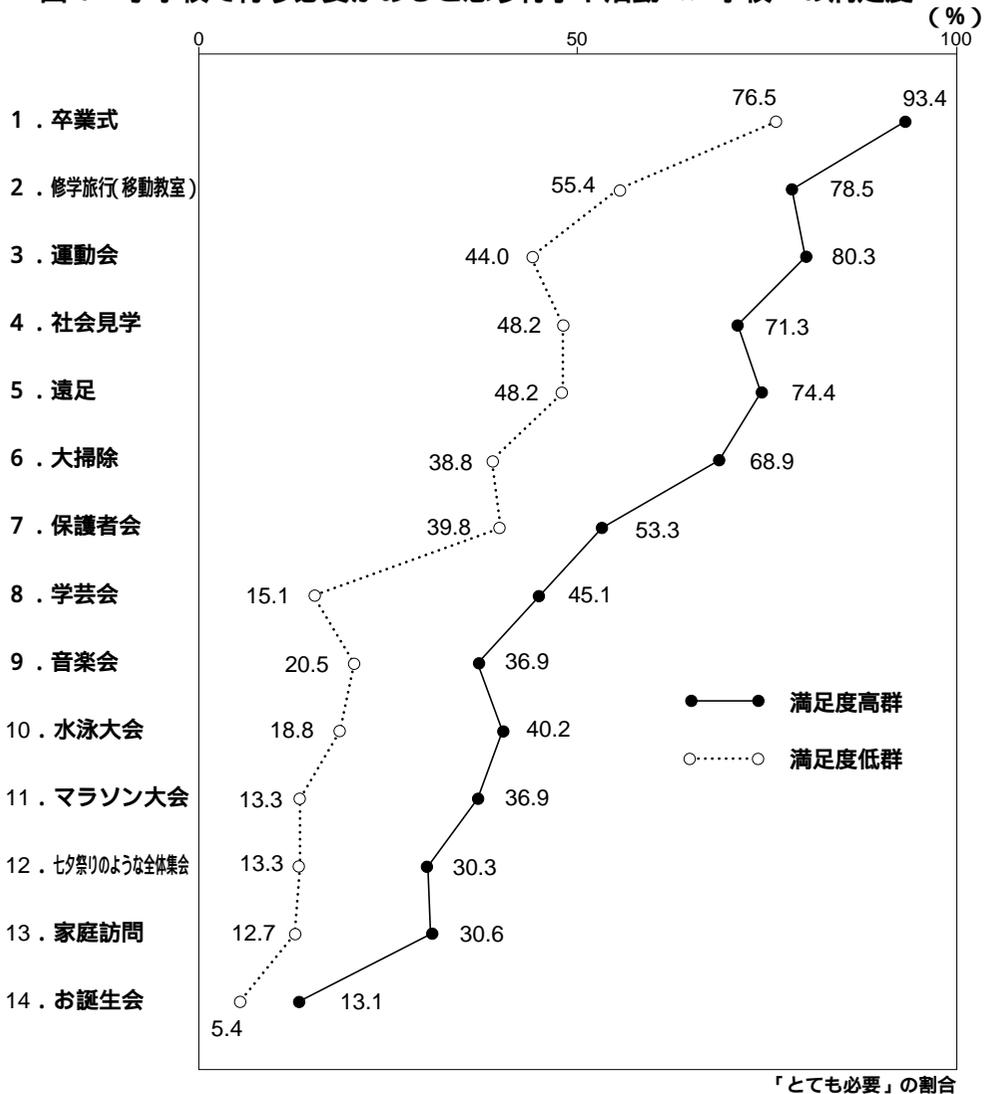


図5 小学校で教える必要があると思う教科以外の学習

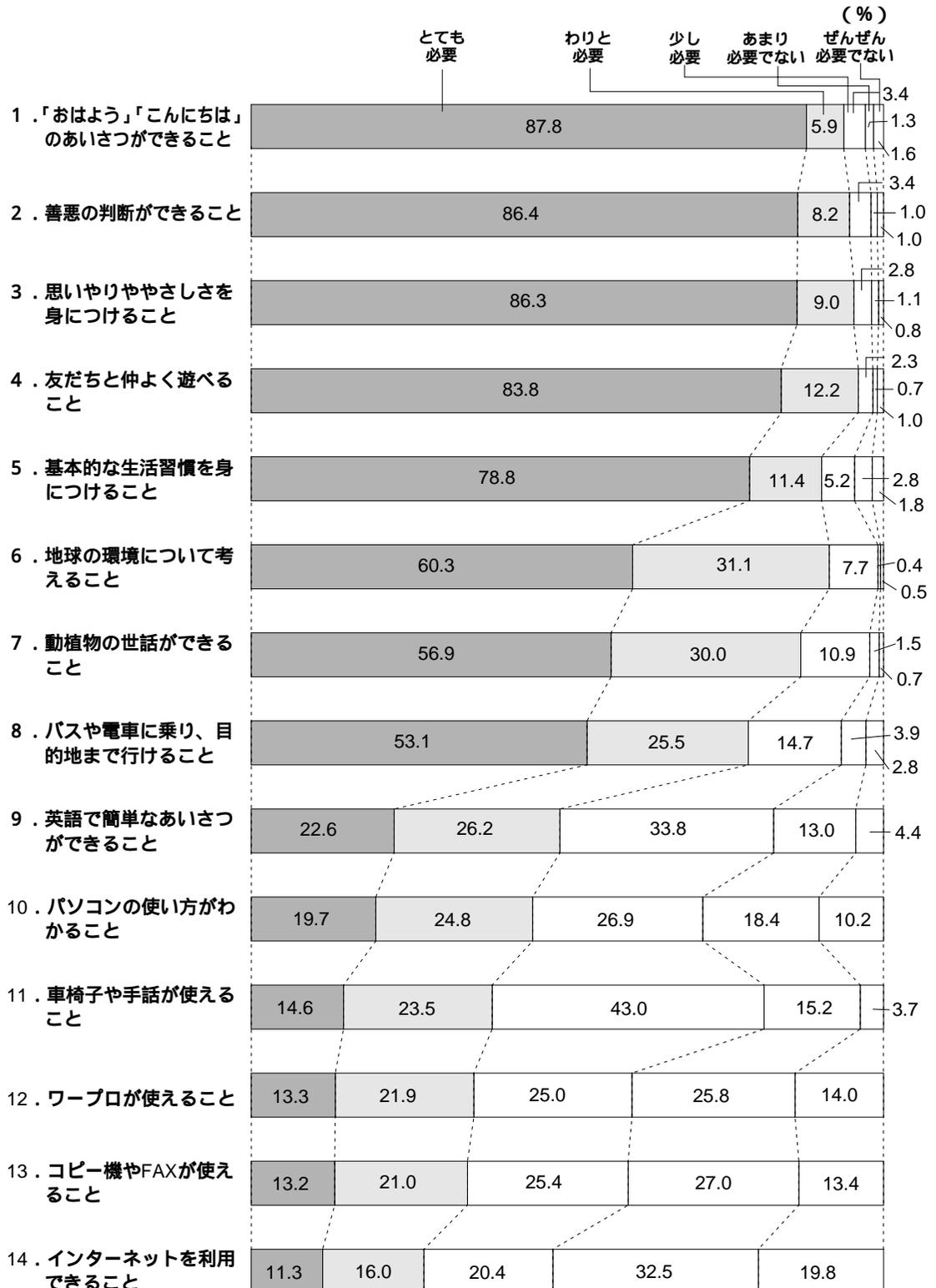
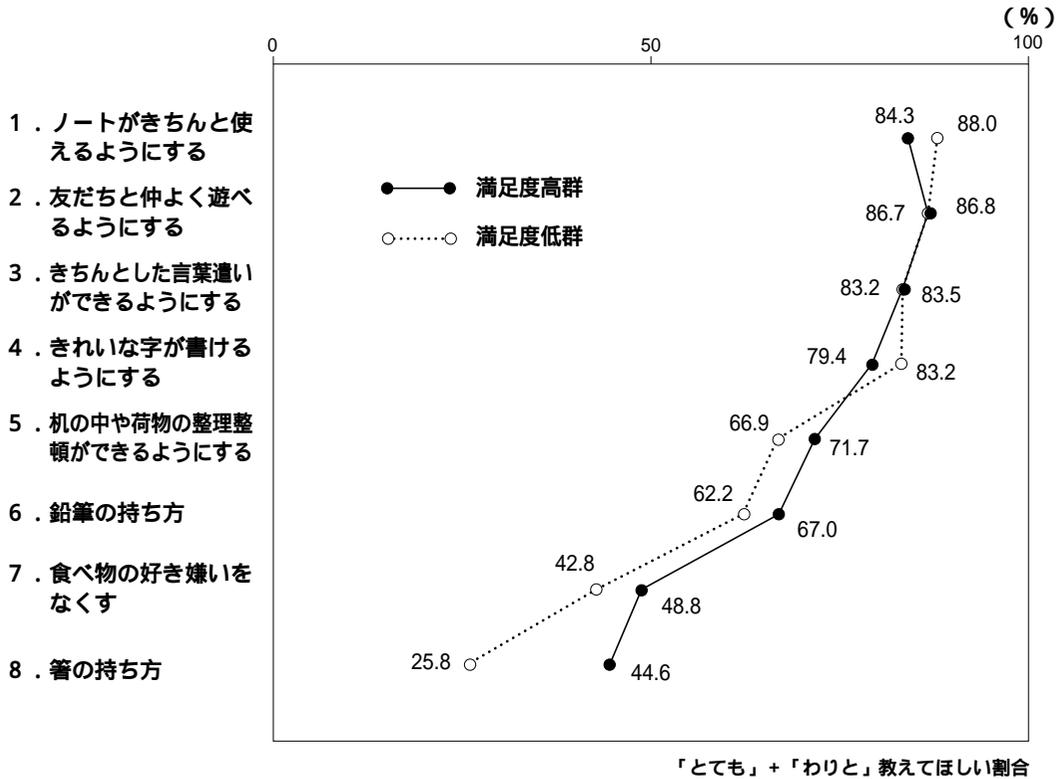


図6 小学校で教えてほしいと思うこと × 学校への満足度



3

親と子からみた学習の難易度



改めていうまでもなく小学校
モノグラフ・小学生ナウ vol.18-1
どのように感じているかを分析
習指導要領に準じて教科書が作られ、その教科書をもとに日常の授業が行われている。しかし学習の当事者である子どもたち、またその保護者たちが学習内容についてどのように感じているかは、ほとんど問題にされていない。

本章では、6年生の学習内容を中心に、保護者たちが子どもの学習する内容について、

どのように感じているかを分析した。問題は、「国語」から「体育」までの8教科の中で大切な内容をできるだけ広範囲にわたって抽出した。調査は親と子を対象にした。親用の調査票では、その項目がどのくらい難しいと感じているか、その内容が小学校6年生で学ぶ必要があるかをたずねた。また子どもたちには問題を解かせたり、どのくらいできると思うかという意識をたずねた。

概観すると)))

まず親調査からみていくと、小学校の問題だけに、総じてあまり難しくないという印象があったようだ。各教科とも「あまり+ぜんぜん難しくない」という数値が難しいという数値をかなり上回っている。

そこで、「とても難しい」と「わりと難しい」をもとに、8教科についてその難しさの

度合いをみていくと、国語で一番難しいと思われるのは、「宮沢賢治などの文学作品が読める」28%、算数では「算数の問題の解き方をみんなの前で説明できる」36%となっている。

以下各教科の最も難しい問題の数値をみると、「社会」61%、「理科」39%、「音楽」

表18 子ども調査の結果

(1) 最低・最高点、平均点

最低	最高	平均
4点 (1人)	100点 (10人)	72.1点

(2) 得点分布

得点	人数	%
10点以下	1	0.5
11～15点	3	1.4
16～20点	1	0.5
21～25点	6	2.8
26～30点	5	2.3
31～35点	1	0.5
36～40点	5	2.3
41～45点	6	2.8
46～50点	8	3.8
51～55点	6	2.8
56～60点	14	6.6
61～65点	16	7.5
66～70点	17	8.0
71～75点	14	6.6
76～80点	20	9.4
81～85点	22	10.3
86～90点	19	8.9
91～95点	16	7.5
96～100点	33	15.5
合計	213 人	100.0 %

50%、「図工」32%、「家庭科」30%、「体育」18%となり、社会科と音楽を除いてはせいぜい30%を超える程度である。社会科は親が難しいだろうと感じている問題が多く、特に政治に関する問題は難しいという数値が並んだ。

全項目を通じて、難しさのトップの項目は「憲法第九条が言える」という社会科の問題で、「とても」「わりと」を合わせると61%に達する。また、「国民主権、基本的人権の意味を理解する」も57%と半数を超えた。この2つが「とても」と「わりと」を合わせた難しさが50%を超えているものである。40%を超えるものを拾い出していくと、「内閣、国会、裁判所の役割を知る」48%、「国際連合について説明できる」45%、「天下統一の流れが説明できる」42%、「日本と世界の国のつながりがわかる」41%と、これもまた社会科だけである。

子ども調査は、2種類の調査を行った。1つは、その内容について自信があるかどうかの意識をたずねた。結果は親用のデータの下に並べて数値を示した。

もう一つは、国算社理の4教科で問題を構成し、テスト形式で行い、100点に配点し点数で集計した。調査票は巻末に記してあるが、その結果は表18に示した。結果について簡単にふれておくと、最高点は100点、最低点は4点となっている。50点以下の子は17%おり、100点の子は10人。96点以上の子も16%いる。それぞれの点数は同じくらいの割合で分布しており、点数のばらつきが多いのが特徴である。本調査のメインテーマではないが、小学校卒業時の子どもたちの学力の分布をよく表しており、この学力の分散も大きな問題として指摘することができる。

子どもたちの感じている問題の難しさをみていくと、先ほどみた親が感じている難しさと基本的には大きな違いはみられない。そのような意味で、親が子どもたちの実態をよくとらえているということがいえよう。しかし、これから各教科ごとの詳しい分析が示す通

り、実際子どもたちに問題を解かせて比較してみると、それぞれの問題は親たちが考えているほど、子どもたちにとっては簡単ではな

かった。また、親子の感じ方が違っているとこもいくつかみられた。

教科別難易度)))

1) 国語

国語の学習で、まず思い浮かぶのは漢字の学習である。漢字のテストでよい点を取ると、国語の学習は「まあまあ大丈夫」と考える子どもと親は多い。

そこで、6年生の学習で出てくる漢字の読み書きからみてみよう。表19は漢字の書きとりを12個、表20は漢字の読みがなを5個示した。これらの漢字は、たぶん子どもたちの半数以上が答えられるだろう漢字と、半数の正解を期待するのは無理だろうとする漢字を抽出した。そして親たちに、これらの漢字学習がわが子にとって難しいかどうかをたずねた。

「厳しい」「蒸発」といった画数の多い漢字については、「とても+わりと難しい」と感じている親が2割前後いるが、その他の漢字については、ほとんどの親があまり難しくないと考えている。一方、子どもたちの正答率からみると、「疑う」「創作」が正しく書けるのは4割にすぎず、「厳しい」「推せん」「革」がほぼ5割と、書けない子どもたちも多い。親にとっては簡単に思える漢字の学習が、子どもたちにとってはかなり定着しにくい学習の1つということがわかる。

国語の学習でも意欲関心が大切であるといわれ、暗記ばかりの知識偏重の学習ではいけないと指摘されることが多いが、漢字は覚えなければ書けない。子どもたちにとっては、繰り返し練習して正確に覚えていく漢字の学習は、親たちが感じている以上に難しい学習である。

では、他の国語の学習はどうだろうか。漢字の読み書き以外の国語の学習を大きく分けると、本を読むなどの読解、話したり書いたりする表現、言葉のつながりや使い方に関する言語である。その学習の中で何が難しいと感じているのだろうか。

表21によれば、親子とも一番難しいと感じているのは「宮沢賢治などの文学作品が読める」と、文学作品の読解であることがわかる。高学年になると、宮沢賢治や椋鳩十といった文学的文章の読み方が学習として入ってくる。こうした作品について「作者は何を伝えたかったか」「このときの主人公の気持ちは」といった読み取りの学習は、子どもの41%が難しいと感じている。電車の中でマンガを読んでいるおとなたちをみると、こういった学習がおとなになって生かされているのかと疑問を感じる。

次に、コミュニケーションや自己表現力はどうだろうか。「自分の意見や考えをはっきり話せる」ことが、わが子には「とても+わりと難しい」と感じている親は23%。一方、子どもたちは「ぜんぜん+あまりよくできない」が25%。授業中、発言もせず黙ったまま1日を過ごす子どもたちも多く見かける。これだけの親が、そして子どもたちが苦手意識をもっているとすれば、学習のあり方に問題はないのだろうか。

作文については、6年生にとって「とても+わりと難しい」と考えている親が22%、一方、「ぜんぜん+あまりよくできない」と感じている子どもたちは14%。文章を書くことについては、話すことに比べると、難しいと感じている子どもは少ない。

表19 漢字の難しさと子どもの実態（漢字の書きとり）

（％）

	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	必要 ない	子どもの 正答率
1. 厳しい	5.6	15.7	33.3	27.8	17.6	3.9	49.3
2. 蒸発	4.4	12.3	29.5	33.5	20.3	1.6	60.6
3. 心臓	3.2	9.8	25.9	36.6	24.5	1.5	67.6
4. 疑う	2.2	8.0	25.2	39.5	25.1	0.7	43.2
5. 革	2.7	6.3	16.8	45.5	28.7	2.1	55.9
6. 創作	2.0	5.4	16.4	47.5	28.7	0.6	42.7
7. 推せん	2.3	4.4	13.9	45.7	33.7	0.8	51.2
8. 姿	0.3	2.0	8.5	34.2	55.0	0.3	80.3
9. 干す	0.3	1.3	3.7	24.0	70.7	0.5	72.3
10. 机	0.6	0.7	1.8	25.9	71.0	0.3	93.0
11. 若い	0.2	0.6	1.5	24.1	73.6	0.2	87.3
12. 穴	0.2	0.5	2.3	22.9	74.1	0.2	91.1

表20 漢字の難しさと子どもの実態（漢字の読みがな）

（％）

	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	必要 ない	子どもの 正答率
1. 山路	4.3	12.4	31.9	27.8	23.6	3.6	52.1
2. 由来	1.6	7.3	19.5	33.2	38.4	1.5	92.5
3. 願望	2.2	5.9	21.0	34.3	36.6	1.1	81.2
4. 口調	1.3	3.5	17.6	33.2	44.4	1.1	94.4
5. 入浴	0.2	1.2	5.5	38.1	55.0	0.2	95.3

表21 国語の学習の難しさ意識

(%)

上段 親の考え 下段 子どもの考え	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	必要 ない
	ぜんぜん できない	あまりよく できない	少し できる	わりと できる	とてもよく できる	
1. 宮沢賢治などの 文学作品が読める	10.5	17.9	33.3	25.9	12.4	2.1
	15.5	25.6	25.6	19.1	14.2	
2. 自分の意見や考 えをはっきり話 せる	6.8	16.5	29.1	28.3	19.3	0.1
	3.2	21.9	29.2	24.7	21.0	
3. 自分の意見や考 えを作文に書け る	5.7	16.3	28.8	31.0	18.2	0.2
	1.4	12.8	28.9	34.4	22.5	
4. 毛筆で上手に自 分の名前が書け る	6.4	14.8	30.8	25.4	22.6	1.7
	2.7	14.2	37.5	33.3	12.3	
5. ローマ字を読ん だり書いたりで きる	5.4	14.8	25.7	32.1	22.0	2.4
	8.2	11.8	21.8	33.7	24.5	
6. 国語辞典や漢和 辞典を使える	1.5	7.0	22.1	38.7	30.7	0.2
	0.5	2.3	11.5	34.6	51.1	

2) 算 数

算数の問題は19項目。表22の14項目は、親には難しさをたずね、子どもたちにはテスト形式で実施し、その結果を比較したものである。そして表23は、難しさの意識を親と子にたずねている。

評価の観点からみると、意欲関心態度に関する項目が2項目、数学的な考え方に関する項目が2項目、知識理解が2項目、残りの13項目は表現処理の問題になっている。また、ほとんどの項目は6年生で学習する内容になっているが、割合や速さの問題など、5年生の問題も一部に含まれている。

子どもたちの学習に向かう態度をたずねた「算数の問題の解き方をみんなの前で説明で

きる」が、親も子も難しさの1位にあげている。確かに自分の考え方を表現することは算数だけでなく小学校の勉強の大きな課題であり、難しい学習である。そのような意味でより力を入れて指導する価値の高いものといえるだろう。次の「難しい問題でも、最後まであきらめないで解く」は、親たちが思っている以上に子どもたちががんばって問題に取り組んでいる姿が見受けられる(表23)。

具体的な問題場面で、親が一番難しいだろうと考えたのは、表22の1の「小数・分数の混合計算」である。子どもたちの正答率は59%で、悪い方から数えて5番目と、確かにそれほどよくはない。しかし、この計算は0.75を4分の3とみることができれば、約分も簡単にでき、6年生にとってはそれほど難しいとは思えない問題である。

表22 算数の学習の難しさと子どもの実態

(%)

	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	必要 ない	子どもの 正答率
1. 計算する($0.75 \times \frac{2}{3} + \frac{5}{8} \div 1\frac{1}{2}$)	8.5	16.8	27.5	25.9	21.3	4.0	58.7
2. 計算する($1.6 - \frac{1}{6}$)	5.5	12.8	21.5	35.5	24.7	3.1	65.3
3. 1500円で仕入れたシャツに、仕入れ値の3割のもうけを見込んで定価をつけたシャツの定価がわかる	4.9	13.2	30.6	31.6	19.7	2.4	51.6
4. 時速60kmの列車が1時間10分では、何km走るかがわかる	5.0	11.7	27.3	33.1	22.9	1.6	56.3
5. 比の値を求める ($\frac{5}{6} : \frac{3}{4}$)	4.9	11.3	26.7	30.1	27.0	3.8	44.6
6. x を求める ($0.8 : 5 = x : 25$)	5.7	9.5	22.8	29.1	32.9	4.4	81.2
7. 計算する ($1\frac{7}{8} \div \frac{5}{12} \times \frac{3}{4}$)	3.4	10.8	23.6	32.8	29.4	2.1	69.5
8. 逆数を求める (0.9)	4.4	9.8	21.8	32.3	31.7	3.7	79.8
9. 逆数を求める ($\frac{5}{6}$)	3.7	9.2	18.8	33.6	34.7	3.7	88.3
10. 円の面積を求める公式や、円周率を知る	3.5	8.1	21.8	37.5	29.1	3.5	83.6
11. 比の値を求める (4 : 6)	3.1	7.4	20.8	33.6	35.1	2.9	54.0
12. x を求める ($5 \times x = 25$)	2.1	5.8	10.7	36.5	44.9	2.7	92.5
13. 計算する ($24 \times 18 \div 8 \div 9$)	1.8	5.2	17.8	38.5	36.7	0.9	85.9
14. 線対称な形の残りの半分を書ける	1.4	4.2	13.3	35.2	45.9	1.8	94.8

A 対称軸

B

親にとっては、小数や分数が出てくる計算問題は難しくうつるようである。2番の計算問題も単純な計算であるが、正答率は65%と、どちらかという悪い方である。同様に計算問題を追ってみると、分数だけの計算は親の難しいと感じる度合いが減り、子どもの正答率も上がってくる。整数だけの計算問題に難しさを感じている親はほとんどいなくなり、子どもの正答率も86%とかなり高くなってくる。

しかし指導者側からいえば、1と2の問題に7と13の問題を加えた4つの計算問題の難しさは、それほど大きな差はないといえる。確かに、「 $24 \times 18 \div 8 \div 9$ 」という整数の計算は、やり方を工夫すれば暗算できる。しかし、この計算問題では左から順番に 24×18 を筆算でやり、432という答えを出し、それを8で割り、9で割っている子どもが多くみられた。

混合計算は難しい、整数の計算は簡単という考えがあり、実際子どもの正答率もそのようになっている。整数と小数分数の関係、小

数と分数の関係などの理解は当然だが、計算問題の扱い方、指導方法についても検討すべき課題があるといえよう。

子どもの正答率で一番低かったのは、比の値を求める問題である。指導時期が7月であり、子ども調査が翌年の2月ということもあって、子どもの多くは比の値という意味を忘れてしまっているのだろう。確かに2量の関係を1つの数で表すことは理解しにくいことであったといえよう。

このことは、親も比例反比例などの2量の関係の難しさを3位にあげているが、この2量の関係をつかむのは小学校の指導内容では難しい部類に入り、3番の「割合」の問題、4番の「速さ」などの正答率も低く、親も難しいと考えている問題である。

一方、「円の面積を求める公式」のように記憶しておくもの、「 x を求める」「線対称の図形の残りを書く」といったような問題の形の見えやすいものは、親の難しさ意識も低く、子どもたちの正答率も高い。

表23 算数の学習の難しさ意識

(%)

上段 親の考え 下段 子どもの考え	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	必要 ない
	ぜんぜん できない	あまりよく できない	少し できる	わりと できる	とてもよく できる	
1. 算数の問題の解き方をみんなの前で説明できる	13.7 8.3	22.1 30.6	33.7 25.9	20.4 22.2	10.1 13.0	0.8
2. 難しい問題でも、最後まであきらめずに解く	11.3 3.2	18.8 12.3	36.0 30.7	21.3 30.1	12.6 23.7	1.0
3. 比例や反比例などに伴って変わる2つの数量の関係がわかる	5.9 2.7	13.9 12.3	36.4 30.1	27.5 31.6	16.3 23.3	3.8
4. 資料を整理し、円グラフや帯グラフに表せる	2.7 2.8	10.9 11.5	26.3 24.8	37.8 43.0	22.3 17.9	1.5
5. 電卓が使える	0.4 0.9	1.6 0.9	7.5 2.8	35.5 15.7	55.0 79.7	5.1

3) 社会

今回の子ども調査で、一番好きな教科では最下位、一番難しい教科では1位にあげられたのが社会科である。親や子どもたちはどんなところに難しさを感じているのだろうか。社会科は、子どもたちに魅力のない教科なのだろうか。

学習指導要領が変わり、小学校での学習は歴史全般を通して学ぶのではなく、人物中心に学習していくことになった。そこで、表24では、親たちに歴史上の人物を6名あげ、その人物の活躍や時代背景について理解することが難しいかどうかたずねてみた。6名の人物については、それぞれが生きた時代や活

動領域を政治的、文学的、社会的などと多岐にわたる範囲から抽出した。さらに、子どもたちにはテスト形式でどのくらい理解しているかを確かめた。

「東郷平八郎」という戦争中の人物については3割以上の親たちが「とても+わりと難しい」と考えているが、子どもたちの8割は正解している。他の5名の人物は難しいと考える親は少なく、子どもたちの正答率も高い。ではなぜ、社会科が難しいと感じるのだろうか。

次に、年号を記憶する、いわゆる暗記する学習についてたずねたのが表25である。ここでは武家政治の始まりである「鎌倉幕府成立の年号」を取り上げ、歴史的事項を記憶することの難しさをたずねた。親が「とても+

表24 社会の学習の難しさ（歴史上の人物）

(%)

	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	必要 ない	子どもの 正答率
1. 東郷平八郎	11.9	21.0	34.2	21.1	11.8	6.4	79.3
2. 紫式部	3.2	10.8	26.7	32.8	26.5	3.7	94.4
3. ペリー	2.6	10.8	21.0	35.8	29.8	1.9	82.6
4. 野口英世	2.7	8.2	20.6	37.5	31.0	1.2	93.9
5. 聖徳太子	1.7	8.3	20.6	38.6	30.8	1.2	91.1
6. 徳川家康	1.5	8.2	18.9	38.7	32.7	1.2	90.6

表25 社会の学習の難しさ（年号の暗記）

(%)

	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	必要 ない	子どもの 正答率
源頼朝が鎌倉幕府を開いた年と言える	10.3	18.1	30.1	22.3	19.2	9.2	48.8

わりと難しい」と感じる割合は28%、子どもの正答率は49%と半数に満たない。記憶中心だった親たちの学習体験と、資料を活用して調べていく現代の子どもたちの学習との変化が感じられる。また、この学習を小学校では学ぶ必要がないと考える親たちも1割弱みられるが、中学受験にはこれらの年号を暗記することも必要になってくる。

表26は社会科の学習全般について難しさをたずねた。6年生の社会科の学習は、前半で歴史、後半に政治のしくみや国際理解について学習する。特に、親が難しいと感じる項目は、「憲法第九条が言える」「国民主権、基本的人権の意味を理解する」と政治のしくみや憲法に関する事で、「とても+わりと難しい」の1位、2位となっている。さらにこれらの項目は、小学校で学ぶ必要がないと考える親が1割前後いる。小学校の学習はおおむね必要だと感じている親たちの中で目を引く数値である。

子どもたちも「憲法第九条が言える」が「ぜんぜん+あまりよくできない」と感じている子は75%にも達する。「国民主権、基本的人権の意味を理解する」が47%、「内閣、国会、裁判所の役割を知る」が37%と理解できない子が多い。憲法の知識、政治のしくみや国民主権・基本的人権の理解は社会生活をしていく上で最も大切で基本的な1つと思えるが、子どもたちにとっては難しい学習のようである。

そこで表27では、親の「とても+わりと難しい」、子どもの「ぜんぜん+あまりよくできない」数値を比較し、親と子の難易度の差を示した。表には10%以上差のある項目に不等号がつけてある。「地図の見方」や「縄文・弥生時代のこと」は親・子どもあまり難しいとは思っていない。親と子で差の大きい項目をみると、「国民主権、基本的人権

の意味を理解する」(親57%>子47%)、「内閣、国会、裁判所の役割を知る」(親48%>子37%)、「日本と世界の国のつながりがわかる」(親41%>子30%)、「ユニセフについて説明できる」(親40%>子15%)、「環境問題について、調べて説明できる」(親35%>子17%)、「自分たちで調べたことを新聞のようにまとめられる」(親26%>子13%)が親の方が難しいと感じている割合が高く、一方、子どもが難しいと思っている項目は、「憲法第九条が言える」(親61%<子75%)、「オーストラリアの生活の様子を知る」(親36%<子47%)である。

親たちは自分たちの小学校の頃に学習しなかった内容に難しさを感じ、子どもは憲法や政治、国際理解の学習を難しいと感じているが、環境問題やユニセフなど身近な問題に対してはあまり難しさを感じていない。しかし、他の教科と比べても社会科では親も子も難しいと感じる割合が高く、学習内容や学習の進め方を検討する必要があるのではないだろうか。

基本的人権などの指導は、子どもの視点でもっと具体的に指導すべきだろう。また、国際化社会の中で、世界の中の日本の子どもとして、自国の歴史を知るだけでなく世界を見る目を育てていく必要もあるだろう。こうしたことが知識理解にとどまっているため、親も子も社会科の授業に難しさを感じ、社会科を魅力のない教科にしているのではないだろうか。

今回の調査結果でも、子どもたちは「自分たちで調べたことを新聞のようにまとめられる」ことが難しくないと感じている。もっといろいろな観点から自分の考えをまとめていくという学習をすることで、学習への成就感を持たせられるのではないだろうか。

表26 社会の学習の難しさ意識

(%)

上段 親の考え 下段 子どもの考え	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	必要 ない
	ぜんぜん できない	あまりよく できない	少し できる	わりと できる	とてもよく できる	
1. 憲法第九条が言える	34.8 48.1	25.7 26.6	23.3 13.3	11.3 3.7	4.9 8.3	14.1
2. 国民主権、基本的人権の意味を理解する	28.8 20.5	28.6 26.5	25.0 25.1	11.2 12.6	6.4 15.3	9.2
3. 内閣、国会、裁判所の役割を知る	20.0 11.2	27.9 26.0	29.2 29.3	16.3 17.2	6.6 16.3	6.9
4. 織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の天下統一の流れが説明できる	16.7 11.0	25.4 26.9	28.8 27.4	17.7 16.0	11.4 18.7	8.3
5. 日本と世界の国のつながりがわかる	15.9 7.5	25.2 22.5	35.8 29.1	16.6 26.3	6.5 14.6	2.3
6. ユニセフについて説明できる	15.7 6.0	23.8 9.2	28.5 27.1	20.6 26.6	11.4 31.1	3.1
7. 中華人民共和国の生活の様子を知る	12.6 14.4	24.2 24.7	34.8 28.3	20.1 18.6	8.3 14.0	3.6
8. オーストラリアの生活の様子を知る	12.2 20.9	23.7 26.0	34.0 28.4	21.9 14.9	8.2 9.8	4.3
9. 環境問題について調べて説明できる	11.8 3.2	22.9 14.2	33.0 33.1	23.1 30.7	9.2 18.8	3.1
10. 沖縄や広島、長崎の被害と戦争の終結を理解する	12.6 7.8	22.0 24.2	34.9 25.1	20.8 22.8	9.7 20.1	2.7
11. アメリカ合衆国の生活の様子を知る	9.8 12.1	20.3 20.9	33.7 29.3	25.3 23.7	10.9 14.0	3.5
12. 日本の県名を全て知る(言える)	8.9 7.4	19.5 22.6	29.9 28.0	26.0 21.7	15.7 20.3	2.6
13. 自分たちで調べたことを新聞のようにまとめられる	9.9 4.1	16.4 8.7	29.5 26.1	28.7 38.2	15.5 22.9	1.1
14. 国際連合について説明できる	20.6 17.4	24.5 24.8	31.2 27.0	17.1 16.1	6.6 14.7	4.5
15. 奈良の大仏は、何のために造られたのか理解する	6.3 5.6	16.9 18.6	30.1 23.3	28.4 24.2	18.3 28.3	4.8
16. オリンピックについて説明できる	5.6 2.7	12.4 6.8	25.7 26.9	34.4 30.1	21.9 33.5	1.7
17. 地図の見方がわかる	3.3 2.8	9.9 7.0	27.4 21.9	35.9 32.6	23.5 35.7	0.3
18. 縄文時代や弥生時代の人々の生活ぶりがわかる	3.0 1.4	9.2 3.2	23.1 21.3	42.7 46.3	22.0 27.8	2.1

子ども = 3、5、7、8、11、15、17、18は「ぜんぜん知らない」「あまりよく知らない」「少し知っている」「わりと知っている」「とてもよく知っている」の回答

表27 社会の学習の難しさ意識 × 親・子

(%)

	親		子ども
1. 憲法第九条が言える	60.5	<	74.7
2. 国民主権、基本的人権の意味を理解する	57.4	>	47.0
3. 内閣、国会、裁判所の役割を知る	47.9	>	37.2
4. 国際連合について説明できる	45.1		42.2
5. 織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の天下統一の流れが説明できる	42.1		37.9
6. 日本と世界の国のつながりがわかる	41.1	>	30.0
7. ユニセフについて説明できる	39.5	>	15.2
8. 中華人民共和国の生活の様子を知る	36.8		39.1
9. オーストラリアの生活の様子を知る	35.9	<	46.9
10. 環境問題について、調べて説明できる	34.7	>	17.4
11. 沖縄や広島、長崎の被害と戦争の終結を理解する	34.6		32.0
12. アメリカ合衆国の生活の様子を知る	30.1		33.0
13. 日本の県名を全て知る(言える)	28.4		30.0
14. 自分たちで調べたことを新聞のようにまとめられる	26.3	>	12.8
15. 奈良の大仏は、何のために造られたのか理解する	23.2		24.2
16. オリンピックについて説明できる	18.0		9.5
17. 地図の見方がわかる	13.2		9.8
18. 縄文時代や弥生時代の人々の生活ぶりがわかる	12.2		4.6

親 = 「とても」 + 「わりと」 難しい割合
 子ども = 「ぜんぜん」 + 「あまりよく」 できない割合
 (3、6、8、9、12、15、17、18は「ぜんぜん」 + 「あまりよく」 知らない割合)
 < > は10%以上差のある項目

4) 理 科

理科は6年生の学習内容を中心に14項目。「A．生物とその環境」から4項目、「B．物質とエネルギー」から6項目、「C．地球と宇宙」から4項目となっている。

全体的には、自分たちの生活と身近な場面を扱う生物とその環境についてはあまり難しさを感じていないが、地球と宇宙の項目については難しさを感じている。

表28が示す通り、一番難しいのが「堆積岩と火成岩の違い」であり、難しいと考える親が「とても」「わりと」を合わせると39%。「ぜんぜん+あまりよくできない」と答える子は34%に達する。確かに実際に確かめたりすることが難しく、おとなでも見分けることがなかなか難しいと思われる。「魚を解剖して、動物の体を観察できる」と「消化、吸収などの人体の構造がわかる」は関連した学習である。魚の解剖については前回の学習指導要領の改訂で復活したものであり、解剖には子どもも親も難しいと感じているようである。しかし、人体の構造については、自分の体を扱ったものであり、子どもたちの理解が

もう少し進んでいてもよいように思える。

次の「電磁石を使って、モーターなどが作れる」も「電流の流れや電磁石についてわかる」と関連したことである。電磁石を理解しても、それを利用して何かを作り出すことは難しいことであり、親も子どもも同様に難しさを感じている。

理科は、実験や観察など自分たちで取り組むことが多く、子どもたちにとっては楽しい教科である。それだけに全体的には、「とてもよく+わりとできる」とできる割合の方が高くなっている。「酸性、アルカリ性、中性などいろいろな水溶液の性質」ではリトマス紙等を使っていろいろな水溶液を調べたりする体験が、子どもたちの「とてもよく知っている」という体験を高めていると考えられる。難しいと思う親が25%なのに対して、知らないと答える子どもたちは10%しかいない。

しかし、「夜の星を観察」できても、「夏の大三角形を作る星の名前」が言えない。そして、「自分で植物を育てられる」自信があっても、「日光がよく当たる方がジャガイモがよくできる理由」はわからないなど、子どもたちの意欲や自信は大きいですが、正しい知識が身につけていないという実態があるようだ。

表28 理科の学習の難しさ意識

(%)

上段 親の考え 下段 子どもの考え	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	必要 ない
	ぜんぜん できない	あまりよく できない	少し できる	わりと できる	とてもよく できる	
1. 堆積岩と火成岩の違いが見分けられる	15.8 12.0	23.0 22.1	34.7 26.3	17.1 22.1	9.4 17.5	7.4
2. 魚を解剖して、動物の体の仕組みを観察できる	12.6 18.2	20.0 17.3	32.0 22.9	25.8 25.2	9.6 16.4	7.2
3. 電磁石を使って、モーターなどが作れる	13.8 15.8	18.3 22.8	33.7 30.2	23.3 20.0	10.9 11.2	4.3
4. 消化、吸収、排泄、循環、呼吸などの人体の構造がわかる	7.8 7.4	19.5 16.3	32.7 30.3	28.3 27.9	11.7 18.1	1.5
5. 地層や岩石などを観察し、土地のでき方を調べられる	7.8 4.1	19.3 16.6	33.1 28.1	26.8 31.4	13.0 19.8	4.7
6. 電流の流れや電磁石についてわかる	7.2 9.0	19.4 15.1	35.5 31.6	26.4 25.0	11.5 19.3	3.0
7. 夜の星を自分で観察することができる	8.5 5.1	17.3 17.7	31.9 25.6	26.9 28.8	15.4 22.8	1.9
8. 酸性、アルカリ性、中性など、いろいろな水溶液の性質がわかる	6.4 3.3	18.8 7.0	34.7 20.1	25.5 33.6	14.6 36.0	2.8
9. 空気中に含まれる気体の中で、ものを燃やすと増える気体がわかる	4.6	13.5	24.7	30.7	26.5	1.8
	*ものを燃やすと増える気体は何ですか 正答率(76.5)					
10. 夏の大三角形を作る星の名前が言える	3.7	11.9	29.4	32.8	22.2	2.5
	*夏の大三角形を作る星の名前を教えてください。正答率(49.8)					
11. ものを燃やすときに必要な気体がわかる	3.1	11.1	21.9	34.7	29.2	1.0
	*ものを燃やすときに必要な気体は何ですか。正答率(78.9)					
12. 顕微鏡などの実験道具が使える	3.4 4.2	10.5 11.2	25.8 22.8	35.3 33.0	25.0 28.8	1.2
13. 自分で植物を育てられる	2.4 1.9	9.4 7.0	22.1 19.2	38.1 31.3	28.0 40.6	0.4
14. 日光がよく当たる方がジャガイモがよくできる理由がわかる	1.9 6.9	7.6 14.4	22.1 28.2	40.9 21.3	27.5 29.2	0.6

子ども = 4、6、8は「ぜんぜん知らない」「あまりよく知らない」「少し知っている」「わりと知っている」「とてもよく知っている」の回答

5) 音楽

音楽の学習を大きく分けると、歌を歌う、楽器で演奏する、音楽を鑑賞することである。学校によっては5、6年生になると、学級担任ではなく音楽専科の先生に専門的に指導してもらおうようになる。音楽はおとなでもそうであるように、技術的なものが大きく影響し、好きな子と苦手意識をもった子が大きく分かれる教科である。

そこで、音楽の学習の難しさについてたずねたのが表29である。親たちが一番難しいと考えていることは「自分で簡単な曲が作れる」で50%、子どもたちも38%はできない

と自信がない子も多い。「楽譜の記号を理解して歌が歌える」(親28% < 子34%)、「ビゼーなどの曲を鑑賞する」(親27% < 子48%)も、子どもたちの方ができないと思っている割合が高い。

音を楽しむはずの音楽が、子どもたちには苦手意識の方が高く、楽しむほどに音楽を理解できていないというのが実態であろうか。高学年に入ると、男の子は変声期に入り声が出にくくなると考えても、これだけ多くの子どもたちが苦手意識をもつということは、求められている音楽の学力と親が感じている音楽の学力や子どもたちが抱く音楽の授業への期待など、実態に大きな差があると感じざるを得ない。

表29 音楽の学習の難しさ意識

上段 親の考え 下段 子どもの考え	(%)					
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	必要 ない
	ぜんぜん できない	あまりよく できない	少し できる	わりと できる	とてもよく できる	
1. 自分で簡単な曲が作れる	25.8 18.3	23.8 19.7	28.3 24.0	13.6 21.1	8.5 16.9	9.3
2. f, p, ♪ など、楽譜の記号 を理解して歌が歌える	8.2 16.3	19.5 17.7	25.6 14.4	23.8 15.8	22.9 35.8	2.6
3. グリーグやカバレフスキー、 ビゼーなどの曲を鑑賞する	10.6 24.7	16.3 23.4	29.1 19.6	25.9 13.6	18.1 18.7	5.3
4. 音のでる仕組みを考え て、身近な材料を使っ て楽器を作り演奏できる	13.9 13.0	19.0 18.5	28.3 27.3	24.6 21.8	14.2 19.4	4.0
5. 山田耕筰や宮城道雄の 曲を知る	7.8 39.6	16.1 21.7	31.6 15.1	28.2 11.3	16.3 12.3	4.2
6. 「ふるさと」「おぼろ月 夜」など古くから日本 に伝わる歌が歌える	3.4 11.7	10.8 14.6	23.0 19.7	35.2 28.6	27.6 25.4	1.0
7. 太鼓や笛、木琴の演奏 ができる	2.1 7.1	9.1 10.9	19.3 22.7	39.1 24.2	30.4 35.1	0.7
8. みんなで合唱や合奏が できる	1.2 5.2	4.3 7.1	12.2 14.2	35.5 26.5	46.8 47.0	0.1

子ども = 5 は「ぜんぜん知らない」「あまりよく知らない」「少し知っている」「わりと知っている」「とてもよく知っている」の回答

6) 図工

図工の質問項目は6つ。表30に示した6つの項目のうち、上の2項目は小学校では学習していない内容である。それだけに親も難しさを感じており、学習しなくてもよいという意見が多かった。これから進んで取り入れられるコンピュータグラフィックスは、「とても」と「わりと」を合わせて、32%の親が難しいと考えていた。その他、現在行われている学習内容については、それほど難しくはないという意見が多かった。

本教科の特徴として、これまでみてきた教科と比較して、子どもたちの意見と親の考え

がかなり違っていることが指摘できる。表31で示したように、親たちが考える難しいものと、子どもたちができる自信のないものを対比して整理してみた。親たちが感じている1位と子どもたちの感じている1位は「コンピュータグラフィックス」で変わらないが、子どもたちの方が感じ方が少ない。また「電動ノコギリ」についても、子どもたちの自信はわりと高い。

実際に授業で体験しているものをみていくと、「彫刻刀を使ったり立体などを作る」というような、工作関係について自信が高くなっている。一方、親は簡単ではないかと思っている「静物画や風景画」などの写生が、難しいと感じている子どもたちが多い。

表30 図工の学習の難しさ意識

(%)

上段 親の考え 下段 子どもの考え	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	必要 ない
	ぜんぜん できない	あまりよく できない	少し できる	わりと できる	とてもよく できる	
1. コンピュータグラフィックスで絵が描ける	16.7 11.2	15.7 15.3	24.6 15.8	23.8 23.7	19.2 34.0	12.4
2. 電動ノコギリでうまく切れる	9.7 3.2	15.1 7.9	33.2 22.2	25.6 39.8	16.4 26.9	10.5
3. 彫刻刀を使って版画が彫れる	2.7 1.9	11.5 6.5	26.4 26.2	36.2 33.2	23.2 32.2	0.7
4. 生活を楽しくするものを作る	3.1 5.1	8.5 15.7	24.5 26.3	34.3 28.5	29.6 24.4	0.6
5. 身近な材料を使って、立体や焼き物を作る	1.9 4.6	8.3 15.7	20.1 27.2	37.7 30.4	32.0 22.1	0.7
6. 絵の具を使って静物画や風景画が描ける	1.9 4.6	8.0 16.1	20.0 28.6	35.4 29.5	34.7 21.2	0.1

表31 図工の学習の難しさ意識 × 親・子ども

	(%)	
	親	子ども
1. コンピュータグラフィックスで絵が描ける	32.4	① 26.5
2. 電動ノコギリでうまく切れる	24.8	⑤ 11.1
3. 彫刻刀を使って版画が彫れる	14.2	⑥ 8.4
4. 生活を楽しくするものを作る	11.6	② 20.8
5. 身近な材料を使って、立体や焼き物を作る	10.2	④ 20.3
6. 絵の具を使って静物画や風景画が描ける	9.9	③ 20.7

親 = 「とても」 + 「わりと」 難しい割合
 子ども = 「ぜんぜん」 + 「あまりよく」 できない割合
 の数字は難しさの順位

7) 家庭科

家庭科の学習は、5年生になってはじめて始まる教科である。主に食生活や衣生活、家族の人間関係など、家庭生活に関する学習が行われる。最近では食品添加物や環境に関する学習も多く取り入れられるようになってきて、昔の料理裁縫というイメージとは大分変わってきた。

表32は、家庭科で学習する知識・技術・理解について具体的な10項目をあげ、難しさをたずねた。親が一番難しいと思っているのは「通信販売やカードの使い方」で「とても」と「わりと」を合わせると30%に達す

る。子どもも32%が「ぜんぜん + あまりよく知らない」と答えている。そして、親たちの26%が小学校で学習する必要がないとも考えている。しかし、子どもの生活をみると、キャッシュカードで預金をしている子、プリペイドカードを利用して電車や電話を利用する子など大勢いるだろう。さらに子どもたちが読む雑誌には、通信販売で購入できる広告が載せられている。こうした環境の中で生活する子どもたちに、通信販売やカードの使い方の知識は必要ないのだろうか。

「エプロンやカバーを作る」「ボタンつけやほころびを直す」「ミシンが使える」など裁縫技術に関することは2割弱の親が難しいと感じている。子どもは「エプロンやカバーを

作ったり、ボタンつけやほころびを直す」ことは親と同様、2割弱の子ができないと自信のなさがみられるが、「ミシンが使える」ことができない子は1割未満と少ない。全体的にみると、子どもたちは「とてもよく+わりとできる」と自信を持っている割合は高く、難しいとされる「通信販売やカードの使い方」や「加工食品のマークや品質表示の理解」「環境問題」でさえ5割近い子が、その他の項目でもほぼ6割以上の子どもが学習に自信をもっている。

この教科の特徴として、学習したことが毎日の生活の中で役に立つことがあげられる。学校で「ご飯とみそ汁の作り方」を学べば、家に帰り作ってみて、家族に喜んでもらえる。掃除や洗濯についても同様である。物の選び方、リサイクルの活用など、生活の中で問題意識をもったことがすぐ子どもたちの学習につながっている。このような生活に基づいた学習は、他の教科と違い学習の達成感を感じやすく、子どもたちに自信を与え、確かな力となっていくといえるのではないだろうか。

表32 家庭科の学習の難しさ意識

(%)

上段 親の考え 下段 子どもの考え	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	必要 ない
	ぜんぜん できない	あまりよく できない	少し できる	わりと できる	とてもよく できる	
1. 通信販売やカードの使い方を知る	13.2 12.6	16.4 19.1	30.2 20.0	25.7 24.6	14.5 23.7	26.2
2. 加工食品のマークや品質表示を理解する	7.2 7.0	17.7 15.8	32.8 28.8	28.1 31.2	14.2 17.2	5.8
3. 簡単なエプロンやカバーを作る	4.7 6.2	13.4 12.4	31.8 25.7	29.3 25.2	20.8 30.5	0.9
4. ボタンつけやほころびを直す	4.7 6.9	12.9 11.1	29.7 21.8	29.3 24.5	23.4 35.7	0.6
5. ミシンが使える	5.1 0.9	12.3 7.4	25.6 16.7	31.7 32.9	25.3 42.1	2.1
6. 近隣の生活を考え、環境を清潔にしたり、騒音を防止する必要性を理解する	4.7 6.5	11.5 13.0	25.4 30.5	37.2 27.3	21.2 22.7	2.4
7. 物の選び方や買い方、リサイクルの活用ができる	3.6 1.9	11.4 12.6	27.0 26.2	35.6 29.4	22.4 29.9	2.3
8. ご飯を米と水を計って鍋(釜)で炊ける	4.0 5.1	9.4 6.5	19.7 14.0	32.5 27.1	34.4 47.3	1.3
9. 掃除や洗濯ができる	1.5 5.6	8.7 9.7	20.1 22.2	38.4 35.6	31.3 26.9	0.7
10. みそ汁や簡単なおかずを作る	1.7 2.8	8.0 4.7	19.2 10.7	37.0 23.3	34.1 58.5	0.3

子ども = 1は「ぜんぜん知らない」「あまりよく知らない」「少し知っている」「わりと知っている」「とてもよく知っている」の回答

8) 体 育

体育の7項目は、技術面で「鉄棒」「跳び箱」「水泳」の3項目。保健の領域から知識理解面として「男子と女子の体の違い」「けがや病気」について、また、意欲態度面として「ゲームの工夫」と「協力」についてたずねた。

表33をみると、一番難しいのが「鉄棒」、続いて「跳び箱」となっている。鉄棒の逆上がりや跳び箱の六段跳びなどは、3～4年生の学習内容であり、その時期に取り組まないとなかなかできにくいものである。「少しできる」までを含めると、「鉄棒」については子どもたちの約3分の1が、また「跳び箱」については約2割の子ができないと答えてい

る。一方、水泳は「とてもよくできる」という子が8割もあり、「わりとできる」を含めると9割に達するという結果である。子どもたちにとっては、ここでたずねた7項目のうちで水泳が一番自信のあるものであり、この結果は親の予測を大きく上回るものであった。

保健の領域では、「少し難しい」までを含めて「男女の違い」が難しいと感じている親が約4割、子どもたちもほとんど同様である。「けがや病気」については、親が28%に対して子どもが41%と、親が思っているほど子どもたちはわかっていないという結果である。

ゲームの工夫や協力についてはよく取り組んでいるものであり、子どもたちも親たちも難しさはそれほど感じていない。

表33 体育の学習の難しさ意識

(%)

上段 親の考え 下段 子どもの考え	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	必要 ない
	ぜんぜん できない	あまりよく できない	少し できる	わりと できる	とてもよく できる	
1. 鉄棒で逆上がりができる	9.4 18.1	8.6 8.8	15.8 7.9	23.6 13.0	42.6 52.2	0.9
2. 跳び箱の六段が跳べる	4.7 4.2	7.5 6.0	18.2 10.7	24.3 9.3	45.3 69.8	1.0
3. 男の子と女の子の体の違いや思春期の身体の変化を理解する	2.2 5.1	7.6 9.8	29.5 26.2	35.7 34.1	25.0 24.8	0.8
4. 水泳で25メートル泳げる	3.2 2.8	5.3 3.3	15.9 3.3	22.7 5.6	52.9 85.0	0.8
5. けがや病気の予防について理解する	1.3 4.6	5.2 10.2	21.1 26.0	39.8 29.6	32.6 29.6	0.2
6. サッカーやバスケットボールのやり方を考えてゲームができる	1.3 2.8	4.8 4.2	15.7 17.1	34.3 25.0	43.9 50.9	0.4
7. チームで協力して試合ができる	1.3 0.9	3.4 4.2	12.1 21.0	33.2 29.9	50.0 44.0	0.1

4

子どものタイプ別にみた難易度



前章では、小学校6年生の学習に対して、親たちの感じる子どもにとっての難易度や子ども自身の難しさの実態をみてきた。ここで

は、学習の「難しさ」が子どもの進路や成績、親の学歴によってどのような差があるのかをみていく。

子どもの性別・塾・進路と難易度)))

表34は、子どもの性、通塾や中学受験希望の有無により、親たちがそれぞれの学習内容をどのくらい難しいと感じているかを示した。数値は「とても+わりと難しい」の割合を示し、それぞれの群の中で10%以上差のある項目には○をつけてある。また、表35は各教科の小学校で学ぶ必要性をたずねている。

まず、子どもの性差からみていこう。学習内容では、音楽の「楽譜の記号を理解して歌が歌える」「自分で簡単な曲が作れる」、家庭科の「ボタンつけやほころびを直す」「ミシンが使える」「簡単なエプロンやカバーを作

る」で男子の親たちに難しいと感じる割合が高い。その他の学習内容はほとんど性差がみられない。

教科の必要性をみると、男女とも「国語」は97%、「算数」は92%を超える親たちが必要だと考えている。社会科は男子の親の方が若干必要と考える割合が高いが、それでも男女とも8割を超える。そして学習内容での難しさはほとんど性差がみられなかったものの、教科の必要性では「理科」「図工」「体育」は男子に、「家庭科」は女子に必要だと考える親が多く、性差がみられる。親たちは男子、女子で学習能力に差はないと考えているが、

子どもに期待する教科は、やはり女子には「家庭科」、男子には「理科」や「図工」「体育」である。親たちが抱く男の子・女の子のイメージの違いだろうか。

次に、塾に行っているかどうかで差をみてみよう。社会科では「沖縄や広島、長崎の被害と戦争の終結を理解する」「憲法第九条が言える」「国民主権、基本的人権の意味を理解する」の項目で塾に行っていない子どもの親が難しいと感じる割合が高い。また算数では、計算問題の「 $0.75 \times \frac{2}{3} + \frac{5}{8} \div \frac{1}{2}$ 」「 $1.6 - \frac{1}{6}$ 」「比例や反比例などに伴って変わる2つの数量の関係がわかる」など分数・小数の混合計算や比例反比例の2量の変化を理解する学習に差がみられる。これらの学習は3章でみたように、親の難しさの意識が高く、子どもにとっても正答率が低く理解しにくい項目である。「図工」や「体育」「家庭科」の教科は両群の難しさの意識に差はみられない。

一方、教科の必要性をみると、「国語」「算数」「社会」「理科」の4教科では両群に差はみられないが、「図工」「音楽」「家庭科」「道徳」などで子どもを塾に行かせない親の方が必要と考える割合が高い。このことから、塾に行かせない親は、教育に対する考え方をしっかりもっており、図工や音楽など情緒面を養う教科を大切にしていると推測もできる。

次に中学受験希望の有無による違いをみてみると、「社会」と「算数」に差が顕著な項目が目立つ。特に、社会科の「日本の県名を全て知る」「源頼朝が鎌倉幕府を開いた年が言える」など知識を記憶する暗記学習や「織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の天下統一の流れが説明できる」「沖縄や広島、長崎の被害と戦争の終結を理解する」などものの見方や考え方、「憲法第九条が言える」「国民主権、基本的人権の意味を理解する」「内閣、国会、裁判所の役割を知る」など政治のしくみや人権意識などの内容は、受験をしない子どもたちにとってはかなり難しい学習となっていることがわかる。

算数では、受験しない子どもの親は、式の

計算や比の値、 x を求める式の項目で、基礎的な問題は解けるが応用問題や発展させた問題、複雑な問題は難しいと感じている。さらに、割合や時間と速度、距離の関係、比例反比例の2量の関係から道筋を考え答えを求める問題も難しいと感じ、両群の差は大きく開いている。

では、中学受験をするかどうかで教科の必要性は変わるのだろうか。「国語」「算数」「社会」は若干であるが中学受験を希望している子どもの親の方が数値が高い。これは当然としても、受験を希望する親は、「理科」「図工」「音楽」「体育」などの情緒面や技能を扱う教科の必要性も高く、学校への期待が大きい。これは中学受験を希望する親たちが子どもたちに多様な学力を期待している結果なのだろうか、それとも受験が暗記を中心にした知識偏重から意欲関心態度、情緒的な側面も評価の重要な要素となるからだろうか。

さて、難易度の差が大きく開いた中学受験を取り出し、受験群と非受験群の難易度の差の大きい順に1位から112位までを並べた一覧表が表36である。

まず差の大きい1位から20位までをみると、社会10項目、算数8項目、国語1項目、音楽1項目と、社会科と算数が圧倒的に上位を占める。特に差が大きい項目は、社会科の「国際連合が説明できる」「憲法第九条が言える」「国民主権、基本的人権の意味を理解する」、算数の「時間と速度・距離の関係」「問題の解き方をみんなの前で説明できる」「小数・分数の混合計算」で、差が20%を超える。

また、両群で最も難易度が高い項目は、受験の有無にかかわらず、1位「憲法第九条が言える」(受験群42%、非受験群66%)、2位「国民主権、基本的人権の意味を理解する」(同様に40%、62%)、3位「自分で簡単な曲が作れる」(同様に39%、52%)であり、受験群でも3~4割、非受験群では5~7割近くの親たちが「とても+わりと難しい」と考えている。

では、これらの項目を親たちは小学校で学

ぶ必要があると考えているのか。

	受験群	非受験群
国際連合が説明できる	0.4%	0.4%
憲法第九条が言える	10.8%	15.8%
国民主権、基本的人権 の意味を理解する	5.8%	10.4%
時間と速度・距離の関係 問題の解き方をみんなの 前で説明できる	0.4%	2.0%
小数・分数の混合計算	0.8%	0.9%
0.8%	5.1%	

と、小学校で学ぶ必要がないと考えている親は両群にほとんど差がなく、憲法や国民主権・基本的人権で1割を超える程度で学習する必要があると考えている。とすれば、これらの学習については、子どもたちにもう少しわかりやすい学習の進め方を工夫する必要があるのではないだろうか。

一方、差の少ない92位から112位までをみると、家庭科8項目、国語6項目、体育4項目、理科1項目、音楽1項目、図工1項目で

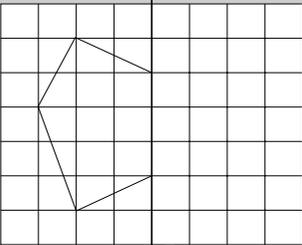
両群の差は2%以下である。しかし、「加工食品のマークや品質表示を理解する」「夜の星を自分で観察することができる」は両群の差は1%台と低い、親たちが難しいと感じる割合は2割を超えている。

中学受験の有無から学習内容をみると、両群に難易度の差がなく、難易度の低い学習内容は、学校で勉強するだけで子どもたちが理解できる学習である。逆に、社会科や算数のように難易度も高く両群の差も大きく開いている学習内容は、中学受験のための勉強をしている子でないと理解できないような内容といえる。すなわち、中学受験があることによって支えられる、学校の勉強だけでは全ての子どもが理解できない難しい学習内容が上位の社会科や算数であり、このような学習内容は学校の勉強だけでは理解できない部分を進学塾などで特別に学習している層が支えているといえよう。

表34 学習の難しさ × 子どもの性・通塾の有無・中学受験希望の有無

「とても」+「わりと」難しい割合 ○は10%以上差のある項目(%)

	性 別		通 塾		中学受験希望	
	男 子	女 子	有	無	有	無
国語						
1. 漢字の書きとり						
1) 厳しい	22.1	20.7	19.9	22.6	13.5	23.3
2) 蒸発	16.7	16.9	15.0	17.1	9.2	18.4
3) 心臓	14.3	11.6	11.6	14.4	5.9	15.0
4) 疑う	10.8	9.8	11.1	10.1	5.4	11.3
5) 革	10.1	7.9	9.0	8.9	6.7	9.6
6) 創作	8.3	6.6	6.2	8.4	4.6	7.9
7) 推せん	7.2	6.1	6.3	7.1	2.9	7.7
8) 姿	2.9	1.6	2.0	2.5	0.8	2.5
9) 干す	2.5	0.9	1.6	1.5	0.8	1.7
10) 机	1.6	0.8	0.9	1.6	0.8	1.4
11) 若い	1.3	0.3	1.1	0.7	0.0	1.1
12) 穴	1.1	0.2	0.8	0.5	0.0	0.7
2. 読みがな						
1) 山路	16.7	16.9	17.8	15.9	11.9	17.9
2) 由来	10.4	7.3	8.2	9.5	5.0	9.7
3) 願望	10.4	5.9	6.7	9.4	2.6	9.6
4) 口調	6.5	2.9	4.7	4.8	2.5	5.4
5) 入浴	1.8	1.2	1.6	1.3	1.2	1.5
3. 毛筆で上手に自分の名前が書ける						
4. ローマ字を読んだり書いたりできる						
5. 宮沢賢治などの文学作品が読める						
6. 国語辞典や漢和辞典を使える						
7. 自分の意見や考えを作文に書ける						
8. 自分の意見や考えをはっきり話せる						
算数						
1. 式の計算						
1) $0.75 \times \frac{2}{3} + \frac{5}{8} \div 1\frac{1}{2}$	24.7	26.0	19.7	30.8	9.6	29.6
2) $1.6 - \frac{1}{6}$	17.1	19.5	12.0	24.1	8.4	20.7
3) $1\frac{7}{8} \div \frac{5}{12} \times \frac{3}{4}$	14.6	14.0	11.0	17.4	5.3	16.6
4) $24 \times 18 \div 8 \div 9$	6.6	7.5	5.7	8.3	1.7	8.5
2. 逆数を求める						
1) 0.9	12.9	15.4	12.0	16.3	6.8	16.2
2) $\frac{5}{6}$	11.6	14.1	10.3	15.0	6.0	14.6

	性 別		通 塾		中学受験希望	
	男 子	女 子	有	無	有	無
3. 式でxを求める						
1) $0.8 : 5 = x : 25$	14.9	15.6	10.4	19.1	5.1	17.3
2) $5 \times x = 25$	8.3	7.4	5.6	9.8	3.0	9.1
4. 比の比の値を求める						
1) $\frac{5}{6} : \frac{3}{4}$	14.3	17.2	12.2	20.0	6.4	18.7
2) $4 : 6$	9.2	11.5	9.3	12.2	4.3	11.8
5. 1500円で仕入れたシャツに、仕入れ値の3割のもうけを見込んで定価をつけたシャツの定価がわかる	16.9	19.5	14.6	21.3	6.7	21.0
6. 時速60kmの列車が1時間10分では、何km走るかわかる	16.1	17.5	12.6	20.4	4.6	29.6
7. 円の面積を求める公式や、円周率を知る	11.5	11.8	7.7	14.6	4.6	13.0
8. 線対称な形の残りの半分を書ける	6.4	4.8	5.2	5.9	3.7	6.0
<p style="text-align: center;">A 対称軸</p>  <p style="text-align: center;">B</p>						
9. 資料を整理し、円グラフや帯グラフに表せる	13.9	13.2	12.2	14.8	8.8	14.8
10. 比例や反比例などに伴って変わる2つの数量の関係がわかる	17.1	22.8	15.2	24.6	8.8	22.7
11. 難しい問題でも、最後まであきらめないで解く	31.2	29.0	28.3	31.9	22.3	32.3
12. 算数の問題の解き方をみんなの前で説明できる	34.7	36.8	32.5	39.0	19.2	40.2
13. 電卓が使える	2.8	1.2	2.0	2.1	3.3	1.7
社会						
1. 日本の県名を全て知る	27.4	29.4	25.7	31.3	13.7	32.4
2. 縄文時代や弥生時代の人々の生活ぶりがわかる	11.6	13.0	10.8	13.6	7.1	13.7
3. 歴史上の人物を知る						
1) 東郷平八郎	30.6	35.5	31.5	35.0	24.2	35.5

	性 別		通 塾		中学受験希望	
	男 子	女 子	有	無	有	無
2) 紫式部	14.9	13.1	14.5	13.9	8.8	15.4
3) ペリー	12.1	14.7	13.2	14.0	8.4	14.9
4) 野口英世	9.7	12.1	11.2	10.8	8.4	11.5
5) 聖徳太子	9.5	10.6	9.3	10.7	5.4	11.1
6) 徳川家康	8.5	11.1	9.0	10.6	4.6	11.1
4. 奈良の大仏は、何のために造られたのか 理解する	24.0	22.7	22.0	24.8	17.7	25.0
5. 源頼朝が鎌倉幕府を開いた年が言える	27.2	29.4	25.8	31.5	16.5	32.0
6. 織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の天下統 一の流れが説明できる	40.5	43.9	40.9	43.9	28.2	46.3
7. 沖繩や広島、長崎の被害と戦争の終結を 理解する	33.6	35.6	29.7	39.5	22.6	38.1
8. 憲法について						
1) 第九条が言える	58.5	62.5	55.7	64.7	41.5	65.5
2) 国民主権、基本的人権の意味を理 解する	56.4	58.6	53.1	61.9	39.6	62.4
9. 内閣、国会、裁判所の役割を知る	46.4	47.5	45.6	50.2	33.3	51.6
10. 国々の生活の様子を知る						
1) 中華人民共和国	36.4	37.1	35.5	37.1	27.1	28.7
2) オーストラリア	35.7	35.9	34.7	36.3	27.0	37.8
3) アメリカ合衆国	28.2	31.8	28.9	30.4	20.2	31.8
11. 説明できる						
1) 国際連合	44.3	41.6	42.2	47.1	21.6	48.5
2) ユニセフ	39.7	39.6	37.3	41.1	28.5	42.0
3) オリンピック	17.5	18.6	16.9	18.2	11.9	19.1
12. 地図の見方がわかる	13.4	13.1	14.6	12.1	8.9	14.5
13. 環境問題について、調べて説明できる	37.1	32.4	34.3	34.8	25.0	36.9
14. 日本と世界の国のつながりがわかる	42.3	39.9	39.8	42.2	28.4	44.3
15. 自分たちで調べたことを新聞のように まとめられる	28.4	24.4	25.7	26.7	19.1	28.0
理科						
1. ものを燃やすときに必要な気体がわかる	13.1	15.4	14.6	14.0	9.7	15.5
2. 空気中に含まれる気体の中で、ものを燃 やすと増える気体がわかる	17.3	18.6	18.4	18.1	12.7	19.7
3. 日光がよく当たる方がジャガイモがよく できる理由がわかる	10.6	8.5	9.2	9.8	7.3	10.0
4. 夏の大三角形を作る星の名前が言える	16.7	15.4	17.2	13.9	12.8	16.1

	性 別		通 塾		中学受験希望	
	男 子	女 子	有	無	有	無
5. 夜の星を自分で観察することができる	27.0	24.6	24.9	26.1	24.6	25.7
6. 酸性、アルカリ性、中性など、いろいろな水溶液の性質がわかる	23.7	27.1	25.2	25.6	19.1	27.1
7. 消化、吸収、排泄、循環、呼吸などの人体の構造がわかる	27.5	27.2	26.5	28.5	20.8	29.2
8. 電流の流れや電磁石についてわかる	22.8	30.8	26.2	27.5	21.2	28.3
9. 電磁石を使って、モーターなどが作れる	27.9	36.7	31.0	33.4	26.4	33.8
10. 魚を解剖して、動物の体の仕組みを観察できる	29.0	36.4	31.4	33.8	28.4	33.7
11. 顕微鏡などの実験道具が使える	13.1	14.9	13.5	14.2	11.8	14.5
12. 地層や岩石などを観察し、土地のでき方を調べられる	25.4	28.6	26.2	28.0	22.2	28.4
13. 堆積岩と火成岩の違いが見分けられる	37.1	40.4	37.0	40.5	32.6	40.4
14. 自分で植物を育てられる	14.2	9.3	10.7	12.8	8.1	12.9
図工						
1. 絵の具を使って静物画や風景画が描ける	10.5	9.2	9.3	10.2	8.7	10.0
2. 身近な材料を使って、立体や焼き物を作る	10.6	9.9	10.8	9.3	7.6	10.8
3. 生活を楽しくするものを作る	12.2	11.2	11.6	11.3	10.0	11.8
4. 電動ノコギリでうまく切れる	22.9	27.0	23.6	26.1	18.0	26.5
5. 彫刻刀を使って版画が彫れる	13.7	14.6	13.4	14.6	11.6	14.6
6. コンピュータグラフィックスで絵が描ける	33.0	31.6	31.9	32.1	24.7	34.6
音楽						
1. 太鼓や笛、木琴の演奏ができる	13.9	7.9	10.8	10.8	8.0	11.6
2. <i>f</i> 、 <i>p</i> 、 ♪ など、楽譜の記号を理解して歌が歌える	36.0	22.8	26.8	28.3	19.2	29.7
3. 「ふるさと」「おぼろ月夜」など古くから日本に伝わる歌が歌える	18.7	9.6	15.0	12.7	12.9	14.0
4. 山田耕筰や宮城道雄の曲を知る	27.1	20.5	24.7	22.8	19.8	24.6
5. グリークやカバレフスキー、ビゼーなどの曲を鑑賞する	31.7	22.0	26.4	26.7	21.3	27.7
6. 自分で簡単な曲が作れる	60.3	38.6	59.3	49.9	39.2	52.2
7. 音のする仕組みを考えて、身近な材料を使って楽器を作り演奏できる	36.3	29.3	33.7	31.8	29.2	33.6
8. みんなで合奏や合唱ができる	6.7	4.3	5.0	5.9	4.1	5.8

	性 別		通 塾		中学受験希望	
	男 子	女 子	有	無	有	無
体 育						
1. 鉄棒で逆上がりができる	18.3	17.7	19.5	16.4	18.7	17.5
2. 跳び箱の六段が跳べる	9.4	15.0	12.8	11.4	11.7	12.2
3. 水泳で25メートル泳げる	7.6	9.3	7.3	9.5	4.2	9.6
4. サッカーやバスケットボールのやり方を考えてゲームができる	4.9	7.2	4.5	6.8	5.1	5.9
5. チームで協力して試合ができる	3.9	5.3	3.6	5.1	2.5	4.9
6. けがや病気の予防について理解する	7.0	6.1	6.0	6.9	7.0	6.3
7. 男の子と女の子の体の違いや思春期の身体の変化を理解する	12.6	6.9	9.2	9.8	7.1	9.9
家 庭 科						
1. ご飯を米と水を計って鍋（釜）で炊ける	17.2	10.3	14.4	12.5	13.7	13.1
2. みそ汁や簡単なおかずを作る	12.3	6.9	10.7	8.8	10.8	9.4
3. ボタンつけやほころびを直す	23.3	11.6	18.8	16.6	17.8	17.5
4. ミシンが使える	23.7	10.9	17.3	17.5	18.0	17.2
5. 掃除や洗濯ができる	13.6	6.4	10.4	10.1	12.5	9.6
6. 簡単なエプロンやカバーを作る	24.3	11.3	19.1	17.5	15.8	18.7
7. 通信販売やカードの使い方を知る	31.6	27.6	29.9	29.1	29.6	29.5
8. 加工食品のマークや品質表示を理解する	27.8	21.8	24.3	25.4	24.1	25.3
9. 近隣の生活を考え、環境を清潔にしたり、騒音を防止する必要性を理解する	17.3	15.3	15.5	16.5	16.5	15.9
10. 物の選び方や買い方、リサイクルの活用ができる	17.8	12.2	14.4	15.2	13.6	15.1

表35 教科の必要性 × 子どもの性・塾・中学受験

(%)

	全 体	性 別		通 塾		中学受験希望	
		男 子	女 子	有	無	有	無
1. 国語	97.2	97.4	97.1	96.3	97.6	98.9	96.7
2. 算数	92.1	93.3	90.8	92.0	92.2	95.0	90.8
3. 社会	86.1	88.5	83.6	88.2	86.0	91.2	> 84.5
4. 理科	76.8	81.8	> 71.4	78.2	76.0	87.4	> 73.0
5. 図工	64.5	68.3	> 60.7	55.4	< 65.5	75.1	> 61.0
6. 音楽	67.0	66.8	67.1	60.9	< 67.9	76.1	> 64.3
7. 体育	81.7	86.2	> 76.8	76.4	< 82.1	88.3	> 80.1
8. 家庭科	76.1	71.2	< 81.3	66.3	< 77.2	78.0	75.6
9. 道徳	80.6	80.1	81.4	72.7	< 81.5	80.3	80.6
10. 特別活動	77.3	79.6	75.0	72.2	< 78.0	81.3	> 76.1

「とても」+「わりと」必要の割合
 < > は5%以上差のある項目

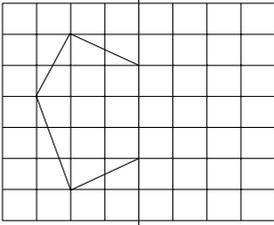
表36 学習の難しさ × 子どもの中学受験有無の差

「とても」+「わりと」難しい割合(%)

順位	学習内容	中学受験希望		AとBの差
		有(A)	無(B)	
1	社 国際連合(説明できる)	21.6	48.5	26.9
2	算 時速60kmの列車が1時間10分では、何km 走るかわかる	4.6	29.6	25.0
3	社 憲法第九条が言える	41.5	65.5	24.0
4	社 国民主権、基本的人権の意味を理解する	39.6	62.4	22.8
5	算 算数の問題の解き方をみんなの前で説明 できる	19.2	40.2	21.0
6	算 $0.75 \times \frac{2}{3} + \frac{5}{8} \div 1\frac{1}{2}$ の計算	9.6	29.6	20.0
7	社 日本の県名を全て知る	13.7	32.4	18.7
8	社 内閣、国会、裁判所の役割を知る	33.3	51.6	18.3
9	社 織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の天下統 一の流れが説明できる	28.2	46.3	18.1
10	社 日本と世界の国のつながりがわかる	28.4	44.3	15.9
11	社 源頼朝が鎌倉幕府を開いた年が言える	16.5	32.0	15.5
11	社 沖縄や広島、長崎の被害と戦争の終結を 理解する	22.6	38.1	15.5
13	算 1500円で仕入れたシャツに、仕入れ値の 3割のもうけを見込んで定価をつけたシ ャツの定価がわかる	6.7	21.0	14.3
14	算 比例や反比例などに伴って変わる2つの 数量の関係がわかる	8.8	22.7	13.9
15	社 ユニセフ(説明できる)	28.5	42.0	13.5
16	音 自分で簡単な曲が作れる	39.2	52.2	13.0
17	国 宮沢賢治などの文学作品が読める	16.7	29.4	12.7
18	算 $\frac{5}{6} : \frac{3}{4}$ の比の値	6.4	18.7	12.3
18	算 $1.6 - \frac{1}{6}$ の計算	8.4	20.7	12.3
20	算 $0.8 : 5 = x : 25$ の x の値	5.1	17.3	12.2
21	社 環境問題について、調べて説明できる	25.0	36.9	11.9
22	社 アメリカ合衆国	20.2	31.8	11.6
23	社 東郷平八郎(知る)	24.2	35.5	11.3
23	算 $1\frac{7}{8} \div \frac{5}{12} \times \frac{3}{4}$ の計算	5.3	16.6	11.3
25	社 オーストラリア	27.0	37.8	10.8
26	音 f 、 p 、 ♪ など、楽譜の記号を理解して歌が歌える	19.2	29.7	10.5
27	算 難しい問題でも、最後まであきらめない で解く	22.3	32.3	10.0
28	図 コンピュータグラフィックスで絵が描ける	24.7	34.6	9.9

順位	学 習 内 容	中学受験希望		AとBの差
		有 (A)	無 (B)	
29	国 厳しい(書ける)	13.5	23.3	9.8
30	算 0.9の逆数	6.8	16.2	9.4
31	国 自分の意見や考えをはっきり話せる	15.9	25.2	9.3
32	国 蒸発(書ける)	9.2	18.4	9.2
33	国 心臓(書ける)	5.9	15.0	9.1
34	社 自分たちで調べたことを新聞のようにまとめられる	19.1	28.0	8.9
35	国 自分の意見や考えを作文に書ける	15.1	23.9	8.8
36	算 $\frac{5}{6}$ の逆数	6.0	14.6	8.6
37	図 電動ノコギリでうまく切れる	18.0	26.5	8.5
38	算 円の面積を求める公式や円周率を知る	4.6	13.0	8.4
38	理 消化、吸収、排泄、循環、呼吸などの人体の構造がわかる	20.8	29.2	8.4
40	理 酸性、アルカリ性、中性など、いろいろな水溶液の性質がわかる	19.1	27.1	8.0
41	理 堆積岩と火成岩の違いが見分けられる	32.6	40.4	7.8
42	算 4:6の比の値	4.3	11.8	7.5
43	理 電磁石を使って、モーターなどが作れる	26.4	33.8	7.4
44	社 奈良の大仏は、何のために造られたのか理解する	17.7	25.0	7.3
45	社 オリンピック(説明できる)	11.9	19.1	7.2
46	理 電流の流れや電磁石についてわかる	21.2	28.3	7.1
47	国 願望(読みがな)	2.6	9.6	7.0
47	理 空気中に含まれる気体の中で、ものを燃やすと増える気体がわかる	12.7	19.7	7.0
49	算 $24 \times 18 \div 8 \div 9$ の計算	1.7	8.5	6.8
50	社 縄文時代や弥生時代の人々の生活ぶりがわかる	7.1	13.7	6.6
50	社 紫式部(知る)	8.8	15.4	6.6
52	社 徳川家康(知る)	4.6	11.1	6.5
52	社 ベリー(知る)	8.4	14.9	6.5
54	音 グリーグやカバレフスキー、ビゼーなどの曲を鑑賞する	21.3	27.7	6.4
55	理 地層や岩石などを観察し、土地のでき方を調べられる	22.2	28.4	6.2
56	算 $5 \times x = 25$ の x の値	3.0	9.1	6.1
57	算 資料を整理し、円グラフや帯グラフに表せる	8.8	14.8	6.0

順位	学 習 内 容	中学受験希望		AとBの差
		有 (A)	無 (B)	
57	国 山路（読みがな）	11.9	17.9	6.0
59	国 疑う（書ける）	5.4	11.3	5.9
60	理 ものを燃やすときに必要な気体がわかる	9.7	15.5	5.8
61	社 聖徳太子（知る）	5.4	11.1	5.7
62	社 地図の見方がわかる	8.9	14.5	5.6
63	体 水泳で25メートル泳げる	4.2	9.6	5.4
64	理 魚を解剖して、動物の体の仕組みを観察できる	28.4	33.7	5.3
65	国 国語辞典や漢和辞典を使える	4.6	9.4	4.8
65	国 推せん（書ける）	2.9	7.7	4.8
65	理 自分で植物を育てられる	8.1	12.9	4.8
65	音 山田耕柞や宮城道雄の曲を知る	19.8	24.6	4.8
69	国 由来（読みがな）	5.0	9.7	4.7
70	国 ローマ字を読んだり書いたりできる	16.8	21.4	4.6
71	音 音のでる仕組みを考えて、身近な材料を使って楽器を作り演奏できる	29.2	33.6	4.4
72	音 太鼓や笛、木琴の演奏ができる	8.0	11.6	3.6
73	国 創作（書ける）	4.6	7.9	3.3
73	理 夏の大三角形を作る星の名前が言える	12.8	16.1	3.3
75	図 身近な材料を使って、立体や焼き物を作る	7.6	10.8	3.2
76	社 野口英世（知る）	8.4	11.5	3.1
77	図 彫刻刀を使って版画が彫れる	11.6	14.6	3.0
78	国 革（書ける）	6.7	9.6	2.9
78	国 口調（読みがな）	2.5	5.4	2.9
78	家 掃除や洗濯ができる	12.5	9.6	2.9
78	家 簡単なエプロンやカバーを作る	15.8	18.7	2.9
82	体 男の子と女の子の体の違いや思春期の身体の変化を理解する	7.1	9.9	2.8
83	理 日光がよく当たる方がジャガイモがよくできる理由がわかる	7.3	10.0	2.7
83	理 顕微鏡などの実験道具が使える	11.8	14.5	2.7
85	体 チームで協力して試合ができる	2.5	4.9	2.4

順位	学 習 内 容	中学受験希望		AとBの差
		有 (A)	無 (B)	
86	算 線対称な形の残りの半分を書ける A 対称軸 	3.7	6.0	2.3
87	図 生活を楽しむものを作る	10.0	11.8	1.8
88	音 みんなで合奏や合唱ができる	4.1	5.8	1.7
88	国 姿(書ける)	0.8	2.5	1.7
90	算 電卓が使える	3.3	1.7	1.6
90	社 中華人民共和国	27.1	28.7	1.6
92	家 物の選び方や買い方、リサイクルの活用 ができる	13.6	15.1	1.5
93	家 みそ汁や簡単なおかずを作る	10.8	9.4	1.4
94	図 絵の具を使って静物画や風景画が描ける	8.7	10.0	1.3
95	体 鉄棒で逆上がりができる	18.7	17.5	1.2
95	家 加工食品のマークや品質表示を理解する	24.1	25.3	1.2
97	理 夜の星を自分で観察することができる	24.6	25.7	1.1
97	音 「ふるさと」「おぼろ月夜」など古くから 日本に伝わる歌が歌える	12.9	14.0	1.1
97	国 若い(書ける)	0.0	1.1	1.1
100	国 干す(書ける)	0.8	1.7	0.9
101	体 サッカーやバスケットボールのやり方 を考えてゲームができる	5.1	5.9	0.8
101	家 ミシンが使える	18.0	17.2	0.8
103	国 穴(書ける)	0.0	0.7	0.7
103	体 けがや病気の予防について理解する	7.0	6.3	0.7
105	国 机(書ける)	0.8	1.4	0.6
105	国 毛筆で上手に自分の名前が書ける	20.6	21.2	0.6
105	家 ご飯を米と水を計って鍋(釜)で炊ける	13.7	13.1	0.6
105	家 近隣の生活を考え、環境を清潔にしたり、 騒音を防止する必要性を理解する	16.5	15.9	0.6
109	体 跳び箱の六段が跳べる	11.7	12.2	0.5
110	家 ボタンつけやほころびを直す	17.8	17.5	0.3
110	国 入浴(読みがな)	1.2	1.5	0.3
112	家 通信販売やカードの使い方を知る	29.6	29.5	0.1

子どもの成績や親の学歴による難易度)))

次に、子どもの成績との関連をみてみよう。表37は親に子どもの成績をたずねた結果(P.14表4)とクロス集計し、「とても+わりと難しい」数値を示した。

各教科の学習内容で差の顕著な項目をみると、国語の「宮沢賢治などの文学作品が読める」、算数の「算数の問題の解き方をみんなの前で説明できる」「難しい問題でも、最後まであきらめないで解く」「時間と速度・距離の関係」「割合の問題」「小数・分数の混合計算」、社会科の「日本の県名を全て知る」「織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の天下統一の流れが説明できる」「沖縄や広島、長崎の被害と戦争の終結を理解する」「国民権、基本的人権の意味を理解する」「憲法第九条が言える」「内閣、国会、裁判所の役割を知る」「アメリカ合衆国、中華人民共和国、オーストラリアの生活の様子を知る」「国際連合が説明できる」「環境問題について、調べて説明できる」「日本と世界の国のつながりがわかる」「自分たちで調べたことを新聞のようにまとめられる」、理科の「空気中に含まれる気体の中で、ものを燃やすと増える気体ができる」「酸性、アルカリ性、中性など、いろいろな水溶液の性質がわかる」などが30%を超える。

親たちは子どもの成績が悪いと、「ものの考え方や見方」「知識・理解」の学習内容が難しくなると考えている。しかし、「体育」「家庭科」など技能や情緒的内容については成績とは関係ないと思っている。

表38は、教科の必要性である。「国語」から「家庭科」まで8教科全てで成績のよい子どもの親の方が学校で学ぶ必要があると考えている割合が高い。特に、「社会」「理科」の授業の必要性では上位者と下位者の親ではかなり差がみられ、下位の子どもの親は「社会」

76%、「理科」67%が「とても+わりと必要」と答えたにすぎない。

次に、親の学歴との関係をみていこう。表39は親の学歴(P.16表10)とクロス集計し、「とても+わりと難しい」数値を示した。

高校卒業の親と大学卒業の親を比較すると、国語の「文学作品の読解」、算数は「逆数を求める」「時間と速度・距離」「算数の問題の解き方をみんなの前で説明できる」で子どもたちの難易度に10%以上の差がみられる。次いで、社会科では「日本の県名」や「鎌倉幕府の年号」「歴史上の人物」などの記憶、「憲法第九条や国民権・基本的人権、内閣や国会、裁判所の役割」などの憲法や政治に関する知識、しくみ、「アメリカ合衆国や中華人民共和国、オーストラリアの生活の様子」「ユニセフ、オリンピック、国際連合」などの国際理解、「環境問題」などで差が顕著である。理科では「気体の性質」「人体の構造の理解」「電磁石とモーター」「魚の解剖」「堆積岩と火成岩の違い」、図工では「コンピュータグラフィックスで絵が描ける」、音楽の「楽譜の記号を理解して歌が歌える」「自分で簡単な曲が作れる」で差がみられた。

教科の必要性をみると、表40によれば、大学卒業の親は「国語」98%、「算数」95%、難しいと感じている「社会」92%、「理科」87%が、これらの授業が必要であると考えている。さらに「図工」「音楽」も7割を超える親たちが必要だとしている。一方、高校卒業の親たちは「国語」「算数」は9割、「社会」82%、「理科」68%という結果である。そして「図工」55%、「音楽」59%と情緒面を養う教科はあまり必要と考えておらず、学校に期待するのは「道徳」で8割を超える。

表37 学習の難しさ × 子どもの成績

「とても」+「わりと」難しい割合(%)

	上 (A)	中の上	中	中の下・下 (B)	AとBの差
国語					
1. 漢字の書きとり					
1) 厳しい	10.4	19.9	21.0	39.8	29.4
2) 蒸発	10.3	14.8	15.2	34.4	24.1
3) 疑う	4.1	6.3	11.7	22.1	18.0
4) 心臓	8.1	9.9	14.2	22.9	14.8
5) 推せん	2.1	6.0	6.5	14.7	12.6
6) 創作	3.0	6.4	7.9	14.6	11.6
7) 革	4.6	8.8	9.5	14.3	9.7
8) 姿	1.0	1.2	1.6	7.6	6.6
9) 干す	0.5	1.2	1.4	5.1	4.6
10) 机	0.0	1.2	1.0	3.8	3.8
11) 若い	0.0	0.6	0.6	3.2	3.2
12) 穴	0.0	0.6	0.4	2.5	2.5
2. 読みがな					
1) 山路	11.4	13.8	16.7	30.6	19.2
2) 願望	3.1	4.8	8.9	19.1	16.0
3) 由来	5.2	5.4	10.1	17.2	12.0
4) 口調	2.6	3.3	4.6	11.5	8.9
5) 入浴	0.0	1.2	1.4	4.5	4.5
3. 宮沢賢治などの文学作品が読める	12.3	21.7	33.5	49.7	37.4
4. 自分の意見や考えを作文に書ける	13.7	13.3	22.5	37.4	23.7
5. ローマ字を読んだり書いたりできる	14.8	14.7	22.0	35.7	20.9
6. 自分の意見や考えをはっきり話せる	12.8	15.5	26.4	32.4	19.6
7. 国語辞典や漢和辞典を使える	4.1	5.1	9.9	17.1	13.0
8. 毛筆で上手に自分の名前が書ける	18.6	20.5	21.4	26.8	8.2
算数					
1. 式の計算					
1) $0.75 \times \frac{2}{3} + \frac{5}{8} \div 1\frac{1}{2}$	8.6	15.6	32.6	46.2	37.6
2) $1.6 - \frac{1}{6}$	5.1	11.0	21.8	40.4	35.3
3) $1\frac{7}{8} \div \frac{5}{12} \times \frac{3}{4}$	4.1	9.6	17.5	28.1	24.0
4) $24 \times 18 \div 8 \div 9$	2.0	4.2	7.7	17.2	15.2
2. 逆数を求める					
1) 0.9	3.1	11.3	15.2	31.7	28.6
2) $\frac{5}{6}$	2.5	10.3	13.8	29.3	26.8

	上 (A)	中の上	中	中の下・下 (B)	AとBの差
3. 式でxを求める					
1) $0.8 : 5 = x : 25$	5.2	7.9	17.2	33.1	27.9
2) $5 \times x = 25$	3.1	4.5	8.1	21.0	17.9
4. 比の比の値を求める					
1) $\frac{5}{6} : \frac{3}{4}$	3.1	12.8	18.8	32.1	29.0
2) $4 : 6$	1.6	6.4	12.4	24.4	22.8
5. 算数の問題の解き方をみんなの前で説明できる	10.8	27.8	42.9	62.7	51.9
6. 難しい問題でも、最後まであきらめないで解く	13.8	21.4	35.8	52.5	38.7
7. 時速60kmの列車が1時間10分では、何km走るかわかる	3.1	8.7	20.3	40.3	37.2
8. 1500円で仕入れたシャツに、仕入れ値の3割のもうけを見込んで定価をつけたシャツの定価がわかる	4.1	12.1	21.4	40.1	36.0
9. 比例や反比例などに伴って変わる2つの数量の関係がわかる	4.1	14.1	24.2	38.5	34.4
10. 資料を整理し、円グラフや帯グラフに表せる	3.1	9.1	15.2	31.7	28.6
11. 円の面積を求める公式や、円周率を知る	1.5	7.3	13.3	28.5	27.0
12. 線対称な形の残りの半分を書ける	2.6	2.4	6.3	13.9	11.3
A 対称軸					
B					
13. 電卓が使える	1.5	0.6	2.4	4.5	3.0
社会					
1. 日本の県名を全て知る	9.7	26.1	32.4	44.3	34.6
2. 地図の見方がわかる	3.6	7.3	16.1	29.8	26.2
3. 歴史上の人物を知る					
1) 紫式部	1.0	10.3	17.2	29.3	28.3
2) 東郷平八郎	18.0	33.1	35.5	46.2	28.2
3) ベリー	2.0	8.1	17.5	28.1	26.1
4) 野口英世	2.0	6.9	13.5	22.3	20.3
5) 聖徳太子	1.5	5.1	12.9	21.6	20.1
6) 徳川家康	0.5	5.4	13.6	19.1	18.6

	上 (A)	中の上	中	中の下・下 (B)	AとBの差
4. 織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の天下統一の流れが説明できる	17.1	39.8	48.5	61.6	44.5
5. 沖縄や広島、長崎の被害と戦争の終結を理解する	16.9	33.8	37.9	49.0	32.1
6. 源頼朝が鎌倉幕府を開いた年が言える	12.8	23.6	33.9	42.6	29.8
7. 奈良の大仏は、何のために造られたのか理解する	8.8	20.7	27.4	34.8	26.0
8. 縄文時代や弥生時代の人々の生活ぶりがわかる	2.6	7.3	15.4	25.0	22.4
9. 憲法について					
1) 国民主権、基本的人権の意味を理解する	31.5	58.0	62.1	75.8	44.3
2) 第九条が言える	35.0	60.8	65.9	76.3	41.3
10. 内閣、国会、裁判所の役割を知る	28.0	43.7	52.2	68.9	40.9
11. 国々の生活の様子					
1) アメリカ合衆国	13.6	20.8	36.5	49.7	36.1
2) 中華人民共和国	21.4	29.5	41.5	56.8	35.4
3) オーストラリア	21.7	29.2	39.8	55.6	33.9
12. 説明できる					
1) 国際連合	28.1	41.8	50.5	58.3	30.2
2) ユニセフ	26.3	37.3	42.6	52.9	26.6
3) オリンピック	9.9	12.9	21.6	28.1	18.2
13. 環境問題について、調べて説明できる	12.5	30.5	39.7	55.5	43.0
14. 日本と世界の国のつながりがわかる	22.7	35.8	45.1	62.7	40.0
15. 自分たちで調べたことを新聞のようにまとめられる	9.9	18.1	31.8	47.4	37.5
理科					
1. 空気中に含まれる気体の中で、ものを燃やすと増える気体ができる	5.7	13.3	20.3	37.4	31.7
2. ものを燃やすときに必要な気体ができる	4.1	8.5	17.3	29.7	25.6
3. 夏の大三角形を作る星の名前が言える	6.9	11.9	16.7	30.8	23.9
4. 夜の星を自分で観察することができる	18.6	24.4	26.5	36.6	18.0
5. 酸性、アルカリ性、中性など、いろいろな水溶液の性質がわかる	10.2	21.9	28.9	40.4	30.2
6. 電流の流れや電磁石についてわかる	13.2	24.2	30.2	38.8	25.6
7. 電磁石を使って、モーターなどが作れる	19.3	27.7	36.6	44.6	25.3
8. 消化、吸収、排泄、循環、呼吸などの人体の構造がわかる	13.7	22.8	32.9	38.7	25.0

	上 (A)	中の上	中	中の下・下 (B)	AとBの差
9. 魚を解剖して、動物の体の仕組みを観察できる	18.6	30.7	35.9	42.6	24.0
10. 日光がよく当たる方がジャガイモがよくできる理由がわかる	5.2	6.7	10.2	19.9	14.7
11. 自分で植物を育てられる	8.4	8.5	13.2	18.5	10.1
12. 堆積岩と火成岩の違いが見分けられる	25.8	34.9	43.0	52.3	26.5
13. 地層や岩石などを観察し、土地の働き方を調べられる	16.6	23.8	29.3	39.4	22.8
14. 顕微鏡などの実験道具が使える	6.8	10.5	14.8	27.1	20.3
図工					
1. コンピュータグラフィックスで絵が描ける	22.2	20.2	34.1	45.1	22.9
2. 電動ノコギリでうまく切れる	18.0	23.2	26.4	32.0	14.0
3. 身近な材料を使って、立体や焼き物を作る	6.1	8.4	12.1	13.3	7.2
4. 生活を楽しくするものを作る	8.1	10.6	12.5	15.3	7.2
5. 彫刻刀を使って版画が彫れる	8.1	11.2	17.7	15.2	7.1
6. 絵の具を使って静物画や風景画が描ける	7.6	7.9	11.3	12.6	5.0
音楽					
1. 自分で簡単な曲が作れる	33.9	48.5	54.8	60.3	26.4
2. <i>f</i> 、 <i>p</i> 、 \textcircled{f} など、楽譜の記号を理解して歌が歌える	16.8	22.2	31.1	43.1	26.3
3. 音のでる仕組みを考えて、身近な材料を使って楽器を作り演奏できる	20.8	31.6	34.9	46.2	25.4
4. グリーグやカバレフスキー、ビゼーなどの曲を鑑賞する	16.6	23.1	29.9	40.4	23.8
5. 山田耕筰や宮城道雄の曲を知る	17.3	20.0	26.0	35.7	18.4
6. みんなで合奏や合唱ができる	2.5	3.6	5.5	13.3	10.8
7. 「ふるさと」「おぼろ月夜」など古くから日本に伝わる歌が歌える	13.2	9.1	15.4	22.8	9.6
8. 太鼓や笛、木琴の演奏ができる	8.1	6.7	13.1	17.1	9.0
体育					
1. 跳び箱の六段が跳べる	9.2	10.9	1.8	20.9	11.7
2. 水泳で25メートル泳げる	5.7	6.7	8.7	17.1	11.4
3. サッカーやバスケットボールのやり方を考えてゲームができる	6.6	3.9	5.3	14.7	8.1

	上 (A)	中の上	中	中の下・下 (B)	AとBの差
4. 鉄棒で逆上がりができる	17.9	14.7	18.4	24.1	6.2
5. チームで協力して試合ができる	3.0	4.5	3.6	8.9	5.9
6. 男の子と女の子の体の違いや思春期の身体の変化を理解する	6.1	6.3	11.9	14.6	8.5
7. けがや病気の予防について理解する	3.1	5.7	6.9	11.4	8.3
家庭科					
1. ボタンつけやほころびを直す	12.3	16.0	17.8	27.9	15.6
2. 加工食品のマークや品質表示を理解する	17.7	22.6	27.7	33.1	15.4
3. 簡単なエプロンやカバーを作る	13.9	16.0	18.3	27.9	14.0
4. 近隣の生活を考え、環境を清潔にしたり、騒音を防止する必要性を理解する	13.1	12.7	17.1	25.0	11.9
5. ミシンが使える	13.4	15.6	18.1	24.1	10.7
6. 通信販売やカードの使い方を知る	28.4	21.7	33.3	37.3	8.9
7. 掃除や洗濯ができる	9.2	8.4	7.7	17.1	7.9
8. 物の選び方や買い方、リサイクルの活用ができる	12.1	12.7	16.9	18.0	5.9
9. ご飯を米と水を計って鍋（釜）で炊ける	14.3	12.7	11.4	19.4	5.1
10. みそ汁や簡単なおかずを作る	10.3	8.7	8.5	15.2	4.9

表38 教科の必要性 × 子どもの成績

(%)

	全 体	上	中の上	中	中の下・下
1. 国語	97.2	99.5 ←	98.5	96.6	93.7
2. 算数	92.1	96.9 ←	95.2	90.8	83.4
3. 社会	86.1	92.4 ←	91.2	83.5	75.9
4. 理科	76.8	86.2 ←	81.0	73.1	66.8
5. 図工	64.5	71.9 ←	64.9	62.2	60.8
6. 音楽	67.0	74.5	70.2	62.4	63.3
7. 体育	81.7	87.1	87.1	77.6	77.9
8. 家庭科	76.1	79.4	79.2	74.7	69.9
9. 道徳	80.6	77.0	85.0	79.4	78.8
10. 特別活動	77.3	80.2	79.5	76.3	71.8

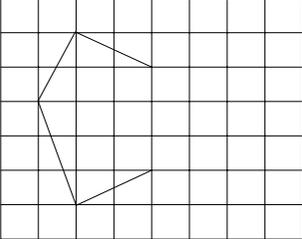
「とても」+「わりと」必要の割合

○ は最大値

表39 学習の難しさ × 親の学歴

「とても」+「わりと」難しい割合 ○○○○○は最大値、最小値が10%以上差のある項目(%)

	高校まで	短大・専門・ 専修学校	4年制大学・ それ以上
国語			
1. 漢字の書きとり			
1) 厳しい	21.2	21.8	21.4
2) 蒸発	17.7	15.3	17.5
3) 心臓	14.6	13.7	11.1
4) 疑う	11.1	12.3	7.5
5) 革	8.4	9.5	9.6
6) 創作	8.1	7.9	6.3
7) 推せん	7.2	7.2	5.1
8) 姿	2.1	2.5	2.8
9) 机	1.6	1.0	0.6
10) 干す	1.7	0.9	1.2
11) 若い	0.8	0.8	0.6
12) 穴	0.6	0.8	0.3
2. 漢字の読みがな			
1) 山路	18.6	16.0	14.8
2) 願望	10.0	8.2	5.1
3) 由来	8.9	9.9	7.8
4) 口調	4.5	6.0	3.9
5) 入浴	1.2	2.2	0.9
3. 毛筆で上手に自分の名前が書ける			
4. ローマ字を読んだり書いたりできる	24.8	16.9	17.9
5. 宮沢賢治などの文学作品が読める	36.2	23.7	23.1
6. 国語辞典や漢和辞典を使える	10.2	7.8	7.2
7. 自分の意見や考えを作文に書ける	24.5	22.3	17.9
8. 自分の意見や考えをはっきり話せる	27.0	23.1	18.3
算数			
1. 式の計算			
1) $0.75 \times \frac{2}{3} + \frac{5}{8} \div 1\frac{1}{2}$	29.9	24.1	20.5
2) $1.6 - \frac{1}{6}$	21.9	16.3	15.3
3) $1\frac{7}{8} \div \frac{5}{12} \times \frac{3}{4}$	18.2	13.0	10.5
4) $24 \times 18 \div 8 \div 9$	9.9	5.4	4.8
2. 逆数を求める			
1) 0.9	18.6	13.6	8.1
2) $\frac{5}{6}$	17.1	13.8	5.9

	高校まで	短大・専門・ 専修学校	4年制大学・ それ以上
3. 式でxを求める 1) $0.8 : 5 = x : 25$ 2) $5 \times x = 25$ 4. 比の比の値を求める 1) $\frac{5}{6} : \frac{3}{4}$ 2) $4 : 6$ 5. 1500円で仕入れたシャツに、仕入れ値の3割 のもうけを見込んで定価をつけたシャツの 定価がわかる 6. 時速60kmの列車が1時間10分では、何km 走るかわかる 7. 円の面積を求める公式や、円周率を知る 8. 線対称な形の残りの半分を書ける A 対称軸  B 9. 資料を整理し、円グラフや帯グラフに表 せる 10. 比例や反比例などに伴って変わる2つの数 量の関係がわかる 11. 難しい問題でも、最後まであきらめないで 解く 12. 算数の問題の解き方をみんなの前で説明 できる 13. 電卓が使える	19.0 10.8 20.5 14.8 22.9 (21.1) 14.6 7.5 15.3 24.5 32.9 (41.6) 2.1	14.8 7.7 13.6 9.1 16.7 16.7 12.4 5.0 12.9 16.9 30.8 35.4 2.0	10.0 4.2 13.0 6.1 13.8 10.8 6.6 3.0 11.7 16.7 25.5 28.5 2.1
社会			
1. 日本の県名を全て知る 2. 縄文時代や弥生時代の人々の生活ぶりが わかる 3. 歴史上の人物を知る 1) 東郷平八郎 2) 紫式部 3) ベリー 4) 野口英世 5) 徳川家康 6) 聖徳太子	(34.7) (18.1) 26.9 (20.2) (17.3) 15.0 (14.9) 14.8	27.1 10.2 33.3 12.7 14.0 9.9 7.7 8.8	20.5 6.0 27.9 6.9 7.2 6.0 4.5 6.9

	高校まで	短大・専門・ 専修学校	4年制大学・ それ以上
4. 奈良の大仏は、何のために造られたのか理解する	30.0	20.8	16.0
5. 源頼朝が鎌倉幕府を開いた年が言える	35.4	27.2	18.8
6. 織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の天下統一の流れが説明できる	40.6	42.1	40.7
7. 沖縄や広島、長崎の被害と戦争の終結を理解する	41.6	21.8	28.2
8. 憲法について			
1) 第九条が言える	70.1	59.4	47.9
2) 国民主権、基本的人権の意味を理解する	66.2	56.9	45.9
9. 内閣、国会、裁判所の役割を知る	57.3	47.8	34.4
10. 国々の生活の様子を知る			
1) 中華人民共和国	44.1	33.8	29.2
2) オーストラリア	43.4	32.6	27.8
3) アメリカ合衆国	37.6	27.5	21.2
11. 説明できる			
1) 国際連合	51.8	45.3	35.8
2) ユニセフ	43.0	41.4	33.0
3) オリンピック	23.3	16.3	12.6
12. 地図の見方がわかる	16.5	12.6	9.3
13. 環境問題について、調べて説明できる	38.1	37.8	23.8
14. 日本と世界の国のつながりがわかる	44.9	41.4	36.4
15. 自分たちで調べたことを新聞のようにまとめられる	29.4	26.3	22.5
理科			
1. ものを燃やすときに必要な気体がわかる	18.4	12.7	9.7
2. 空気中に含まれる気体の中で、ものを燃やすと増える気体がわかる	22.9	17.8	11.4
3. 日光がよく当たる方がジャガイモがよくできる理由がわかる	12.3	8.4	6.7
4. 夏の大三角形を作る星の名前が言える	18.7	14.0	12.5
5. 夜の星を自分で観察することができる	27.4	24.7	25.0
6. 酸性、アルカリ性、中性など、いろいろな水溶液の性質がわかる	27.9	27.6	19.1
7. 消化、吸収、排泄、循環、呼吸などの人体の構造がわかる	33.1	26.8	20.8
8. 電流の流れや電磁石についてわかる	21.2	27.0	20.1

	高校まで	短大・専門・ 専修学校	4年制大学・ それ以上
9. 電磁石を使って、モーターなどが作れる	37.0	33.7	24.1
10. 魚を解剖して、動物の体の仕組みを観察できる	36.1	34.5	25.2
11. 顕微鏡などの実験道具が使える	16.4	14.6	9.8
12. 地層や岩石などを観察し、土地のでき方を調べられる	32.0	25.3	22.3
13. 堆積岩と火成岩の違いが見分けられる	45.5	37.7	31.6
14. 自分で植物を育てられる	13.3	11.7	8.9
図工			
1. 絵の具を使って静物画や風景画が描ける	11.0	10.0	8.1
2. 身近な材料を使って、立体や焼き物を作る	12.1	9.6	8.4
3. 生活を楽しくするものを作る	12.7	11.2	10.6
4. 電動ノコギリでうまく切れる	24.7	29.0	20.7
5. 彫刻刀を使って版画が彫れる	15.0	15.8	10.5
6. コンピュータグラフィックスで絵が描ける	38.4	30.7	26.3
音楽			
1. 太鼓や笛、木琴の演奏ができる	15.7	7.9	8.1
2. <i>f</i> 、 <i>p</i> 、 <i>♪</i> など、楽譜の記号を理解して歌が歌える	36.4	23.0	20.4
3. 「ふるさと」「おぼろ月夜」など古くから日本に伝わる歌が歌える	15.3	12.6	11.2
4. 山田耕筰や宮城道雄の曲を知る	28.1	20.8	21.4
5. グリークやカバレフスキー、ピゼーなどの曲を鑑賞する	32.1	22.5	25.3
6. 自分で簡単な曲が作れる	56.4	48.3	42.3
7. 音のでる仕組みを考えて、身近な材料を使って楽器を作り演奏できる	38.2	30.1	29.0
8. みんなで合奏や合唱ができる	8.3	3.5	3.9
体育			
1. 鉄棒で逆上がりができる	18.5	17.8	17.4
2. 跳び箱の六段が跳べる	13.4	12.1	11.1
3. 水泳で25メートル泳げる	10.0	7.9	6.6
4. サッカーやバスケットボールのやり方を考えてゲームができる	7.9	6.0	3.9
5. チームで協力して試合ができる	5.3	4.3	3.6

	高校まで	短大・専門・ 専修学校	4年制大学・ それ以上
6. けがや病気の予防について理解する	6.8	5.5	6.9
7. 男の子と女の子の体の違いや思春期の身体の変化を理解する	10.0	8.9	9.9
家庭科			
1. ご飯を米と水を計って鍋（釜）で炊ける	14.7	12.3	12.6
2. みそ汁や簡単なおかずを作る	10.0	8.2	10.8
3. ボタンつけやほころびを直す	17.4	15.2	20.4
4. ミシンが使える	18.2	14.2	19.6
5. 掃除や洗濯ができる	9.8	9.0	12.3
6. 簡単なエプロンやカバーを作る	19.1	15.0	19.3
7. 通信販売やカードの使い方を知る	23.2	26.4	27.9
8. 加工食品のマークや品質表示を理解する	26.8	23.0	24.5
9. 近隣の生活を考え、環境を清潔にしたり、騒音を防止する必要性を理解する	18.7	16.1	12.6
10. 物の選び方や買い方、リサイクルの活用ができる	15.8	14.0	14.5

表40 教科の必要性 × 親の学歴

(%)

	全 体	高校まで	短大・専門・ 専修学校	4年制大学・ それ以上
1. 国語	97.2	96.8	96.7	98.2
2. 算数	92.1	89.1	92.9	95.2
3. 社会	86.1	82.3	86.1	91.6
4. 理科	76.8	67.7	78.4	87.1
5. 図工	64.5	54.8	68.2	73.7
6. 音楽	67.0	59.1	68.8	74.7
7. 体育	81.7	77.8	73.3	85.0
8. 家庭科	76.1	73.1	78.3	77.9
9. 道徳	80.6	81.3	84.4	74.9
10. 特別活動	77.3	73.1	78.8	80.3

「とても」+「わりと」必要の割合

○ は最大値

○ ~~~~~ は最大値、最小値が10%以上差のある項目

子どもたちの学力を支える背景)))

親たちが感じる子どもの学習の難易度は、子どもの進路や成績、親の学歴など様々な要因が影響し、そしてその難易度が学校での教科の必要性に大きく関係してくる。

ここでは親たちが学力以外で学校に期待していること、親自身がしつけていること、子どもの成長発達の様子と子どもの進路や成績、親の学歴との関係をみてみよう。

図7 学校で教えてほしいこと

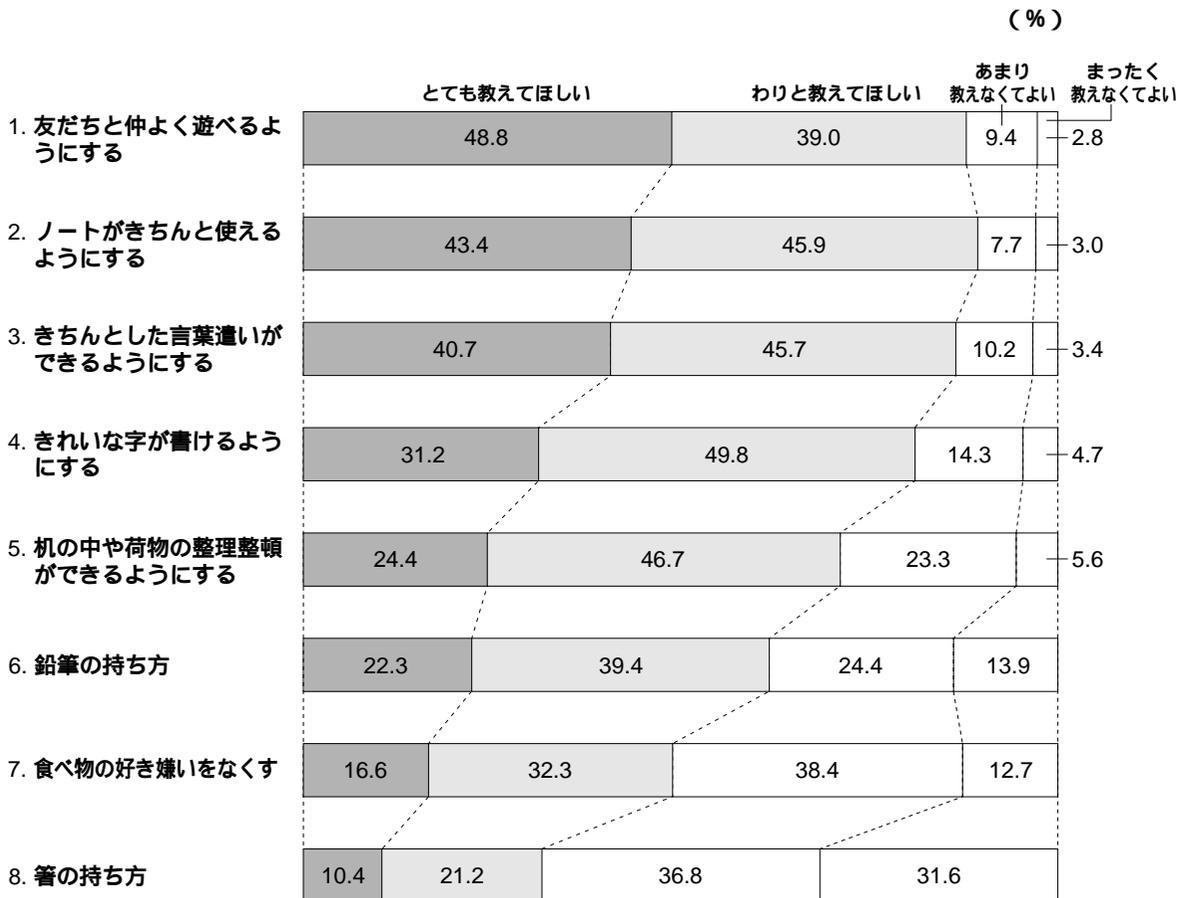
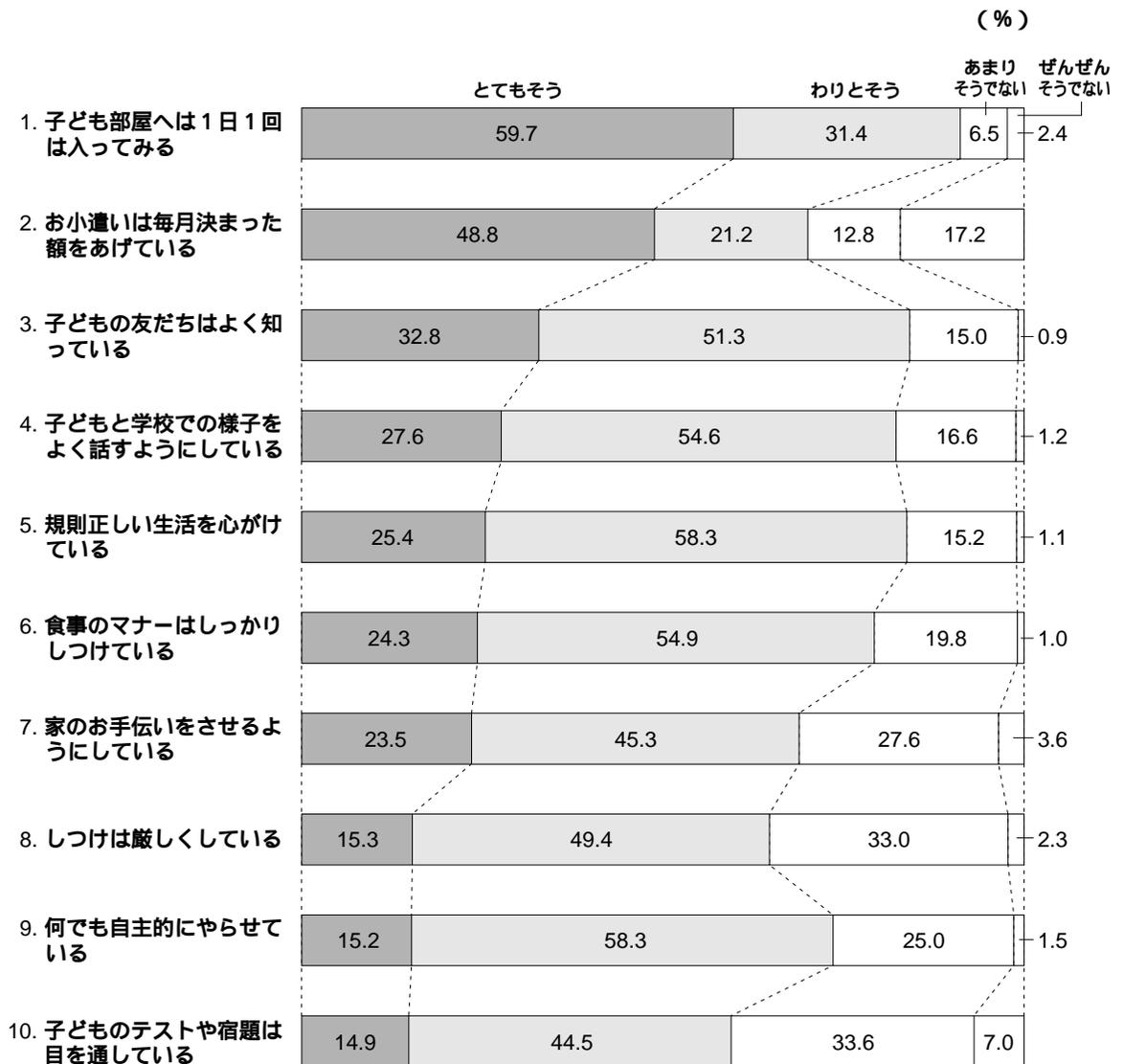


図7は親が学校で教えてほしいこと、図8は親が心がけていること、図9は子どもの成長発達、図10は子どもたちの生活の様子を示した。親が学力以外で学校に期待することは「友だちと仲よく遊べるようにする」「ノートがきちんと使えるようにする」「きちんとした言葉遣いができるようにする」ことが「とても」と「わりと」を合わせ約9割、逆に、「箸の持ち方」「食べ物の好き嫌いをなくす」

ことはあまり学校に期待していない(図7)。親が心がけていることをみると、「子ども部屋へは1日1回は入ってみる」が「とてもそう」60%、「わりと」を合わせると9割、次いで「お小遣いは毎月決まった額をあげている」が「とてもそう」49%で、子どもの生活面での心配りをしているが、「子どものテストや宿題は目を通してはいる」は15%にすぎない(図8)。

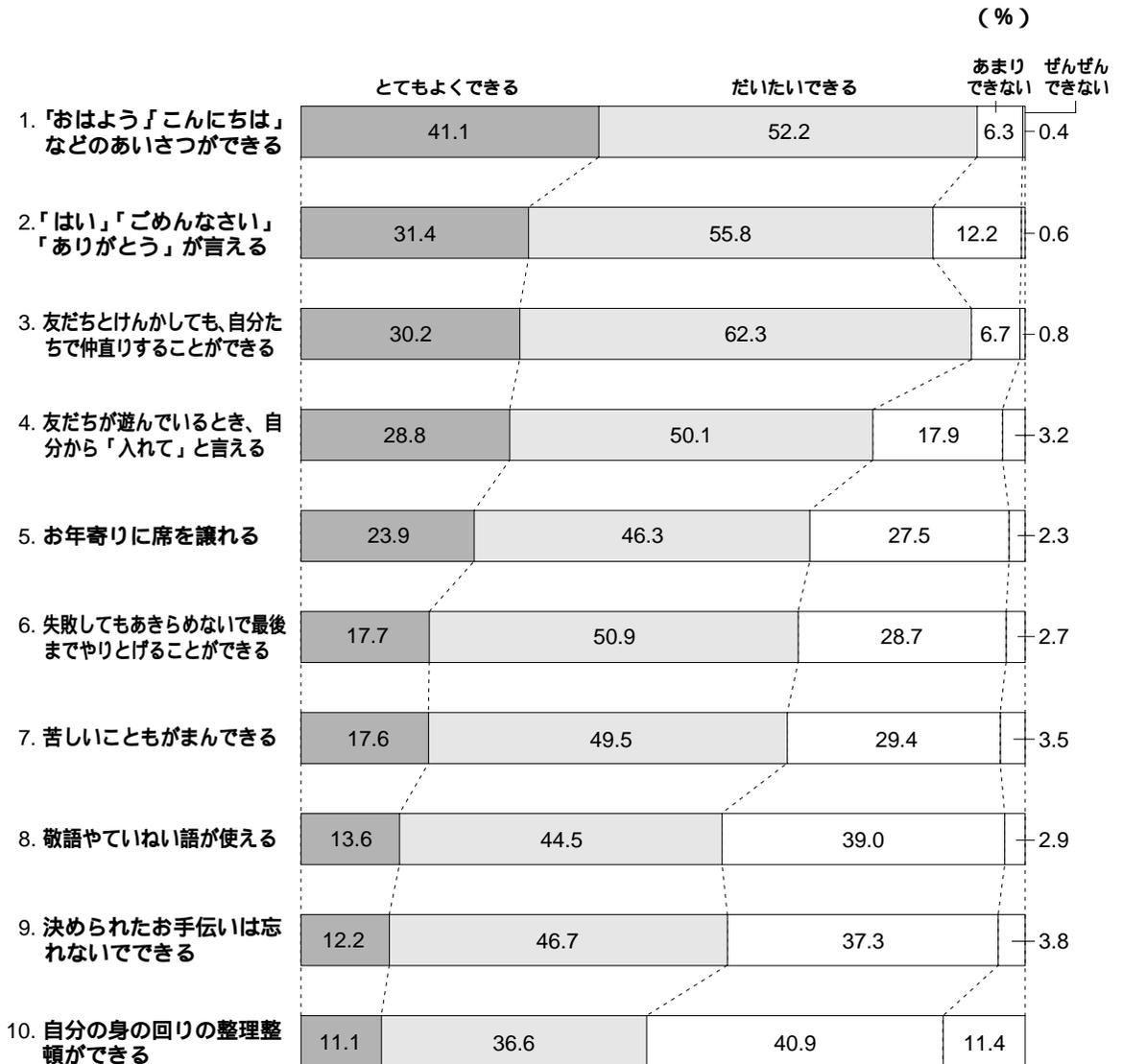
図8 親が心がけていること



子どもの成長発達では、「『おはよう』『こんにちは』などのあいさつができる」が「とてもよくできる」41%、「だいたい」を合わせ9割、「『はい』『ごめんなさい』『ありがとう』が言える」「友だちとけんかしても、自

分たちで仲直りすることができる」「友だちが遊んでいるとき、自分から『入れて』と言える」が「とてもよくできる」は3割、「だいたい」を合わせると8～9割。しかし、「敬語やていねい語が使える」「決められたお

図9 子どもの成長発達

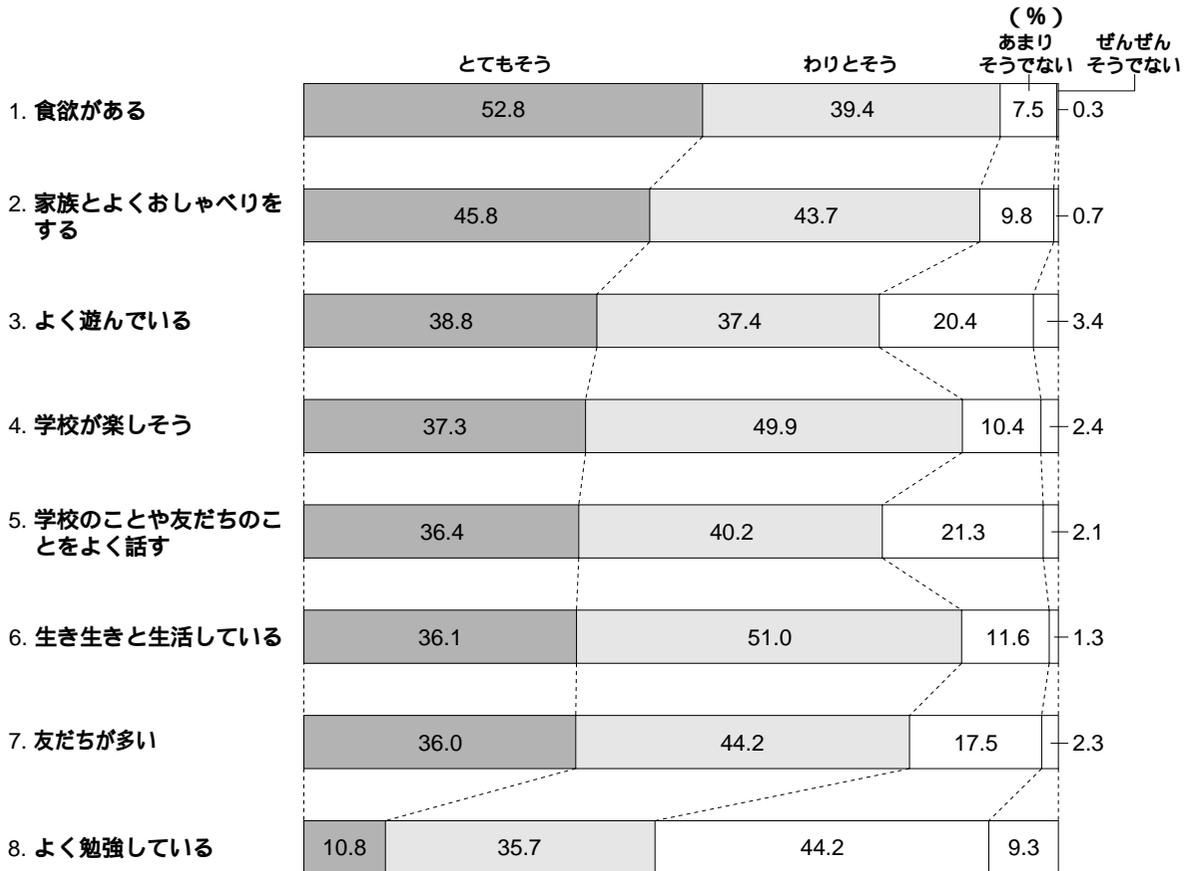


手伝いは忘れないでできる」「自分の身の回りの整理整頓ができる」が「とてもよくできる」と答えた割合は、1割程度である(図9)。

親からみた子どもの生活の様子は、図10によれば、「食欲がある」が「とてもそう」

53%、「家族とよくおしゃべりする」46%、「よく遊んでいる」「学校が楽しそう」「学校のことや友だちのことをよく話す」「生き生きと生活している」「友だちが多い」がほぼ4割、「わりとそう」を合わせると8割。「よ

図10 子どもの生活の様子



く勉強している」は「とてもそう」が11%、「わりとそう」を合わせても5割に達しない。

こうした日常生活の様子を中学受験希望の有無でみたのが表41～44である。受験群と非受験群で比較すると、「友だちと仲よく遊べるようにする」以外は、学校で教えてほしいことに差がほとんどみられない。しかし、親が心がけていることでは、「子ども部屋へは1日1回は入ってみる」「子どもと学校での様子をよく話すようにしている」「規則正しい生活を心がけている」「食事のマナーはしっかりしつけている」「子どものテストや宿題は目を通している」など、受験群に若干

数値が高く、受験群の親の子どもへの関心の高さがうかがえる。

さらに、子どもの成長発達では、受験群で「お年寄りに席を譲れる」「敬語やていねい語が使える」で差が開いている。そして、子どもの生活の様子をみると、受験群に「よく勉強している」、非受験群に「よく遊んでいる」割合が高く、受験群の親は子どもの生活面に気を配り、勉強にも高い関心を示している。

次に子どもの成績との関連をみたのが、表45～48である。成績の上位者の親は、子どもと学校での様子を話したり、規則正しい生活を心がけ、テストや宿題に目を通すなど子

表41 学校で教えてほしいこと × 子どもの中学受験

(%)

	全 体	中学受験希望	
		有	無
1. 友だちと仲よく遊べるようにする	48.8	55.0	47.2
2. ノートがきちんと使えるようにする	43.4	44.5	43.3
3. きちんとした言葉遣いができるようにする	40.7	39.9	41.0
4. きれいな字が書けるようにする	31.2	29.4	31.7
5. 机の中や荷物の整理整頓ができるようにする	24.4	22.3	24.8
6. 鉛筆の持ち方	22.3	26.1	21.3
7. 食べ物の好き嫌いをなくす	16.6	16.0	16.9
8. 箸の持ち方	10.4	13.0	9.6

「とても教えてほしい」割合

どもとの関係を大切にし、子どもも『おはよう』や『こんにちば』のあいさつができる」「友だちと遊んでいるとき、自分から『入れて』と言える」「友だちとけんかしても、自分たちだけで仲直りすることができる」「失敗してもあきらめないで最後までやりとげることができる」ように成長していると考えている。子どもの生活の様子では、家族とおしゃべりしたり、学校のことや友だちのことをよく話し、生き生きと生活していると感じている。

次に、親の学歴との関係をみてみよう。表49～52によれば、親が学校で教えてほしい

ことや親が心がけていることでは、ほとんど差がみられない。あえて差を見いだすと、子どもの成長発達で「敬語やていねい語が使える」、子どもの生活の様子では「よく勉強している」「よく遊んでいる」で高校卒業の親と大学卒業の親との差がみられる。

子どもの中学受験希望、成績、親の学歴によって、親たちが子どもの学習内容に感じる「難しさ」には差が顕著にみられた。しかし、親たちの学校への期待や親の心がけている子どもへの配慮、子どもの成長発達や子どもの生活の様子には、学習内容の難しさや教科の必要性ほど差がみられない。

表42 親が心がけていること × 子どもの中学受験

(%)

	全 体	中学受験希望	
		有	無
1. 子ども部屋へは1日1回は入ってみる	59.7	66.2	58.4
2. お小遣いは毎月決まった額をあげている	48.8	51.0	48.6
3. 子どもの友だちはよく知っている	32.8	35.1	32.3
4. 子どもと学校での様子をよく話すようにしている	27.6	33.5	26.2
5. 規則正しい生活を心がけている	25.4	31.0	24.2
6. 食事のマナーはしっかりしつけている	24.3	30.1	22.7
7. 家のお手伝いをさせるようにしている	23.5	14.6	< 26.4
8. しつけは厳しくしている	15.3	19.7	14.6
9. 何でも自主的にやらせている	15.2	15.5	15.5
10. 子どものテストや宿題は目を通して	14.9	21.3	13.5

「とてもそう」の割合
< > は10%以上差のある項目

表43 子どもの成長発達 × 子どもの中学受験

(%)

	全 体	中学受験希望	
		有	無
1.「おはよう」「こんにちは」などのあいさつができる	93.3	93.8	93.0
2.友だちとけんかしても、自分たちで仲直りすることができる	92.5	93.7	89.2
3.「はい」「ごめんなさい」「ありがとう」が言える	87.2	89.2	86.5
4.友だちが遊んでいるとき、自分から「入れて」と言える	78.9	82.5	77.8
5.お年寄りに席を譲れる	70.2	78.5	> 68.5
6.失敗してもあきらめないで最後までやりとげることができる	68.6	72.8	67.3
7.苦しいこともがまんできる	67.1	70.8	66.0
8.決められたお手伝いは忘れないでできる	58.9	57.7	59.2
9.敬語やていねい語が使える	58.1	70.0	> 55.0
10.自分の身の回りの整理整頓ができる	47.7	45.9	47.9

「とてもよく」+「だいたい」できる割合
<>は10%以上差のある項目

表44 子どもの生活の様子 × 子どもの中学受験

(%)

	全 体	中学受験希望	
		有	無
1.食欲がある	52.8	55.4	52.2
2.家族とよくおしゃべりをする	45.8	49.2	44.9
3.よく遊んでいる	38.8	17.1	< 44.5
4.学校が楽しそう	37.3	39.6	39.7
5.学校のことや友だちのことをよく話す	36.4	40.3	35.3
6.生き生きと生活している	36.1	31.0	37.4
7.友だちが多い	36.0	42.9	34.1
8.よく勉強している	10.8	29.6	> 5.9

「とてもそう」の割合
<>は10%以上差のある項目

表45 学校で教えてほしいこと × 子どもの成績

(%)

	上	中の上	中	中の下 下
1. 友だちと仲よく遊べるようにする	47.4	45.6	50.9	49.7
2. ノートがきちんと使えるようにする	44.6	<u>38.6</u>	44.0	51.3
3. きちんとした言葉遣いができるようにする	35.4	38.1	44.3	42.0
4. きれいな字が書けるようにする	32.8	<u>26.8</u>	31.4	38.0
5. 鉛筆の持ち方	24.6	24.1	19.3	25.3
6. 机の中や荷物の整理整頓ができるようにする	22.6	21.5	27.2	24.2
7. 食べ物の好き嫌いをなくす	14.4	13.3	19.2	17.8
8. 箸の持ち方	9.7	10.8	10.1	11.4

「とても教えてほしい」割合

○ ～ は最大値、最小値が10%以上差のある項目

表46 親が心がけていること × 子どもの成績

(%)

	上	中の上	中	中の下 下
1. 子ども部屋へは1日1回は入ってみる	62.2	62.3	55.6	64.6
2. お小遣いは毎月決まった額をあげている	50.5	51.1	47.7	45.3
3. 子どもの友だちはよく知っている	38.5	31.8	31.6	31.4
4. 子どもと学校での様子をよく話すようにしている	38.1	28.4	23.8	<u>21.5</u>
5. 規則正しい生活を心がけている	31.3	29.9	21.2	<u>19.5</u>
6. 食事のマナーはしっかりしつけている	27.7	25.4	22.3	22.6
7. 子どものテストや宿題は目を通して	23.6	15.6	12.2	<u>10.7</u>
8. 何でも自主的にやらせている	20.0	15.9	13.8	10.7
9. しつけは厳しくしている	17.9	15.9	13.0	17.1
10. 家のお手伝いをさせるようにしている	<u>15.9</u>	24.0	24.0	29.6

「とてもそう」の割合

○ ～ は最大値、最小値が10%以上差のある項目

表47 子どもの成長発達 × 子どもの成績

(%)

	上	中の上	中	中の下 下
1.「おはよう」「こんにちは」などのあいさつができる	54.5	46.4	34.9	30.5
2.「はい」「ごめんなさい」「ありがとう」が言える	47.1	32.7	26.3	24.0
3.友だちが遊んでいるとき、自分から「入れて」と言える	42.6	29.4	24.8	24.0
4.友だちとけんかしても、自分たちで仲直りすることができる	40.5	31.6	26.8	25.5
5.お年寄りに席を譲れる	33.3	21.6	21.8	23.0
6.失敗してもあきらめないで最後までやりとげることができる	37.8	19.8	11.5	8.5
7.敬語やていねい語が使える	26.7	12.2	11.1	6.5
8.自分の身の回りの整理整頓ができる	19.5	10.4	10.0	6.5
9.苦しいこともがまんできる	19.5	10.4	10.0	6.5
10.決められたお手伝いは忘れないでできる	17.9	9.1	11.7	13.0

「とてもよくできる」割合

○ ～ ～ は最大値、最小値が10%以上差のある項目

表48 子どもの生活の様子 × 子どもの成績

(%)

	上	中の上	中	中の下 下
1.食欲がある	59.7	54.4	50.0	50.3
2.家族とよくおしゃべりをする	53.4	47.7	41.8	43.8
3.学校のことや友だちのことをよく話す	47.1	36.7	32.3	34.6
4.生き生きと生活している	44.7	37.8	33.0	31.4
5.友だちが多い	44.5	39.8	33.2	28.3
6.学校が楽しそう	43.5	40.7	35.5	29.4
7.よく勉強している	31.4	11.6	5.3	0.7
8.よく遊んでいる	27.2	33.9	42.6	51.0

「とてもそう」の割合

○ ～ ～ は最大値、最小値が10%以上差のある項目

表49 学校で教えてほしいこと × 親の学歴

(%)

	高校まで	短大・専門・専修学校	4年制大学・それ以上
1. 友だちと仲よく遊べるようにする	48.2	49.9	48.5
2. ノートがきちんと使えるようにする	44.0	42.7	42.5
3. きちんとした言葉遣いができるようにする	42.5	39.3	39.2
4. きれいな字が書けるようにする	33.8	29.9	27.8
5. 机の中や荷物の整理整頓ができるようにする	25.7	23.0	23.4
6. 鉛筆の持ち方	22.4	21.6	22.8
7. 食べ物の好き嫌いをなくす	20.1	14.8	13.5
8. 箸の持ち方	12.1	10.4	7.5

「とても教えてほしい」割合

表50 親が心がけていること × 親の学歴

(%)

	高校まで	短大・専門・専修学校	4年制大学・それ以上
1. 子ども部屋へは1日1回は入ってみる	59.0	60.3	60.0
2. お小遣いは毎月決まった額をあげている	47.3	48.4	50.0
3. 子どもの友だちはよく知っている	32.6	35.3	30.4
4. 子どもと学校での様子をよく話すようにしている	24.7	29.4	28.1
5. 家のお手伝いをさせるようにしている	24.4	23.0	22.0
6. 規則正しい生活を心がけている	22.0	27.3	27.1
7. 食事のマナーはしっかりしつけている	21.7	26.6	24.4
8. しつけは厳しくしている	16.4	15.9	12.5
9. 子どものテストや宿題は目を通して	14.1	13.7	15.5
10. 何でも自主的にやらせている	13.9	14.6	16.7

「とてもそう」の割合

表51 子どもの成長発達 × 親の学歴

(%)

	高校まで	短大・専門・専修学校	4年制大学・それ以上
1. 友だちとけんかしても、自分たちで仲直りすることができる	91.5	92.5	93.9
2. 「おはよう」「こんにちは」などのあいさつができる	91.4	95.0	94.6
3. 「はい」「ごめんなさい」「ありがとう」が言える	85.6	87.5	89.2
4. 友だちが遊んでいるとき、自分から「入れて」と言える	76.8	79.3	82.3
5. お年寄りに席を譲れる	68.1	70.6	72.6
6. 失敗してもあきらめないで最後までやりとげることができる	66.6	69.7	70.3
7. 苦しいこともがまんできる	65.0	66.4	69.9
8. 決められたお手伝いは忘れないでできる	54.9	63.5	60.1
9. 敬語やていねい語が使える	52.9	56.4	66.4
10. 自分の身の回りの整理整頓ができる	46.2	47.3	50.2

「とてもよく」+「だいたい」できる割合

○ ～ ～ ～ は最大値、最小値が10%以上差のある項目

表52 子どもの生活の様子 × 親の学歴

(%)

	高校まで	短大・専門・専修学校	4年制大学・それ以上
1. 食欲がある	50.2	51.7	58.6
2. 家族とよくおしゃべりをする	44.3	46.6	47.3
3. よく遊んでいる	43.0	36.5	34.4
4. 学校が楽しそう	36.9	38.3	37.9
5. 生き生きと生活している	34.7	35.2	39.4
6. 学校のことや友だちのことをよく話す	33.9	36.5	39.0
7. 友だちが多い	33.8	35.7	40.2
8. よく勉強している	6.7	8.6	19.0

「とてもそう」の割合

○ ～ ～ ～ は最大値、最小値が10%以上差のある項目

〔まとめに代えて〕

「憶える」と「解く」との距離

「解く」学力は古くから

「新しい学力観」という言葉が教育界で語られている。文字どおりに「記憶させる形の学力はさようなら。問題解決型の学力よ、こんにちは」と文部省が音頭をとった動きで、それ以来、「新しい学力」は教育界の流行語のようになった。しかし、言葉で語られるわりに、実態は変わっていないような印象を受ける。

「新しい学力」は新しい改革の動向と思われるがちだが、実をいうと、教育史の中ではかなり古くから、「解く学力」を提唱する動きが認められる。明治はじめに導入された「開発教授法」はペスタロッチの思想を受け継いだもので、それまでの教科書中心に知識を伝達する形の授業を否定するものであった。

さらに、大正自由教育と呼ばれる一連の改革の中で、手塚岸衛が中心となって実践が蓄積された千葉師範の「自由教育」や沢柳政太郎の提唱した成城学園の教育などは、いずれも子どもたちの自発性を育てる教育を目指していた。そして、この頃、これらの学校で試みられた指導案を読んでも、小集団活動、話し合い、問題解決などがキーコンセプトとして取り上げられている。

あらためてふれるまでもなく、大正自由教育を支えていたのは、その頃欧米で台頭していた児童中心主義の思想だった。ダルトンプランやニールの学校、シュタイナー・シューレなど、子どもの自発性を前提として、子どもの活動を助けるのが教師の仕事という考えはどの実践にも共通していた。

そして、第2次大戦後のコア・カリキュラム運動はアメリカのカリフォルニア州などの

教育計画の影響を強く受けたものだが、問題解決学習を学習の中心に据えた教育計画だった。千葉館山の北条プラン、奈良の吉城プランなどでは、子どもたちが課題を見つけ、子どもたちが探求する活動に多くの時間を割く計画である。

「解く」学力の難しさ

このように歴史的な系譜をたどるなら、ペスタロッチやフレーベル、ジョン・デューイなどの教育思想はすべて経験主義に基づいた問題解決型の学習を提唱している。そして日本でも、多くの優れた教育者が注入型の教育から子どもの関心に根ざした学習への転換を訴えている。

そうした系譜があるにもかかわらず、「憶える学力」型の教育が続いているのはなぜか。「解く学力」は言うはやさしいが、実践を積み重ねるのに難しさがあるのではないか。

これまでの流れをみていると、「解く学力」は理想的なスローガンで、実際は「憶える学力」の教育が多いように思われる。

そこで、あらためて「解く学力」がどうしても定着しないのかを考えてみた。

教育計画作成に手間取る＝「解く学力」は子どもの活動を大事にするので、毎回子どもの反応を見ながら計画を練り直す。そのため、伝統的な学習のように前もって指導計画を確定しにくい。

指導が大変＝子どもたちが自主的に学習するので、授業中も大変だが、それ以上に学習がすぐできるように前もっての準備や終わってからの整理が大変で、指導の大変さが増す。

より多くの教員が必要＝少人数での学

習が多くなるから、1人の教師では指導はできない。複数の教員やアシスタントがいないと、「解く学力」の授業は展開できない。

教育環境の充実が前提 = それぞれの子どもが課題に取り組むので、参考書や辞書ひとつにしてもこれまで以上に設備が必要になるし、部屋も大小いくつかがあって、用途によって使い分ける方が望ましい。

学習としての効率の悪さ = 子どもが自主的に学習に取り組むのはよいが、学習がなかなか進まない。講義をすれば20分ですむことも、子どもに体験させると2時間もかかったりする。問題解決学習にはそうした効率の悪さがつきまとう。

こう考えていくと、「憶える学力」を批判するのは簡単だし、実際にこれからの学校で

は「憶えるから解くへ」の学力観の転換が必要であろう。しかし、そうした指摘が空回りに終わらないように、「新しい学力観」に応じた教育条件の整備が必要であろう。これまで、そうした整備を行わないまま、理念だけが説かれてきた感じがする。

今回の調査結果をみて、依然として「憶える」学力が多すぎるように思った。記憶力が劣っていると、成績が上がらないので、そうした子どもたちは unnecessary な悩みを味わっている。「解く学力」を現実味のあるものにするために、教室や図書館、部屋、教員数などをどうしたらよいのか、それぞれの学校ごとに可能な限りで対策を講じないと、いつまでたっても「憶える学力」からの脱皮は難しいように思われる。

〔シリーズ・子どもの声①〕

君んちに
足りないと思うものは、
なあに？

東京学芸大学教授	深谷 和子
東京学芸大学大学院生	増野 知子
	平野 真穂
	根ヶ山里織
	吉野 真弓
元東京学芸大学大学院生	佐藤 麻子
	幕田 志芳
	森口 美佳

シリーズ・子どもの声①

君んちに 足りないと思うものは、 なあに？

子どもたちに聞いてみたい。
子どもが日頃どんな世界に住んで、何を考えてるか。
何が幸せで、何に傷ついてるのか。
子ども時代はどんな色？ パラ色してる？
それとも哀しみ色ですか。
日頃のアンケート調査では拾い上げられない、子どもたちの心の世界を
のぞいてみました。
小4・5・6の子どもたち200人との交信をお届けします。

(印は子どもの声, 太字はコメントです。)



子どもたちに聞きました。
今いちばん、お父さんお母さんに買ってほしいものはなあに？

ゲームソフト、マンガ本、文房具、便箋
(小6)
カラーインク・雲型じょーぎ・カラーOR
白黒トーン・イベントチケット・同人誌・
コミケパンフ・コスプレの衣装(小6)
パソコン(小6)
トレーニングの器具(小6)
エレキギター(小6)
犬・猫(小6)
腕時計・テレビ(小6)
ベイトリール(釣りの道具)(小6)
ソファー・ゲームボーイ・自転車・でっか
い熊のぬいぐるみ(小6)
ゲームカセット・釣り道具(小6)
ウォークマン(小6)
1人部屋・洋服(小6)
キティグッズ(小6)
ハムスター セットで檻・餌つき
(小6)

洋服・SHAZNAのもの(小6)
本(小5)
ローラーブレード(小5)
ひまわりの種(ハムスターの餌)(小5)
ラジオカセット(小5)
ハイパーレーダー(小5)
自転車(28インチ)(小5)
ステルスレイダー・ステルスファイヤー・
ファイヤーボール・ハイパールーズ(小5)
中古ソフト(セガサターンやスーフファミ)
(小5)
プレイステーションのアナログコントロー
ラー(小5)
豊島園の1日券(小5)
部屋におくMDコンボ(小5)
靴(小5)
ハイパーブレイン(小5)
ハイパーヨーヨー全種類(小4)
ポケモン・デジモン(小4)

〔シリーズ・子どもの声①〕
君んちに足りないと思うものは、なあに？

家・金・車（小4 ）
プリパチ（カメラ）（小4 ）
カエルの卵（小4 ）
にんてんどう64（小4 ）
プレイステーションとカセット（小4 ）
ポケモングリーン（小4 ）
クラッシュ・バンディクー（プレステソフト）（小4 ）
テレグミ（小4 ）
てんしっちのたまごっち（小4 ）
家・庭・土地・別荘（小4 ）
キッズベル（ドコモ）（小4 ）
ポケモンカード（小4 ）
きれいなネックレス（小4 ）



とっても個別で指定が細かくて、ゲームは知らないものばかりでした。また、女の子の方がほしがり屋さんのようなのはなぜでしょう。「思いつかない」「何も無い」子も、たくさ

んいました。

こんな声もありました。
買ってほしいものは、MYHOMEと愛（小6 ）

おとなだってみんなそう思ってるんだけど、なかなか手に入りにくいよね。

それにしても、スベルもちゃんとあってるよ！ どこで覚えたの？

足りないものは、やさしさ（小6 ）

そうなの、みんながやさしさを探してうるうるしてる。君たちも？

ちなみに君は、「お父さんも、お母さんもすぐ怒る」って書いてるね。

買ってほしいもの？ お金で買えるものはいりません（小6 ）

唸っちゃいます。コメントなしです。



2 あなたの家に足りないものは？

自分のお部屋（小6 ）
テレビをもう1台（小6 ）
パソコン（小6 ）
金（小6 ）
車（小6 ）
植物（小5 ）
本（小5 ）
貯金（小5 ）
部屋（小5 ）
カップラーメン（小5 ）
カーテン（小5 ）
ソファ（小5 ）
金・金・金（小5 ）
部屋の幅（小5 ）
畳の部屋（小5 ）
部屋の広さ（小5 ）
時間（小5 ）
大量の金（小5 ）

ベッド（小5 ）
柱・金（小4 ）
トイレの換気扇（小4 ）
鉛筆削り（小4 ）
お金（小4 ）
お花（小4 ）
勉強机（小4 ）
ズバリ家の敷地（小4 ）
黒板・ベランダ（小4 ）
おかし（小4 ）
お金・子ども・いとこ（小4 ）
こたつ（小4 ）
クリスマスツリー（小4 ）



買ってほしい物と違って、ほとんどの子が「とくにない」んですって。でも、結局はお金と家。確かに、それさえあればね。なんかおとなみたい。

3

あなたが、お父さんの嫌いなところ、
お母さんの嫌いなところはどこ？

お父さんが嫌いなのは、まずい料理を作
て、むりやり私たち（母・私・妹）に食
わせるところ。お母さんは、すぐカッとなる
おたんき（小6）



料理大好きのお父さん、いいと
思うけど。自分が作った料理は、
絶対よくできてるってその思い込
みが素敵でいいじゃない？

それから、お母さんが短気だって書いてる
子はたくさんいるけど、「おたんき」って
言い方するの、最近は？ その言い方、なか
なかじゃない。やわらかくてね。人の悪口
言うときに、人柄って出るから、これは
いいね。

お父さんの嫌いなところは、言うことが
極端なところ（説得・説教されても意味
不明）お母さんの嫌いなところは、ない
って言うか、考えられない（小6）

お父さんも一生懸命喋ってるんでしょ、
意味不明なんて、そんな...かわいそう。

君は別のところでこう書いてるよね。

お父さんの悪いところは、テストをいち
ち見せなきゃならないところ。お母さん
の悪いところは別にない（小6）

お母さんにはテスト見せてるんでしょ。で
もお父さんに見せろって言われると腹がた
つんだ。じゃ、君の成績には無関心なお父
さんの方がいいの？ きっとそうなんだろ
うなあ。子どもってそういうもんだよね。
お父さんの方にきついんだ。

お父さんの悪いところは、1週間に酒を
飲むのを1回という約束なのに、2、3回
飲んでるじゃないか（小5）

週1回じゃ守れっこないよ。1日飲んで、
あと6日間もずうっと飲まないでいるん
て残酷すぎない？ どうせ守れないんだ
ったら、はじめから2回にしてあげたら。
ま、余計なことかもしれないけど。

お父さんの悪いところは、言われたこと
をすぐやらないところ、お母さんの悪い
ところは、僕が一生懸命やってるのに「早
く、早く」とうるさいこと（小5）

矛盾してるねえ。人間には精神テンポ
のがあって、自分に気持ちのいい早さ
があるんだよ。それを他人がやいやい
言ってもねえ。お母さんに、いつも
せかされてるあなたが、いちばんよく
知ってることじゃない。

4

お母さんはお父さんのどこが嫌いだと思う？
お父さんはお母さんのどこが嫌いだと思う？ そばで見ててサ。

お母さんが嫌いなのは、お父さんが気弱
なところ、お父さんが嫌いなのは、お母
さんが片づけができないところ（小6）



だらしないお母さんと、きち
ょうめんだけど気弱なお父さんの
組み合わせなんだ。君うちで必死
にお掃除してるのはお父さんなの
ね？ あなた手伝ってる？

お父さんが「仕事がいちばん」なところ、
お母さんは嫌い。お父さんはお母さん
については、別に嫌いなことないん
じゃない？（小6）

違うんじゃない？ 仕事人間のお父
さんのこと、ブウブウ言ってるお母
さんも、内心では結構いい連れ合
いだって思ってるんじゃない？

〔シリーズ・子どもの声①〕
君うちに足りないと思うものは、なあに？

もし仕事第1じゃなくて、仕事第2だったらどうなるの？ 食べていけないよ、君たち。

お父さんの神経質でデブなところ、お父さんはお母さんの性格が悪いところ(小6)

お父さんだって、好きで太ってるんじゃないのよ。お母さんだってそのところ、わかってますよ、きっと。

お母さんは「性格が悪い」って？ 今の子はよく言うけど、何のことかよくわかんない。だからコワイなあ。レッテル張るときの言葉だもん。

お父さんの嫌いなところは、すぐにぶつところ。お母さんの悪いところはとくにない(小6)

親だって子どもをぶてば、児童虐待だって教えてあげてよ。まわりの人は児童相談所か保健所に通告義務があるんだって。言ってやんなさいよ、お父さんに。

お父さんの嫌いなところは、仕事の帰りが遅いこと、わがまま、タバコの吸いすぎ、お酒の飲みすぎ、ムダ遣い、人にけち。お父さんはお母さんの悪いところはとくにないと思ってると思う(小5)

違う、違う。お父さんだって、お母さんの嫌なところ、たくさん感じてると思うよ。だけど黙ってがまんしてるんだよ。少しはお父さんの味方してあげてね。一生懸命働いてるんだから。

お母さんがお父さんの嫌いなところは、意志が弱くて文句ばかり言ってること。お父さんはお母さんの嫌いなことって、感じてないんだと思う(小5)

あなた、お母さんの肩もちすぎてるよ。あなたとお母さん、双子みたいに密着してるんじゃない？



何を言ってもいいとしたら、
親や先生にどんなことを言いたい？

お父さんに...私に怒ることを、お父さんは自分でやってるじゃないですか。それはいいんですか？

お母さんに...もう少し、夜遅くまで起きさせてください

先生に...人にはできないことだってあるのに、できないからって怒らないでください(小6)



うーん、その通りだね。先生に言っとくね。

お父さんに...酔っぱらうとふざけるの、セクハラだよ

お母さんに...もっといろいろ食べさせて

先生に...毎日宿題出すのをやめて(小5)

先生は宿題出すのが商売なんだよ、がまんしなさい!

お父さんに...でしゃばるな!

お母さんに...長電話するな

先生に...宿題減らせ(小6)

「おせん泣かすな、馬肥やせ」の世界ね。次もそうだけど。

お父さんに...小遣いアップ

お母さんに...小遣いアップ

先生に...体育の時間を増やせ(小5)

お父さんに...お小遣い使わないで貯めておくから、増やしてよ

〔シリーズ・子どもの声①〕
君うちに足りないと思うものは、なあに？

お母さんに...なし
先生に...授業つづして、遊ぼうよ(小4)
先生と遊ぶのって、どうしてあんなに楽し
いんだろ！

お父さんに...座ったところから動かない。何
でも人にやらせる。自分で動かない
お母さんに...とくにはないです。ありがとう
先生に...授業中に誰かが質問してるのに、
答えてくれないこと (小6)
どの子も、お母さんに甘いのよね。

お父さんに...いません、離婚した
お母さんに...たまには遊ぼうね
先生に...わからないとことか、教えてください
さい

ついでにお母さんに...もう少しやさしいと
いいんだけど (小5)
お母さんはがんばってるんだ。だからわか
ってあげてね。

先生、お父さんの分まで、世話してあげて
ください。勉強、他の子よりちょっぴりよけ
いに教えてやってくださいね。ひいきにして
いいこともありますよね。他の子にわからな
い形でね。

お父さんに...もう1度、お母さんとやり直
して
お母さんに...何で大兄ちゃん(母の相手)
との赤ちゃんつくっておろしたの。もう1
回、お父さんとやり直して
先生に...ない (小5)

お父さん・お母さんに 子どもの親になっ
たら、子どものこと第一に考えたらどうです
か。相手なんて、誰も大同小異じゃないです
か。こんなこと、あなたのお腹を痛めたお子
さんに言わせるんですか。

お父さんに...もっとやさしくなってよ
お母さんに...あまり怒らないでよ
先生に...びりびりしないでよ、差別しない

でよ (小5)
先生に 家庭で幸せでない分まで、どうぞ
子どもの心を受け止めてやってくださいな。

お父さんに...ご苦労さん
お母さんに...お世話になってます
先生に...しゃれ(ギャグ)がつまんないぞー
(小5)
気配りの人だね、君は。

お父さんに...なし
お母さんに...なし
先生に...10円返して (小4)
先生、子どもにとっての10円は、あなたの
1000円ですから。

お父さんに...好き
お母さんに...好き
先生に...好き、ちょっとだけキレイ(小4)
先生はいつもキレイで、子どもの憧れに！

お父さんに...ふざけているとき、人の足を
強くつねるなよ
お母さんに...新しいバッグほしい
先生に...席替えするとき、クジじゃなく自
由にして (小5)
仲良しのいない子もいるからね、先生も考
えて、してるんだよ。

お父さんに...「ハムスター食おうか」なん
て言うな。食ったって、うまくないよ。か
わいそうだよ
お母さんに...八つ当たりすんな。その性格
直しなさい
先生に...なし (小6)
お父さん、冗談が下手ですね。

お父さんに...少しはゲームやらせて
お母さんに...夕食の手伝いさせないで
先生に...もっとくわしく勉強教えて(小6)
男の子に夕食の手伝いさせるお母さんって、

〔シリーズ・子どもの声①〕
君んちに足りないと思うものは、なあに？

とてもえらいんだよ。ジェンダーって言葉、知ってる？ お母さんはジェンダー問題に理解が深いんだよ。文句言うなよ。

お父さんに...身体に気をつけて仕事に行ってください、飲みすぎないでね
お母さんに...いつもありがとう。でも、こたつで寝ないでね
先生に...6年生までよろしくお願いします
(小5)

ちなみにこのお父さんはいちばん強く叱っても、「だめだぁ」というだけ。お母さんは「ぴこぴこハンマー」で叩くけど、そんなに痛くないって。

いい子すぎるね、君。心配りばかりして疲れない？ あんまりけなげすぎるもん。でもいい家庭だなぁ。

お父さんに...タバコやめろ、くそオヤジ
お母さんに...すぐ怒るな
先生に...なし
(小5)
お父さんのこと「くそオヤジ」なんて言うの？ なんか、いらいらしてるね。ふだん言えないから、ここだけで言ってみたいのかな。それならいいけどね。

お父さんに...くそオヤジ
お母さんに...ぶつぶつ、うるさいんだよ
先生に...ない
(小6)
文句言うのでも、もう少しボキャブラリー増やして。

お父さんに...ときどきは外で遊ぼうよ
お母さんに...あんまり怒らないでね
先生に...教室の金魚を、もう少し増やしていいですか
(小5)
いいよ、いいよ。

お父さんに...家に帰ると姉ちゃんたちがこきつかうんだよ
お母さんに...姉ちゃんたち、うるさいんだよ

先生に...何で勉強なんてあるの？ 教えて
(小5)

ほんとに何で勉強なんてあるんだろうね。勉強がなけりゃ、先生の方だって助かるんだけど。勉強嫌いな子にもわかるまで教えるの結構大変なんだよ。それにしても、お姉ちゃんたち何人いるの？

先生に...算数の勉強を控えめにしてください
(小5)

知ってる？ 先生は算数の教科指導で有名な先生なんだよ。だからきっといい授業なんだよ。でも、子どもはそんなの迷惑なんだよね。

お父さんに...たまには僕の見たいテレビも見せてほしい。ニュースばかり何度見るの、1度見れば同じじゃないの？
お母さんに...すぐ怒らないでほしい
先生に...遊びの時間をもっととってほしい
(小5)

おとなになったら、君もきっとニュースを何度も見て、君の子どもに怒られてるよ。おとなの精神安定剤なんだよ、ニュースは。

お父さんに...がんばっていっぱい仕事してね
母さんに...すぐため息を出さないで
先生に...算数を控えめにしてね (小5)
お母さんのため息ってなんなんだろうねえ。考えたことある？

お父さんに...自転車買ってくれ、みんなもってるんだよ
お母さんに...金よこせ、寿司屋に連れてってくれ
先生に...体育の時間増やせ (小5)
とにかく伝えておくけどね。先生もたいへんな仕事なんだよ、注文が多くて。

〔シリーズ・子どもの声①〕
君うちに足りないと思うものは、なあに？

お父さんに...酔っぱらってふざけるな
お母さんに...通信簿やテストの点が悪いとき怒るな
先生に...授業を10分くらい減らしてほしい
(小5)

知らないでしょ。あなたの先生、授業がうまいって評判だよ。もうじき教頭先生になれるって。まあ、子どもには関係ないか。



ついでに、聞いちゃおう。人間関係がわかるんで...。
お父さんは、お母さんをどう呼ぶ？
お母さんは、お父さんをどう呼んでる？

お母さんはお父さんを...直樹さん
お父さんはお母さんを...道子 (小6)
さんづけと呼びすてね。



お母さんはお父さんを...パパあ
お父さんはお母さんを...おーい (小6)
お父さんはお母さんを...お母さん
お母さんはお父さんを...あなた (小6)
お父さんはお母さんを...お母さん、おーい
お母さんはお父さんを...お父さん、ねえ、
ちょっと (小5)
お母さんはお父さんを...お父さん
お父さんはお母さんを...あまり呼ばないからわからない (小6)
お父さんはお母さんを...お母さん
お母さんはお父さんを...パパ (小6)

お父さんはお母さんを...わからない
お母さんはお父さんを...わからない
お互いに呼んだことがない (小6)
ほんとかな？ 以心伝心？

お父さんはお母さんを...あんた
お母さんはお父さんを...お父さん(小6)
お父さんはお母さんを...お母さん
お母さんはお父さんを...源太 (小6)
お父さんはお母さんの「息子」してるのね。

お父さんはお母さんを...とっつ
お母さんはお父さんを...かつつ (小5)
かわいいね！ いいご夫婦してるでしょ。

お父さんはお母さんを...アイン
お母さんはお父さんを...トウン (小6)
これもいいね、意味不明だけど、いろいろ想像できて楽しいね！

この〔シリーズ・子どもの声〕は1998年3月～4月、首都圏の小学4・5・6年生 200名にオープンアンサー形式の質問紙を配布し、その中からアンケート調査とは別の形で、子どもの本音を拾い出そうとしたものである。

なお、本文中のコメントは深谷研究室で皆で話し合った内容をまとめたものである。

親調査

（単位：パーセント）

保護者の方へ

アンケートのお願い

私どもは、子どもたちに望まれる新しい学力観について考えるために、次のような調査票を作成いたしました。

結果はコンピュータで処理いたしますので、個人的に、あるいは学校にもご迷惑をおかけすることは決してありません。お忙しいところ申し訳ございませんが、どうぞ協力くださいますようお願い申し上げます。

お手数ですが、用紙にご記入の上、封筒に入れてのりづけし、無記名のまま、お子さんに先生までお持たせください。

尚美学園短期大学教授 深谷 昌志

記入のしかた

（例）あなたは、月に何冊くらいの本を読みますか？

	ほとんど読まない	1～3冊	4～5冊	それ以上
（もし3冊くらいだったら）	1	②	3	4

- 1 まず、このアンケート用紙にご記入される方にお聞きします。
あなたは、この用紙を持ち帰られたお子さんとは、どういう関係ですか。

1. 母親	2. 父親	3. その他
89.9	9.3	0.8

- 2 この用紙を持ち帰られたお子さんについてお聞きします。

1. お子さんの性別.....（	
1. 男子	2. 女子
51.3	48.7
2. お子さんのきょうだい関係	
1. 一番上の子	33.1
2. 上または下の子がいる	32.4
3. 一番下の子	25.8
4. 一人っ子	8.7

資料1 調査票見本および集計結果（親調査）

ここからは、小学校（6年生）で、お子さんが学習している内容についておたずねいたします。少し長くなりますが、教科ごとに内容がまとめてありますので、あなたのお考えをお聞かせください。

- 3 次にあげる学習は、あなたのお子さんにとって難しい内容と思われませんか。それともやさしい内容と思われませんか。あてはまる番号に をつけてください。
 また、「小学校では学習する必要がない」と思われるものがありましたら、()の中にもをつけてください。

国 語

1. 次の漢字が書けること

	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	小学校で学習する 必要はないと思う
1) 革.....	2.7	6.3	16.8	45.5	28.7	(2.1)
2) 厳しい.....	5.6	15.7	33.3	27.8	17.6	(3.9)
3) 蒸発.....	4.4	12.3	29.5	33.5	20.3	(1.6)
4) 推せん.....	2.3	4.4	13.9	45.7	33.7	(0.8)
5) 創作.....	2.0	5.4	16.4	47.5	28.7	(0.6)
6) 心臓.....	3.2	9.8	25.9	36.6	24.5	(1.5)
7) 疑う.....	2.2	8.0	25.2	39.5	25.1	(0.7)
8) 机.....	0.6	0.7	1.8	25.9	71.0	(0.3)
9) 干す.....	0.3	1.3	3.7	24.0	70.7	(0.5)
10) 穴.....	0.2	0.5	2.3	22.9	74.1	(0.2)
11) 姿.....	0.3	2.0	8.5	34.2	55.0	(0.3)
12) 若い.....	0.2	0.6	1.5	24.1	73.6	(0.2)

2. 次の漢字が読めること

1) 山路.....	4.3	12.4	31.9	27.8	23.6	(3.6)
2) 由来.....	1.6	7.3	19.5	33.2	38.4	(1.5)
3) 願望.....	2.2	5.9	21.0	34.3	36.6	(1.1)
4) 入浴.....	0.2	1.2	5.5	38.1	55.0	(0.2)
5) 口調.....	1.3	3.5	17.6	33.2	44.4	(1.1)

資料1 調査票見本および集計結果（親調査）

	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	小学校で学習する 必要はないと思う
3. 毛筆で上手に自分の名前が 書けること.....	6.4	14.8	30.8	25.4	22.6	(1.7)
4. ローマ字を読んだり書いた りできること.....	5.4	14.8	25.7	32.1	22.0	(2.4)
5. 宮沢賢治などの文学作品が 読めること.....	10.5	17.9	33.3	25.9	12.4	(2.1)
6. 国語辞典や漢和辞典を使え ること.....	1.5	7.0	22.1	38.7	30.7	(0.2)
7. 自分の意見や考えを作文に 書けること.....	5.7	16.3	28.8	31.0	18.2	(0.2)
8. 自分の意見や考えをはっき り話せること.....	6.8	16.5	29.1	28.3	19.3	(0.1)

算 数

1. 次の計算ができること						
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	小学校で学習する 必要はないと思う
1) $24 \times 18 \div 8 \div 9$	1.8	5.2	17.8	38.5	36.7	(0.9)
2) $1\frac{7}{8} \div 12 \times \frac{5}{4}$	3.4	10.8	23.6	32.8	29.4	(2.1)
3) $0.75 \times \frac{2}{3} + \frac{5}{8} \div 1\frac{1}{2}$	8.5	16.8	27.5	25.9	21.3	(4.0)
4) $1.6 - \frac{1}{6}$	5.5	12.8	21.5	35.5	24.7	(3.1)
2. 次の数の逆数を求めること						
1) 0.9	4.4	9.8	21.8	32.3	31.7	(3.7)
2) $\frac{5}{6}$	3.7	9.2	18.8	33.6	34.7	(3.7)
3. 次の式でxを求めること						
1) $5 \times x = 25$	2.1	5.8	10.7	36.5	44.9	(2.7)
2) $0.8 : 5 = x : 25$	5.7	9.5	22.8	29.1	32.9	(4.4)
4. 次の比の比の値を求めること						
1) 4 : 6	3.1	7.4	20.8	33.6	35.1	(2.9)
2) $\frac{5}{6} : \frac{3}{4}$	4.9	11.3	26.7	30.1	27.0	(3.8)

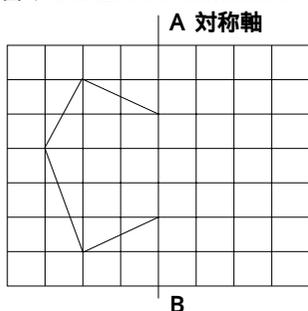
資料1 調査票見本および集計結果（親調査）

5. 1500円で仕入れたシャツに、 仕入れ値の3割のもうけを 見込んで定価をつけました。 このシャツの定価がわかる こと.....	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	小学校で学習する 必要はないと思う
	4.9	13.2	30.6	31.6	19.7	(2.4)

6. 時速60kmの列車が1時間10分 では、何km走るかわかること...	5.0	11.7	27.3	33.1	22.9	(1.6)
--	-----	------	------	------	------	-------

7. 円の面積を求める公式や、 円周率を知ること.....	3.5	8.1	21.8	37.5	29.1	(3.5)
----------------------------------	-----	-----	------	------	------	-------

8. 線対称な形の残りの半分を 書けること.....	1.4	4.2	13.3	35.2	45.9	(1.8)
-------------------------------	-----	-----	------	------	------	-------



9. 資料を整理し、円グラフや 帯グラフに表せること.....	2.7	10.9	26.3	37.8	22.3	(1.5)
------------------------------------	-----	------	------	------	------	-------

10. 比例や反比例などに伴って 変わる2つの数量の関係が わかること.....	5.9	13.9	36.4	27.5	16.3	(3.8)
--	-----	------	------	------	------	-------

11. 難しい問題でも、最後まで あきらめないで解くこと.....	11.3	18.8	36.0	21.3	12.6	(1.0)
--------------------------------------	------	------	------	------	------	-------

12. 算数の問題の解き方をみん なの前で説明できること.....	13.7	22.1	33.7	20.4	10.1	(0.8)
--------------------------------------	------	------	------	------	------	-------

13. 電卓が使えること.....	0.4	1.6	7.5	35.5	55.0	(5.1)
-------------------	-----	-----	-----	------	------	-------

社 会	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	小学校で学習する 必要はないと思う
1. 日本の県名を全て知ること...	8.9	19.5	29.9	26.0	15.7	(2.6)
2. 縄文時代や弥生時代の人々 の生活ぶりがわかること.....	3.0	9.2	23.1	42.7	22.0	(2.1)

資料1 調査票見本および集計結果（親調査）

	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	小学校で学習する 必要はないと思う
3. 次の歴史上の人物を知ること						
1) 聖徳太子.....	1.7	8.3	20.6	38.6	30.8	(1.2)
2) 紫式部.....	3.2	10.8	26.7	32.8	26.5	(3.7)
3) 徳川家康.....	1.5	8.2	18.9	38.7	32.7	(1.2)
4) ペリー.....	2.6	10.8	21.0	35.8	29.8	(1.9)
5) 東郷平八郎.....	11.9	21.0	34.2	21.1	11.8	(6.4)
6) 野口英世.....	2.7	8.2	20.6	37.5	31.0	(1.2)
4. 奈良の大仏は、何のために 造られたのか理解すること...	6.3	16.9	30.1	28.4	18.3	(4.8)
5. 源頼朝が鎌倉幕府を開いた 年が言えること.....	10.3	18.1	30.1	22.3	19.2	(9.2)
6. 織田信長、豊臣秀吉、徳川 家康の天下統一の流れが説 明できること.....	16.7	25.4	28.8	17.7	11.4	(8.3)
7. 沖縄や広島、長崎の被害と 戦争の終結を理解すること...	12.6	22.0	34.9	20.8	9.7	(2.7)
8. 憲法について						
1) 第九条が言えること.....	34.8	25.7	23.3	11.3	4.9	(14.1)
2) 国民主権、基本的人権の 意味を理解すること.....	28.8	28.6	25.0	11.2	6.4	(9.2)
9. 内閣、国会、裁判所の役割 を知ること.....	20.0	27.9	29.2	16.3	6.6	(6.9)
10. 次の国々の生活の様子について知ること						
1) アメリカ合衆国.....	9.8	20.3	33.7	25.3	10.9	(3.5)
2) 中華人民共和国.....	12.6	24.2	34.8	20.1	8.3	(3.6)
3) オーストラリア.....	12.2	23.7	34.0	21.9	8.2	(4.3)
11. 次のことが説明できること						
1) ユニセフ.....	15.7	23.8	28.5	20.6	11.4	(3.1)
2) オリンピック.....	5.6	12.4	25.7	34.4	21.9	(1.7)
3) 国際連合.....	20.6	24.5	31.2	17.1	6.6	(4.5)

資料1 調査票見本および集計結果（親調査）

	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	小学校で学習する 必要はないと思う
12. 地図の見方がわかること.....	3.3	9.9	27.4	35.9	23.5	(0.3)
13. 環境問題について、調べて 説明できること.....	11.8	22.9	33.0	23.1	9.2	(3.1)
14. 日本と世界の国のつながり がわかること.....	15.9	25.2	35.8	16.6	6.5	(2.3)
15. 自分たちで調べたことを新聞 のようにまとめられること...	9.9	16.4	29.5	28.7	15.5	(1.1)
理 科						
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	小学校で学習する 必要はないと思う
1. ものを燃やすときに必要な 気体がわかること.....	3.1	11.1	21.9	34.7	29.2	(1.0)
2. 空気中に含まれる気体の中 で、ものを燃やすと増える 気体がわかること.....	4.6	13.5	24.7	30.7	26.5	(1.8)
3. 日光がよく当たる方が ジャガイモがよくできる 理由がわかること.....	1.9	7.6	22.1	40.9	27.5	(0.6)
4. 夏の大三角形を作る星の 名前が言えること.....	3.7	11.9	29.4	32.8	22.2	(2.5)
5. 夜の星を自分で観察すること ができること.....	8.5	17.3	31.9	26.9	15.4	(1.9)
6. 酸性、アルカリ性、中性など、 いろいろな水溶液の性質がわ かること.....	6.4	18.8	34.7	25.5	14.6	(2.8)
7. 消化、吸収、排泄、循環、 呼吸などの人体の構造が わかること.....	7.8	19.5	32.7	28.3	11.7	(1.5)
8. 電流の流れや電磁石につい てわかること.....	7.2	19.4	35.5	26.4	11.5	(3.0)
9. 電磁石を使って、モーター などが作れること.....	13.8	18.3	33.7	23.3	10.9	(4.3)

資料1 調査票見本および集計結果（親調査）

	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	小学校で学習する 必要はないと思う
10. 魚を解剖して、動物の体の仕組みを観察することができること.....	12.6	20.0	32.0	25.8	9.6	(7.2)
11. 顕微鏡などの実験道具が使えること.....	3.4	10.5	25.8	35.3	25.0	(1.2)
12. 地層や岩石などを観察し、土地のでき方を調べられること.....	7.8	19.3	33.1	26.8	13.0	(4.7)
13. 堆積岩と火成岩の違いが見分けられること.....	15.8	23.0	34.7	17.1	9.4	(7.4)
14. 自分で植物を育てられること...	2.4	9.4	22.1	38.1	28.0	(0.4)
図 工						
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	小学校で学習する 必要はないと思う
1. 絵の具を使って、静物画や風景画が描けること.....	1.9	8.0	20.0	35.4	34.7	(0.1)
2. 身近な材料（段ボールや粘土など）を使って、立体や焼き物を作ること.....	1.9	8.3	20.1	37.7	32.0	(0.7)
3. 生活を楽しくするものを作ること.....	3.1	8.5	24.5	34.3	29.6	(0.6)
4. 電動ノコギリでうまく切れること.....	9.7	15.1	33.2	25.6	16.4	(10.5)
5. 彫刻刀を使って版画が彫れること.....	2.7	11.5	26.4	36.2	23.2	(0.7)
6. CG（コンピュータグラフィックス）で絵が描けること.....	16.7	15.7	24.6	23.8	19.2	(12.4)
音 楽						
	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	小学校で学習する 必要はないと思う
1. 太鼓や笛、木琴の演奏ができること.....	2.1	9.1	19.3	39.1	30.4	(0.7)
2. <i>f</i> 、 <i>p</i> 、 <i>♪</i> など、楽譜の記号を理解して歌が歌えること...	8.2	19.5	25.6	23.8	22.9	(2.6)

資料1 調査票見本および集計結果（親調査）

	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	小学校で学習する 必要はないと思う
3. 「ふるさと」「おぼろ月夜」 など古くから日本に伝わる歌 が歌えること.....	3.4	10.8	23.0	35.2	27.6	(1.0)
4. 山田耕筈や宮城道雄の曲を 知ること.....	7.8	16.1	31.6	28.2	16.3	(4.2)
5. グリーグやカバレフスキー、 ピゼーなどの曲を鑑賞する こと.....	10.6	16.3	29.1	25.9	18.1	(5.3)
6. 自分で簡単な曲が作れること...	25.8	23.8	28.3	13.6	8.5	(9.3)
7. 音のでる仕組みを考えて、 身近な材料を使って楽器を つくり演奏すること.....	13.9	19.0	28.3	24.6	14.2	(4.0)
8. みんなで合奏や合唱ができる こと.....	1.2	4.3	12.2	35.5	46.8	(0.1)
体 育	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	小学校で学習する 必要はないと思う
1. 鉄棒で逆上がりができること...	9.4	8.6	15.8	23.6	42.6	(0.9)
2. 跳び箱の六段が跳べること...	4.7	7.5	18.2	24.3	45.3	(1.0)
3. 水泳で25メートル泳げること...	3.2	5.3	15.9	22.7	52.9	(0.8)
4. サッカーやバスケットボールのやり 方を考えてゲームができること.....	1.3	4.8	15.7	34.3	43.9	(0.4)
5. チームで協力して試合が できること.....	1.3	3.4	12.1	33.2	50.0	(0.1)
6. けがや病気の予防について 理解すること.....	1.3	5.2	21.1	39.8	32.6	(0.2)
7. 男の子と女の子の体の違いや思春期 の身体の変化を理解すること.....	2.2	7.6	29.5	35.7	25.0	(0.8)
家庭科	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	小学校で学習する 必要はないと思う
1. ご飯を米と水を計って鍋 (釜)で炊けること.....	4.0	9.4	19.7	32.5	34.4	(1.3)
2. みそ汁や簡単なおかずを 作ること.....	1.7	8.0	19.2	37.0	34.1	(0.3)

資料1 調査票見本および集計結果（親調査）

	とても 難しい	わりと 難しい	少し 難しい	あまり 難しくない	ぜんぜん 難しくない	小学校で学習する 必要はないと思う
3. ボタンつけやほころびを直すこと.....	4.7	12.9	29.7	29.3	23.4	(0.6)
4. ミシンが使えること.....	5.1	12.3	25.6	31.7	25.3	(2.1)
5. 掃除や洗濯ができること.....	1.5	8.7	20.1	38.4	31.3	(0.7)
6. 簡単なエプロンやカバーを作ること.....	4.7	13.4	31.8	29.3	20.8	(0.9)
7. 通信販売やカードの使い方を 知る.....	13.2	16.4	30.2	25.7	14.5	(26.2)
8. 加工食品のマークや品質 表示を理解すること.....	7.2	17.7	32.8	28.1	14.2	(5.8)
9. 近隣の生活を考え、環境を清潔に したり、騒音を防止する必要性を 理解すること.....	4.7	11.5	25.4	37.2	21.2	(2.4)
10. 物の選び方や買い方、リサイ クルの活用ができること.....	3.6	11.4	27.0	35.6	22.4	(2.3)

4 あなたは、全体として、次の授業をどのくらい必要があると思われますか。

	とても 必要	わりと 必要	少し 必要	あまり 必要でない	ぜんぜん 必要でない
1. 国語.....	80.4	16.8	2.5	0.2	0.1
2. 算数.....	65.4	26.7	6.8	0.8	0.3
3. 社会.....	51.1	35.0	12.7	1.1	0.1
4. 理科.....	39.5	37.3	20.1	2.8	0.3
5. 図工.....	30.2	34.3	28.7	6.0	0.8
6. 音楽.....	31.0	36.0	26.3	5.6	1.1
7. 体育.....	47.5	34.2	16.7	1.3	0.3
8. 家庭科.....	39.4	36.7	20.3	2.9	0.7
9. 道徳.....	54.6	26.0	13.2	3.4	2.8
10. 特別活動（クラブ活動、学級会など）.....	45.5	31.8	18.4	2.8	1.5

資料1 調査票見本および集計結果（親調査）

ここからは、教科以外の学習や通知表についてお聞きします。

5 あなたは、次のことは小学校の学習として子どもたちに教える必要があると思われますか。

	とても 必要	わりと 必要	少し 必要	あまり 必要でない	ぜんぜん 必要でない
1. ワープロが使えること.....	13.3	21.9	25.0	25.8	14.0
2. コピー機やFAXが使えること.....	13.2	21.0	25.4	27.0	13.4
3. パソコンの使い方がわかること.....	19.7	24.8	26.9	18.4	10.2
4. インターネットを利用できること.....	11.3	16.0	20.4	32.5	19.8
5. 車椅子や手話が使えること.....	14.6	23.5	43.0	15.2	3.7
6. 英語で簡単なあいさつができること.....	22.6	26.2	33.8	13.0	4.4
7. バスや電車に乗り、目的地まで行けること...	53.1	25.5	14.7	3.9	2.8
8. 基本的な生活習慣を身につけること.....	78.8	11.4	5.2	2.8	1.8
9. 善悪の判断ができること.....	86.4	8.2	3.4	1.0	1.0
10. 友だちと仲よく遊べること.....	83.8	12.2	2.3	0.7	1.0
11. 思いやりやさしさを身につけること.....	86.3	9.0	2.8	1.1	0.8
12. 「おはよう」「こんにちは」のあいさつが できること.....	87.8	5.9	3.4	1.3	1.6
13. 地球の環境について考えること.....	60.3	31.1	7.7	0.4	0.5
14. 動植物の世話ができること.....	56.9	30.0	10.9	1.5	0.7

6 あなたは次のような行事や活動について、学校で行う必要があると思われますか。

	とても 必要	わりと 必要	少し 必要	あまり 必要でない	ぜんぜん 必要でない
1. 遠足.....	54.5	33.3	9.8	1.8	0.6
2. 修学旅行（移動教室）.....	61.9	27.9	7.2	2.3	0.7
3. 社会見学（工場や資料館など）.....	57.5	32.4	7.9	1.9	0.3
4. 運動会.....	58.1	27.1	10.6	3.1	1.1
5. 水泳大会.....	21.9	25.7	28.8	17.6	6.0

資料1 調査票見本および集計結果（親調査）

	とても必要	わりと必要	少し必要	あまり必要でない	ぜんぜん必要でない
6. マラソン大会.....	18.2	25.6	30.8	18.4	7.0
7. 学芸会.....	24.6	26.8	28.4	15.3	4.9
8. 七夕祭りのような全体集会.....	16.7	24.6	32.3	19.4	7.0
9. 音楽会.....	23.7	31.5	31.2	10.5	3.1
10. お誕生会.....	5.0	7.0	16.2	34.1	37.7
11. 卒業式.....	81.7	13.8	3.8	0.3	0.4
12. 大掃除.....	49.0	30.4	15.2	3.6	1.8
13. 保護者会.....	37.2	27.3	24.6	7.7	3.2
14. 家庭訪問.....	15.8	17.5	25.7	25.1	15.9

7 あなたは、お子さんの通知表について、次のようなことをお感じになりますか。

	とても そう思う	わりと そう思う	少し そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
1. 点数で評価しないので、子どもが のびのびしている.....	10.6	28.3	23.0	29.6	8.5
2. 担任の先生が子どものことをよくわかって 評価している.....	16.9	39.8	25.0	14.5	3.8
3. 子どもの学力や能力が正しく評価されて いる.....	9.4	39.1	28.5	19.2	3.8
4. テストの結果だけでなく、子どもの態度や 関心も評価するので子どもの励みになる.....	16.2	36.0	26.6	17.1	4.1
5. 子どもががんばっても、成果がはっきり わからない.....	8.8	17.5	33.9	34.4	5.4
6. 通知表を見ても、子どもの実力がよく わからない.....	15.4	22.7	30.6	25.8	5.5
7. 点数で評価される方がわかりやすい.....	11.8	17.1	25.3	34.1	11.7
8. 先生によって子どもの見方が違うので、 客観的な評価をしてもらえない.....	16.0	18.7	32.5	27.7	5.1
9. 通知表はいらない.....	6.5	6.1	15.3	38.3	33.8

資料1 調査票見本および集計結果（親調査）

8 では、あなたはお子さんの通知表を見て、学校の評価の仕方についてどう思いますか。

とても よい	わりと よい	少し よい	あまり よくない	ぜんぜん よくない
3.8	44.0	35.7	14.8	1.7

9 あなたは、次のようなことを学校で教^レえてほしいと思われ^レますか。

	とても 教 ^レ えてほしい	わりと 教 ^レ えてほしい	あまり 教 ^レ えなくてよい	まったく 教 ^レ えなくてよい
1. 箸の持ち方.....	10.4	21.2	36.8	31.6
2. 鉛筆の持ち方.....	22.3	39.4	24.4	13.9
3. きれいな字が書けるようにする.....	31.2	49.8	14.3	4.7
4. ノートがきちんと使えるようにする.....	43.4	45.9	7.7	3.0
5. 机の中や荷物の整理整頓ができるように する.....	24.4	46.7	23.3	5.6
6. 食べ物の好き嫌いをなくす.....	16.6	32.3	38.4	12.7
7. きちんとした言葉遣いができるようにする...	40.7	45.7	10.2	3.4
8. 友だちと仲よく遊べるようにする.....	48.8	39.0	9.4	2.8

最後に、この用紙を持ち帰られたお子さんとあなたのことについてお聞きします。

10 あなたのご家庭では、お子さんに、次のようなことをされていますか。

	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
1. 規則正しい生活を心がけている.....	25.4	58.3	15.2	1.1
2. 子どものテストや宿題は目を通して.....	14.9	44.5	33.6	7.0
3. 子どもと学校での様子をよく話すように している.....	27.6	54.6	16.6	1.2
4. 子どもの友だちはよく知っている.....	32.8	51.3	15.0	0.9
5. しつけは厳しくしている.....	15.3	49.4	33.0	2.3
6. 何でも自主的にやらせている.....	15.2	58.3	25.0	1.5
7. 家のお手伝いをさせるようにしている.....	23.5	45.3	27.6	3.6

資料1 調査票見本および集計結果（親調査）

	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
8. 子ども部屋へは1日1回は入ってみる.....	59.7	31.4	6.5	2.4
9. お小遣いは毎月決まった額をあげている.....	48.8	21.2	12.8	17.2
10. 食事のマナーはしっかりしつけている.....	24.3	54.9	19.8	1.0

11 お子さんは、次のようなことがどのくらいできますか。

	とても よくできる	だいたい できる	あまり できない	ぜんぜん できない
1. 「おはよう」「こんにちは」などの あいさつができる.....	41.1	52.2	6.3	0.4
2. 「はい」「ごめんなさい」「ありがとう」が 言える.....	31.4	55.8	12.2	0.6
3. 敬語やていねい語が使える.....	13.6	44.5	39.0	2.9
4. 自分の身の回りの整理整頓ができる.....	11.1	36.6	40.9	11.4
5. 決められたお手伝いは忘れないでできる.....	12.2	46.7	37.3	3.8
6. 友だちが遊んでいるとき、自分から 「入れて」と言える.....	28.8	50.1	17.9	3.2
7. お年寄りに席を譲れる.....	23.9	46.3	27.5	2.3
8. 友だちとけんかしても、自分たちで 仲直りすることができる.....	30.2	62.3	6.7	0.8
9. 失敗してもあきらめないで最後まで やりとげることができる.....	17.7	50.9	28.7	2.7
10. 苦しいこともがまんできる.....	17.6	49.5	29.4	3.5

12 現在、お子さんが通っている学校に満足していますか。

とても満足 している	わりと満足 している	少し満足 している	あまり満足 していない	ぜんぜん 満足していない
10.4	53.2	22.1	11.6	2.7

13 お子さんの将来は、どのように考えていますか。

1. 4年制大学まで	57.6	4. 高校まで	8.0
2. 短大まで	9.9	5. 中学まで	0.5
3. 専門・専修学校まで	11.1	6. その他（ ）	12.9

資料1 調査票見本および集計結果（親調査）

14 お子さんは、中学受験を希望していますか。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 希望している | 2. 希望していない |
| 20.6 | 79.4 |

15 現在、お子さんは塾に行っていますか。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 行っている | 2. 行っていない |
| 47.4 | 52.6 |

16 あなたからみて、最近のお子さんの様子はいかがですか。

	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
1. よく遊んでいる.....	38.8	37.4	20.4	3.4
2. よく勉強している.....	10.8	35.7	44.2	9.3
3. 学校が楽しそう.....	37.3	49.9	10.4	2.4
4. 食欲がある.....	52.8	39.4	7.5	0.3
5. 友だちが多い.....	36.0	44.2	17.5	2.3
6. 家族とよくおしゃべりをする.....	45.8	43.7	9.8	0.7
7. 学校のことや友だちのことをよく話す.....	36.4	40.2	21.3	2.1
8. 生き生きと生活している.....	36.1	51.0	11.6	1.3

17 あなたのお子さんは、どんなタイプですか。

	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
1. がまん強い.....	18.5	43.2	34.4	3.9
2. やる気がある.....	19.7	49.1	28.6	2.6
3. 依頼心が強い.....	8.6	37.7	46.2	7.5
4. 甘えん坊.....	14.7	42.1	36.8	6.4
5. 気持ちやさしい.....	44.9	46.4	8.1	0.6
6. たくましい.....	16.7	36.9	41.6	4.8
7. のんびりしている.....	29.1	44.1	23.2	3.6
8. わがまま.....	9.3	30.1	47.7	12.9
9. 社交性がある.....	22.7	38.8	33.9	4.6
10. 言いたいことがなかなか言えない.....	7.6	33.7	42.0	16.7

資料1 調査票見本および集計結果（親調査）

18 あなたのお子さんは、学校の勉強をどのくらい理解していると思いますか。

ほとんど わかる	3分の2くらい わかる	半分くらい わかる	3分の1くらい わかる	ほとんど わからない
29.6	38.1	25.5	5.9	0.9

19 お子さんの成績は、クラスでどのくらいですか。

上の方	中の上	中くらい	中の下	下の方
16.6	28.3	41.8	9.9	3.4

20 失礼ですが、現在あなたはおいくつですか。

30歳未満	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上
0.1	5.2	33.9	42.8	15.6	2.4

21 あなたのお仕事はどのようなものですか。

1. フルタイムの仕事（会社員や公務員など）	19.4
2. パートタイムの仕事	28.5
3. 自営業	8.5
4. 自由業	2.4
5. 特に仕事をしていない（専業主婦など）	37.1
6. その他	4.1

22 もしよろしかったら、あなたが学校を出られた大体の年齢をお聞かせください。

15歳	18歳くらい	20歳くらい	22歳またはそれ以上
2.2	37.8	31.4	28.6

～これで終わりです。長い間どうもありがとうございました。～

子ども調査①

(単位：パーセント)

調査のお願い

これはテストではありません。中には国語や算数のように答えを求めてもらうものもありますが、あなたの思ったことをそのまま教えてください。

1 1 まず、あなたの性別をお聞きます。

1 . 男子 2 . 女子
51.2 48.8

2 2 次にあてはまる教科を1つ書いてください。

国語	算数	社会	理科	音楽	図工	体育	家庭科
----	----	----	----	----	----	----	-----

	国語	算数	社会	理科	音楽	図工	体育	家庭科
1. 一番好きな教科.....	7.6	12.3	2.8	6.6	11.8	10.0	42.7	6.2
2. 一番むずかしい教科.....	7.1	29.7	29.7	9.9	9.9	5.2	1.9	6.6
3. 成績がよいと一番うれしい教科.....	15.6	46.5	12.3	5.7	5.7	3.3	9.5	1.4
4. おとなになって(しょう来) 一番役に立つ教科.....	25.7	24.6	18.2	5.4	3.0	1.5	4.4	17.2

3 3 ここからは、算数の問題です。答えを の中に書いてください。

(1) 次の計算をしましょう。

1. $24 \times 18 \div 8 \div 9$ (正答率) (85.9)

2. $1 \frac{7}{8} \div \frac{5}{12} \times \frac{3}{4}$ (69.5)

資料2 調査票見本および集計結果(子ども調査①)

3. $0.75 \times \frac{2}{3} + \frac{5}{8} \div 1 \frac{1}{2}$

答え

 (正答率)

--

 (58.7)

4. $1.6 - \frac{1}{6}$

--

 (65.3)

(2) 次の数の逆数を求めましょう。

1. $\frac{5}{6}$

--

 (88.3)

2. 0.9

--

 (79.8)

(3) 次の式の x を求めましょう。

1. $5 \times x = 25$

$x =$

 (92.5)

2. $0.8 : 5 = x : 25$

$x =$

 (81.2)

(4) 次の比の比の値を求めましょう。

1. 4 : 6

--

 (54.0)

2. $\frac{5}{6} : \frac{3}{4}$

--

 (44.6)

(5) 1500円で仕入れたシャツに、仕入れ値の3割のもうけを見込んで定価をつけました。
このシャツの定価はいくらですか。

式		答え	
	正答率 (47.9)		正答率 (51.6)

(6) 時速60kmの列車が1時間10分では何km走りますか。

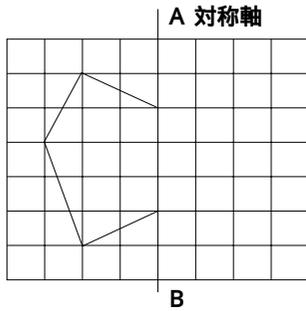
式		答え	
	正答率 (51.6)		正答率 (56.3)

(7) 円の面積を求める公式を書いてください。

円の面積 =	正答率 (83.6)
--------	---------------

資料2 調査票見本および集計結果(子ども調査①)

(8) 線対称な形の残りの半分を書いてください。



正答率
(94.8)

4 ここからは、国語の問題です。

(1) 次の□に漢字を書きましょう。

1. 社会を改□する
2. □しい自然
3. 水分が□発する
4. 委員長に□せんされる
5. 詩を□作する
6. 心□の音がする
7. □いを晴らす
8. いすと□
9. せんたく物を□す
10. □が空く
11. エブロン□
12. □葉がしげる

	答 え	正答率
1		(55.9)
2		(49.3)
3		(60.6)
4		(51.2)
5		(42.7)
6		(67.6)
7		(43.2)
8		(93.0)
9		(72.3)
10		(91.1)
11		(80.3)
12		(87.3)

(2) 次の下線部の漢字のふりがなを書きましょう。

1. 山路来て何やらゆかしすみれ草
2. ことわざの由来
3. 期待や願望
4. 入浴時間が短い
5. きつい口調で話す

	答 え	正答率
1		(52.1)
2		(92.5)
3		(81.2)
4		(95.3)
5		(94.4)

資料2 調査票見本および集計結果(子ども調査①)

5 ここからは、社会の問題です。

(1) 次の歴史上の人物と関係が深いことを□の中から選んで番号を記入してください。

- 正答率
1. 聖徳太子..... (91.1)
 2. 紫式部..... (94.4)
 3. 徳川家康..... (90.6)
 4. ペリー..... (82.6)
 5. 東郷平八郎..... (79.3)
 6. 野口英世..... (93.9)

- | |
|--------|
| 江戸幕府 |
| 日露戦争 |
| 源氏物語 |
| 黄熱病 |
| 一七条の憲法 |
| 日米和親条約 |

(2) 源頼朝が鎌倉幕府を開いた年

	年	正答率 (48.8)
--	---	---------------

6 ここからは、理科の問題です。

(1) ものを燃やすときに必要な気体は何ですか。

	正答率 (78.9)
--	---------------

(2) 空気中に含まれる気体の中で、ものを燃やすと増える気体は何ですか。

	正答率 (76.5)
--	---------------

(3) 夏の大三角形をつくる星の名前をあげてください。

--	--	--

- 全部正解 (49.8)
- 2つ正解 (16.0)
- 1つ正解 (7.0)
- 全部不正解 (27.2)

~ どうもありがとうございました。 ~

子ども調査②

(単位：パーセント)

調査のお願い

これはテストではありません。あなたの思ったことをそのまま答えてください。

1 1 まず、あなたの性別をお聞きます。

1 . 男子 2 . 女子

53.2 46.8

2 2 あなたは、次にあげることがどのくらいできますか。

まず、算数、国語、理科、社会についてです。

	とてもよく できる	わりと できる	少し できる	あまりよく できない	ぜんぜん できない
1. 毛筆で上手に自分の名前が書ける.....	12.3	33.3	37.5	14.2	2.7
2. ローマ字を読んだり書いたりできる.....	24.5	33.7	21.8	11.8	8.2
3. 宮沢賢治などの文学作品を読む.....	14.2	19.1	25.6	25.6	15.5
4. 国語辞典や漢和辞典を使える.....	51.1	34.6	11.5	2.3	0.5
5. 自分の意見や考えを作文に書ける.....	22.5	34.4	28.9	12.8	1.4
6. 自分の意見や考えをはっきり話せる.....	21.0	24.7	29.2	21.9	3.2
7. 資料を整理し、円グラフや帯グラフに 表せる.....	17.9	43.0	24.8	11.5	2.8
8. 比例や反比例などに伴って変わる2つの 数量の関係がわかる.....	23.3	31.6	30.1	12.3	2.7
9. むずかしい問題でも最後まであきらめ ないで解くことができる.....	23.7	30.1	30.7	12.3	3.2
10. 算数の問題の解き方をみんなの前で 説明できる.....	13.0	22.2	25.9	30.6	8.3
11. 電卓が使える.....	79.7	15.7	2.8	0.9	0.9
12. 日本の県名が全て言える.....	20.3	21.7	28.0	22.6	7.4
13. 織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の天下 統一の流れが説明できる.....	18.7	16.0	27.4	26.9	11.0
14. 沖縄や広島、長崎の被害と戦争の終結を 理解できる.....	20.1	22.8	25.1	24.2	7.8

資料2 調査票見本および集計結果(子ども調査②)

	とてもよく できる	わりと できる	少し できる	あまりよく できない	ぜんぜん できない
15. 憲法第九条が言える.....	8.3	3.7	13.3	26.6	48.1
16. 国民主権、基本的人権の意味を理解 できる.....	15.3	12.6	25.1	26.5	20.5
17. 次のことが説明できる					
1) ユニセフ.....	31.1	26.6	27.1	9.2	6.0
2) オリンピック.....	33.5	30.1	26.9	6.8	2.7
3) 国際連合.....	14.7	16.1	27.0	24.8	17.4
18. 環境問題について、調べて説明できる.....	18.8	30.7	33.1	14.2	3.2
19. 自分たちで調べたことを新聞のように まとめられる.....	22.9	38.2	26.1	8.7	4.1
20. 夜の星を自分で観察することができる.....	22.8	28.8	25.6	17.7	5.1
21. 電磁石を使って、モーターなどを 作れる.....	11.2	20.0	30.2	22.8	15.8
22. 魚を解剖して、動物の体の仕組みを 観察することができる.....	16.4	25.2	22.9	17.3	18.2
23. 顕微鏡などの実験道具が使える.....	28.8	33.0	22.8	11.2	4.2
24. 地層や岩石などを観察し、土地の でき方を調べられる.....	19.8	31.4	28.1	16.6	4.1
25. 堆積岩と火成岩の違いが見分けられる.....	17.5	22.1	26.3	22.1	12.0
26. 自分で植物を育てられる.....	40.6	31.3	19.2	7.0	1.9
27. 日光がよく当たるほうがジャガイモが よくできる理由を説明できる.....	29.2	21.3	28.2	14.4	6.9

3 それでは、次のことは、どれくらいできますか。

	とてもよく できる	わりと できる	少し できる	あまりよく できない	ぜんぜん できない
1. 絵の具を使って、静物画や風景画が描ける...	21.2	29.5	28.6	16.1	4.6
2. 身近な材料(段ボールや粘土など)を 使って、立体や焼き物ができる.....	22.1	30.4	27.2	15.7	4.6
3. 生活を楽しくするものをつくれる.....	24.4	28.5	26.3	15.7	5.1
4. 電動ノコギリでうまく切れる.....	26.9	39.8	22.2	7.9	3.2
5. 彫刻刀を使って版画が彫れる.....	32.2	33.2	26.2	6.5	1.9
6. C G (コンピュータグラフィックス)で 絵が描ける.....	34.0	23.7	15.8	15.3	11.2

資料2 調査票見本および集計結果(子ども調査②)

	とてもよく できる	わりと できる	少し できる	あまりよく できない	ぜんぜん できない
7. 太鼓や笛、木きんの演奏ができる.....	35.1	24.2	22.7	10.9	7.1
8. <i>f</i> 、 <i>p</i> 、 <i>♪</i> の記号を理解して歌が 歌える.....	35.8	15.8	14.4	17.7	16.3
9. 「ふるさと」「おぼろ月夜」など古くから 日本に伝わる歌が歌える.....	25.4	28.6	19.7	14.6	11.7
10. グリーグやカバレフスキー、ビゼーなど の曲を鑑賞する.....	18.7	13.6	19.6	23.4	24.7
11. 自分で簡単な曲が作れる.....	16.9	21.1	24.0	19.7	18.3
12. 音のでる仕組みを考えて、身近な材料を 使って楽器をつくり演奏できる.....	19.4	21.8	27.3	18.5	13.0
13. みんなで合奏や合唱ができる.....	47.0	26.5	14.2	7.1	5.2
14. 鉄棒で逆上がりができる.....	52.2	13.0	7.9	8.8	18.1
15. 跳び箱の六段が跳べる.....	69.8	9.3	10.7	6.0	4.2
16. 水泳で25メートル泳げる.....	85.0	5.6	3.3	3.3	2.8
17. サッカーやバスケットボールのやり方を 考えてゲームができる.....	50.9	25.0	17.1	4.2	2.8
18. チームで協力して試合ができる.....	44.0	29.9	21.0	4.2	0.9
19. けがや病気の予防について理解できる.....	29.6	29.6	26.0	10.2	4.6
20. 男の子と女の子の体の違いや思春期の 身体の変化を理解できる.....	24.8	34.1	26.2	9.8	5.1
21. ご飯を米と水を計って鍋(釜)で炊ける.....	47.3	27.1	14.0	6.5	5.1
22. みそ汁や簡単なおかずを作れる.....	58.5	23.3	10.7	4.7	2.8
23. ボタンつけやほころびをなおせる.....	35.7	24.5	21.8	11.1	6.9
24. ミシンが使える.....	42.1	32.9	16.7	7.4	0.9
25. 自分の部屋の掃除や衣類の洗濯ができる.....	26.9	35.6	22.2	9.7	5.6
26. 簡単なエプロンやカバーを作れる.....	30.5	25.2	25.7	12.4	6.2
27. 加工食品のマークや品質表示を理解できる...	17.2	31.2	28.8	15.8	7.0
28. 近隣の生活を考え、環境を清潔にしたり、 騒音を防止する必要性を理解できる.....	22.7	27.3	30.5	13.0	6.5
29. 物の選び方や買い方、リサイクルの活用 ができる.....	29.9	29.4	26.2	12.6	1.9

資料2 調査票見本および集計結果(子ども調査②)

4 あなたは、次のようなことを知っていますか。

	とてもよく 知っている	わりと 知っている	少し 知っている	あまりよく 知らない	ぜんぜん 知らない
1. 縄文時代や弥生時代の人々の生活ぶり.....	27.8	46.3	21.3	3.2	1.4
2. 奈良の大仏は、何のために造られたか.....	28.3	24.2	23.3	18.6	5.6
3. 地図の見方.....	35.7	32.6	21.9	7.0	2.8
4. 日本と世界の国のつながり.....	14.6	26.3	29.1	22.5	7.5
5. 内閣、国会、裁判所の役割.....	16.3	17.2	29.3	26.0	11.2
6. 次の国々の生活の様子					
1) アメリカ合衆国.....	14.0	23.7	29.3	20.9	12.1
2) 中華人民共和国.....	14.0	18.6	28.3	24.7	14.4
3) オーストラリア.....	9.8	14.9	28.4	26.0	20.9
7. 酸性、アルカリ性、中性など、いろいろな 水溶液の性質.....	36.0	33.6	20.1	7.0	3.3
8. 消化、吸収、排泄、循環、呼吸などの人体 の構造.....	18.1	27.9	30.3	16.3	7.4
9. 電流の流れや電磁石について.....	19.3	25.0	31.6	15.1	9.0
10. 山田耕筰や宮城道雄の曲.....	12.3	11.3	15.1	21.7	39.6
11. 通信販売やカードの使い方.....	23.7	24.6	20.0	19.1	12.6

5 あなたは、しょう来、次の勉強がどのくらい役に立つと思いますか。

	とても 役に立つ	わりと 役に立つ	あまり 役に立たない	ぜんぜん 役に立たない
1. 国語.....	50.4	42.6	4.2	2.8
2. 算数.....	61.6	28.2	7.4	2.8
3. 社会.....	47.0	38.1	9.3	5.6
4. 理科.....	21.5	48.6	22.4	7.5
5. 図工.....	17.1	43.5	31.5	7.9
6. 音楽.....	18.1	37.0	29.6	15.3
7. 体育.....	43.1	35.6	16.2	5.1
8. 家庭科.....	64.4	23.1	8.3	4.2
9. 道徳.....	31.6	32.6	25.1	10.7
10. 特別活動(クラブ活動、学級会など).....	37.2	42.0	15.5	5.3

資料2 調査票見本および集計結果(子ども調査②)

6 あなたは、学校の勉強がどのくらいわかりますか。

ほとんど わかる	3分の2くらい わかる	半分くらい わかる	3分の1くらい わかる	ほとんど わからない
32.7	36.9	22.0	7.0	1.4

7 あなたは、次のようなことがどのくらいできますか。

	とても よくできる	だいたい できる	あまり できない	ぜんぜん できない
1. 「おはよう」「こんにちは」などの あいさつができる.....	60.0	35.8	3.3	0.9
2. 「はい」「ごめんなさい」「ありがとう」 が言える.....	56.3	37.7	5.1	0.9
3. 敬語やていねい語が使える.....	38.8	41.1	15.9	4.2
4. 自分の身の回りの整理整頓ができる.....	27.9	39.5	23.3	9.3
5. 決められたお手伝いは忘れないでできる...	14.9	54.4	26.5	4.2
6. 友だちが遊んでいるとき、自分から 「入れて」と言える.....	46.6	38.1	14.4	0.9
7. お年寄りに席をゆずれる.....	33.3	47.2	15.7	3.8
8. 友だちとけんかしても、自分たちで 仲直りすることができる.....	49.7	41.9	7.0	1.4
9. 失敗してもあきらめないで最後まで やりとげることができる.....	28.8	50.7	17.2	3.3
10. 苦しいこともがまんできる.....	30.7	48.4	14.9	6.0

～ どもありがとうございます。～